はじめに

トップ・ハイレベル日本史〜文化史〜にようこそ。
この授業は，早稲田・慶應義塾をはじめとする難関私大や，旧帝大・一橋など難関国立大を受験する人に，土台となる知識をつけてもらうためのものです。
通史50講でほぼ扱わなかった入試頻出の文化史を，12講でコンパクトに解説していきます。

①受講の仕方
　予習は必要ありません。復習に全力を投球してください。
②板書について
　基礎〔ベーシック〕を黄，応用〔スタンダード〕を白，発展〔ハイレベル〕を赤で。ただ，授業はあくまでも聞くものだと思うので，極力少なくしています。テキスト右ページをノートにしてあります。特別に何かを用意する必要はありません。
③復習について
　理想としては…，テキストをざっと見直す⇒教科書など読み物⇒一問一答集⇒問題集⇒確認テストというのが一連の流れです。ただ，結果的に出来るようになれば何でも結構，本人のやりやすい方法でどうぞ。
※覚えていないのに問題を解くのですか？　とよく聞かれます。すでに覚えてるなら解く必要はないですよね。解いてから覚えるのではなく，解いて，間違えて覚えるのです。
④推薦図書
・読み物系　⇒詳説日本史書き込み教科書（山川出版社）
　　　　　　　世界一おもしろい日本史の授業シリーズ（中経の文庫）
・一問一答　⇒日本史Ｂ早わかり一問一答（中経出版）
　　　　　　　よくでる日本史Ｂ一問一答重要用語問題集（山川出版社）
・問題集　　⇒日本史総合テスト（山川出版社）
　　　　　　　大学入試日本史Ｂで高得点を稼ぐ標準問題演習（中経出版）
　　　　　　　攻略日本史テーマ・文化史（Ｚ会出版）
・テーマ暗記⇒ゴロ合わせ朗読ＣＤ付日本史重要テーマ暗記110（中経出版）
　その他，本人が普段習っている先生が書いたもの，と売れているもの，は，ほぼ外れがないと考えてください。あとは講義で。

伊藤賀一（いとうがいち）

高３トップ＆ハイレベル日本史～文化史～

目　次

第１講　古墳･飛鳥文化　p4

第２講　白鳳･天平文化　p20

第３講　平安時代の文化①　p38

第４講　平安時代の文化②　p52

第５講　鎌倉時代の文化　p78

第６講　室町時代の文化　p100

第７講　安土桃山時代の文化･江戸時代の文化①　p120

第８講　江戸時代の文化②　p136

第９講　江戸時代の文化③　p152

第10講　明治時代の文化①　p176

第11講　明治時代の文化②　p200

第12講　大正･昭和初期の文化／戦中･戦後の文化　p228

第１講　古墳・飛鳥文化

1　古墳文化

①特色

A　中国大陸・朝鮮半島の文化が，**渡来人**〔帰化人（きか）〕により伝来。

B　弥生文化から引き継がれた，日本独自の文化も形成される。

C　住居など，豪族と一般民衆の生活に違いが見られはじめる。

〈***Note***〉

②古墳の変遷⇒前期・中期・後期（および終末期）に区分

A　前期（３世紀後半～４世紀）

畿内・西日本を中心とする丘陵頂上や台地に，**前方後円墳**・前方後方墳・円墳・方墳・上円下方墳などが築造される。表面には葺石や**埴輪**〔**円筒埴輪**・形象埴輪〕が並べられ，**竪穴式石室**や粘土槨内には，**銅鏡**，碧玉製腕飾り（鍬形石・車輪石など）勾玉・管玉などの**呪術的な副葬品**が出土する（＝**被葬者の司祭者的性格**を示す）。

☆椿井大塚山（京都府），**箸墓**，黒塚（**奈良県**）など

B　**中期**（４世紀末～**５世紀**）

畿内の平野部で前方後円墳が巨大化，周囲に濠や陪冢を形成。古墳築造は全国に拡大（上毛野〔群馬県〕，**吉備〔岡山県〕**，出雲〔島根県〕，筑紫〔福岡県〕，日向〔宮崎県〕など）した。表面には葺石や埴輪〔円筒埴輪・**形象埴輪**〕が並べられ，竪穴式石室や粘土槨内には，鉄製武器・甲冑・馬具・冠・金銀製装身具などの**軍事的**な**副葬品**が出土する（＝**被葬者の武人的性格**を示す）。

☆角塚（岩手県），太田天神山（群馬県），**大仙陵〔仁徳天皇陵？⇒百舌鳥古墳群，世界最大規模〕**，**誉田御廟山〔応神天皇陵？⇒**古市古墳群〕**（大阪府）**，五色塚（兵庫県），造山（岡山県，吉備氏の墓），男狭穂塚・女狭穂塚〔西都原古墳群〕（宮崎県）など

C　後期（６世紀～７世紀〔終末期〕）

畿内では依然として巨大前方後円墳が築造される（奈良県の見瀬丸山古墳など）が全国各地の丘陵斜面や山間部に，**小規模化**した円墳や横穴墓が大量に登場する（**築造者は有力豪族から有力農民へと拡大**）。**朝鮮半島から伝来した，家族墓的性格の横穴式石室**（羨道と玄室を備える）が一般化し，武器などの他に大量の土師器・須恵器や農具・工具など，**日常生活用の副葬品が増加**した（＝古墳を死後の生活の場と考える）。

あ　**群集墳**の登場

岩橋千塚（和歌山県），新沢千塚（奈良県），**吉見百穴（埼玉県）**

い　**装飾古墳**・壁画古墳の登場

高松塚，キトラ（奈良県），竹原，王塚（福岡県），チブサン（熊本県），虎塚（茨城県）

う　その他の後期古墳

石舞台〔蘇我馬子の墓？〕，**藤ノ木（奈良県）**，**岩戸山（福岡県，磐井の墓？）**

〈***Note***〉

D　古墳の消滅（７世紀後半）

あ　天皇中心の政治制度の整備（646年，大化の薄葬令）

い　仏教思想の流入による火葬の普及

う　豪族の権威誇示の手段が古墳築造から寺院〔氏寺〕建立へと変化

〈 ***Note*** 〉

③渡来人と大陸文化

A　応神朝（４世紀末～５世紀初頭）の渡来人伝説

王仁（西文氏の祖，『論語』『千字文』を伝える），阿知使主（東漢氏の祖），弓月君（秦氏の祖，養蚕・機織技術を伝える）

B　品部の活躍

錦織部（高級織物），韓鍛冶部（冶金），陶部（須恵器），土師部（土師器），鞍作部（馬具），玉造部（勾玉・管玉），史部（文筆）など

C　漢字の使用⇒漢字による日本語表記の始まり

あ　石上神宮所蔵七支刀銘（奈良県）

☆４世紀後半？百済の肖古王から贈られたもの

い　稲荷台古墳出土鉄剣銘（千葉県）

☆５世紀半ば，「王賜」銘

う　隅田八幡神社所蔵人物画像鏡銘（和歌山県）

☆癸未年〔443年または503年〕

え　稲荷山古墳出土鉄剣銘（埼玉県埼玉古墳群）

☆辛亥年〔471年〕，「ワカタケル大王＝雄略天皇＝倭王武」

お　江田船山古墳出土鉄刀銘（熊本県）

☆「ワカタケル大王＝雄略天皇＝倭王武」

か　岡田山１号墳出土鉄刀銘（島根県）

☆６世紀後半

D　儒教・道教・医術・易術・暦法の伝来

６世紀に百済から五経博士（段楊爾ら），医・易・暦博士が渡来。

E　仏教の伝来

６世紀前半，司馬達等（鞍作鳥の祖父）ら一部の渡来人の間で私的に信仰されていた（『扶桑略記』より）が，公的には百済の聖明王から欽明天皇へと伝えられた。

☆戊午説（538年，『上宮聖徳法王帝説』『元興寺縁起』）と壬申説（552年，『日本書紀』）がある。

☆蘇我稲目（崇仏派・大臣）と物部尾輿（排仏派・大連）の間で崇仏論争が勃発，対立は子の蘇我馬子と物部守屋に引き継がれる。

〈***Note***〉

④日本文化の形成

A　**農耕儀礼**の成立

豊作を祈願する春の**祈年祭**(としごいのまつり)，収穫を感謝する秋の**新嘗祭**(にいなめのまつり)（天皇即位の年は**大嘗祭**(だいじょうさい)）が行われる。

B　呪術的風習の進展

禊(みそぎ)・**祓**(はらえ)（ケガレをはらう），**太占の法**(ふとまに)，亀卜(きぼく)（占い），**盟神探湯**(くかたち)（熱湯に手を入れる原始的裁判）などが行われる。

C　神祇(じんぎ)信仰の成立⇒神名備山(かんなび)（神の宿る山）・磐座(いわくら)（神の宿る岩）などから発展

あ　祭祀(さいし)遺跡（社(やしろ)の建立）

大神神社(おおみわ)（**奈良県**，**三輪山**(みわやま)をまつるわが国最古の神社），**宗像大社沖津宮**(むなかたたいしゃおきつのみや)（**福岡県**，**沖ノ島**）など

い　神社建築

伊勢神宮〔**内宮**(ないくう)⇒**天照大神**(アマテラスオオミカミ)，**外宮**(げくう)⇒豊受大神(トヨウケオオミカミ)〕（**三重県**，**神明造**(しんめいづくり)），住吉大社（大阪府，住吉造），**出雲大社⇒大国主神**(オオクニヌシノカミ)（**島根県**，大社造）など

D　氏神(うじがみ)・産土神(うぶすながみ)信仰の成立

E　神話・伝承の形成（６世紀半ば）

『**帝紀**(ていき)』（**神武天皇**(じんむ)以降の大王の系譜），『**旧辞**(きゅうじ)』（朝廷の説話・伝承）の編纂

---

⑤生活習慣の変化

A　住居

豪族は環濠・柵列(さくれつ)をめぐらした**居館**を営み，支配・生活・倉庫群の場とする（**群馬県三ツ寺Ｉ遺跡**など）。

☆庶民は竪穴住居（炉にかわりカマドが発生）・平地住居を中心とした，環濠のない集落を形成（群馬県黒井峯(くろいみね)遺跡など）。

B　土器

弥生土器の系譜を引く**土師器**(はじき)（赤褐色，日常生活用），朝鮮半島の土器の系譜を引く**須恵器**(すえき)（灰色，祭祀(さいし)用）が登場。

C　衣服など

豪族は絹の衣(ころも)と袴(はかま)（男），衣と裳(も)（女）を着用。庶民は麻を使用。

☆髪型は男が美豆良(みずら)，女は髷(まげ)を結(ゆ)うことが多かった。

〈 ***Note*** 〉

２　飛鳥文化

①飛鳥文化の特色

A　大和国（やまとのくに）の皇族・豪族が担（にな）う，わが国初の仏教文化である。

☆仏教興隆（こうりゅう）の詔（みことのり）（594年）

B　中国の南北朝文化や朝鮮半島（百済（くだら）・高句麗（こうくり））の文化の影響が大きい。

C　ギリシア・ローマ・ペルシア・インドなどの影響も受け，世界性に富む。

☆エンタシスの柱（法隆寺），忍冬唐草文様（にんどうからくさもんよう），獅子狩文様（ししかりもんよう）など

---

②寺院建築（掘立柱（ほったてばしら）建築から礎石（そせき）建築へ）

伽藍（がらん）配置は，飛鳥寺式⇒四天王寺式⇒法隆寺式⇒薬師寺式⇒東大寺式⇒大安寺式と変遷（へんせん）

A　飛鳥寺〔法興寺（ほうこうじ）〕（大和国，蘇我馬子が建立（こんりゅう））

わが国初の本格的寺院，のち平城京に移築され元興寺（がんごうじ）となる。

B　斑鳩寺（いかるがでら）〔法隆寺〕（大和国，聖徳太子が建立）

西院伽藍（さいいん）（金堂（こんどう）・五重塔・中門（ちゅうもん）・回廊（かいろう））は，現存する世界最古の木造建築として，ユネスコの世界文化遺産に登録されている。

☆670年焼失という『日本書紀』の記事をめぐる法隆寺再建（さいこん）論争が展開されるが，若草伽藍跡の発掘（1939年）により，再建説が定説となる。

☆四天王寺（してんのうじ）（摂津国），中宮寺（ちゅうぐうじ）（大和国）も聖徳太子の建立。

C　太秦寺（うずまさでら）〔広隆寺（こうりゅうじ）〕（山背国（やましろのくに），秦河勝（はたのかわかつ）が建立）

〈***Note***〉

③仏像彫刻

雲崗石仏・竜門石仏（中国）の影響，アルカイックスマイル〔古拙の微笑〕を浮かべる。

A　**北魏様式**（力強く端正で硬い表現，左右対称の幾何学的な衣文）

あ　**飛鳥寺釈迦如来像〔飛鳥大仏〕**（**鞍作鳥〔止利仏師〕**の作，**わが国最古の仏像**）

い　**法隆寺金堂釈迦三尊像**（**鞍作鳥〔止利仏師〕**の作）

う　**法隆寺夢殿救世観音像**（明治時代に**アメリカ人フェノロサ**と岡倉天心が解明）

B　**南梁様式**〔南朝様式〕（柔和で丸みのある写実的表現，自然な変化のある衣文）

あ　**法隆寺百済観音像**

い　**中宮寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕**

う　**広隆寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕**

---

④工芸

A　**法隆寺玉虫厨子**

☆須弥座絵・扉絵は，古墳壁画を除くわが国最古の絵画。

B　法隆寺竜首水瓶・**獅子狩文様錦**・伎楽面・**忍冬唐草文様**

C　中宮寺天寿国繍帳

☆**橘大郎女**（聖徳太子の妃）が，采女たちに作らせたもの。

---

⑤学問

A　**三経義疏**〔法華経・勝鬘経・維摩経〕（**聖徳太子**が著した経典の注釈書）

B　**『天皇記』『国記』**（620年）

☆**聖徳太子と蘇我馬子が共同で編纂**した歴史書，645年に焼失？

---

⑥渡来僧の活躍

百済の**観勒**が**暦法・天文地理**を，高句麗の**曇徴**が**紙・墨・絵の具の製法**を伝える。

☆高句麗の恵慈は聖徳太子の仏教の師。

〈 ***Note*** 〉

第１講　文化史確認テスト

1　大量の三角縁神獣鏡が出土したことで有名な，奈良県の前方後円墳とは？

①箸墓古墳　②椿井大塚山古墳　③黒塚古墳　④稲荷山古墳

2　わが国最大の大仙陵〔大山〕古墳を含む，大阪府堺市の古墳群とは？

①古市古墳群　②百舌鳥古墳群　③江田船山古墳群　④西都原古墳群

3　埼玉県にある有名な横穴墓群とは？

①新沢千塚　②岩橋千塚　③吉見百穴　④草戸千軒

4　渡来人のうち，東漢氏の祖とされる人物とは？

①王仁　②阿知使主　③弓月君　④司馬達等

5　48文字を刻む人物画像鏡が発見された隅田八幡神社はどこにあるか？

①奈良県　②大阪府　③京都府　④和歌山県

6　三輪山を御神体とする，わが国最古とされる神社とは？

①大神神社　②宗像大社　③伊勢神宮　④出雲大社

7　わが国初の本格的寺院である飛鳥寺〔法興寺〕を創建した人物とは？

①蘇我稲目　②蘇我馬子　③推古天皇　④聖徳太子

8　飛鳥寺釈迦如来像や法隆寺金堂釈迦三尊像を制作した仏師とは？

①司馬達等　②鞍作鳥〔止利仏師〕　③国中公麻呂　④定朝

9　明治時代，秘仏であった法隆寺夢殿救世観音像を弟子の岡倉天心〔覚三〕とともに発見したアメリカ人とは？

①ヘボン　②モース　③クラーク　④フェノロサ

10　古墳壁画を除く国内最古とされる絵画が描かれている玉虫厨子は，どの寺に所蔵されているか？

①法興寺　②四天王寺　③法隆寺　④中宮寺

11　聖徳太子が著した三経義疏と関係のないものを一つ選べ。

①法華経　②勝鬘経　③維摩経　④金光明経

12　暦法・天文地理を伝えた百済からの渡来僧とは？

①観勒　②曇徴　③恵慈　④道昭

解答

1	③	2	②	3	③	4	②	5	④
6	①	7	②	8	②	9	④	10	③
11	④	12	①						

第２講　白鳳・天平文化

1　白鳳文化

①白鳳文化の特色

A　大和国の皇族・豪族が担う仏教文化である。

B　新羅を介した**初唐文化の影響が強い**が，西アジア・インド・高句麗の影響などもみられる。

C　**律令国家の建設期を反映した，明るく清新な文化**である。

---

②国家仏教の成立（朝廷による仏教の保護・統制）

飛鳥四大寺（**大官大寺**〔もと百済大寺→高市大寺，奈良時代以降は**大安寺**〕，飛鳥寺〔法興寺〕，川原寺〔弘福寺〕，**薬師寺**）などの**官大寺〔官寺〕**が設置され，僧綱制や僧尼令による統制も進んだ。

☆伊勢神宮を中心とする神祇制度の整備も同時に行われた。

---

③寺院建築

A　**薬師寺東塔**⇒裳階つきの三重塔

アメリカ人フェノロサにより，「凍れる音楽」と称えられる。

B　山田寺回廊

蘇我倉山田石川麻呂の発願，わが国最古の木造建築遺構。

〈 ***Note*** 〉

④仏像彫刻

A　**興福寺仏頭(ぶっとう)〔もと山田寺本尊〕**

B　**薬師寺金堂薬師三尊像**

C　薬師寺東院堂聖(しょう)観音像

D　法隆寺阿弥陀三尊像〔橘(たちばな)夫人念持仏(ねんじぶつ)〕

E　法隆寺夢違(ゆめたがい)観音像

---

⑤絵画

A　**法隆寺金堂壁画（1949年焼失）**

アジャンター石窟(せっくつ)壁画（インド），敦煌(とんこう)石窟壁画（中国）に類似(るいじ)。その焼失は**文化財保護法制定（1950年）**の契機となる。

B　**高松塚古墳壁画**（1972年発見）

高句麗の古墳壁画に類似。天文図(てんもん)・**男女群像**・四神(しじん)〔東＝青竜(せいりゅう)，西＝白虎(びゃっこ)，南＝朱雀(すざく)，北＝玄武(げんぶ)〕などが描かれるが，朱雀は現存せず。

☆カビが発生するなど劣化(れっか)が進み，石室が解体され壁画を修復。

C　**キトラ古墳壁画**

十二支(し)の獣頭人身図(じゅうとうじんしんず)，天文図の他，四神すべてが現存する。

☆カビが発生するなど劣化が進み，石室内の壁画をはぎ取り修復。

D　上淀廃寺(かみよどはいじ)金堂壁画（伯耆国(ほうきのくに)）

---

⑥文学

A　漢詩（からうた）

大友皇子，大津皇子らの作品が，奈良時代の『懐風藻(かいふうそう)』に収録される。

B　和歌（やまとうた）

有間皇子，**額田王(ぬかたのおおきみ)**，持統天皇，**柿本人麻呂(かきのもとのひとまろ)**らの作品が，奈良時代の『万葉集』に収録される。

〈***Note***〉

２　天平(てんぴょう)文化

①天平文化の特色

A　**律令国家確立期**の平城京の皇族・貴族たちが担(にな)う，華やかな**貴族文化**である。

B　**鎮護国家仏教**の進展を反映する**仏教文化**である。

C　遣唐使のもたらす**盛唐文化の影響が強い**。

D　唐を通じて西域(さいいき)からの文化も伝わり，**国際色豊かな文化**である。

〈 ***Note*** 〉

②鎮護国家仏教の全盛

A　護国三部経の重視

金光明経〔金光明最勝王経〕・仁王経・**法華経〔妙法蓮華経〕**

B　仏教保護政策⇒**僧尼令**による統制

741年　**国分寺建立の詔**

743年　**大仏〔盧舎那仏〕造立の詔**⇒行基・国中公麻呂らが協力

752年　**東大寺大仏開眼供養会**⇒菩提僊那・仏哲も参列

754年　鑑真の来朝（前年来日）

765年　道鏡，太政大臣禅師となる

766年　道鏡，法王となる

C　**南都六宗**⇒学問的な性格

三論宗，成実宗，**法相宗**（行基･玄昉･道鏡ら），倶舎宗，**華厳宗**（良弁ら），**律宗**（鑑真ら）

☆**教理研究の学派**にすぎないので，一つの寺院に複数の宗派が存在することもある。

D　南都七大寺

元興寺，法隆寺または唐招提寺，薬師寺，東大寺，西大寺，大安寺，**興福寺（藤原氏の氏寺）**

E　**鑑真**の来朝（754年）⇒淡海三船『唐大和上東征伝』より

入唐した普照と栄叡の要請により，失明しながらも５度の失敗を乗り越え渡来。戒律を伝え東大寺に戒壇院を建立，聖武上皇・光明皇太后・孝謙天皇らに授戒。のち**唐招提寺**を創建し，そこで没した。

☆**天下三戒壇**⇒東大寺（大和国），薬師寺（下野国），観世音寺（筑前国）

F　社会事業

あ　**行基**⇒745年大僧正，大仏完成前に死去

民間布教，架橋・治水，五泊，**布施屋**の設置など

い　**光明皇后**

悲田院・施薬院の設置

う　和気広虫〔法均尼〕⇒和気清麻呂の姉

恵美押勝の乱後，孤児を養育。

〈 ***Note*** 〉

G　結果

あ　寺院の濫造（らんぞう）による国家財政の窮乏（きゅうぼう）と人民の疲弊（ひへい）

い　**仏教の国家保護による僧侶の政治介入（かいにゅう）（玄昉・道鏡など）**

う　教団内部における宗教活動の低迷と退廃

え　**造寺造仏（ぞうじぞうぶつ）の盛行による天平文化の創出**

---

③寺院建築

A　**東大寺法華堂（ほっけどう）〔三月堂（さんがつどう）〕**

B　東大寺転害（てがい）門

C　**東大寺正倉院（しょうそういん）宝庫⇒校倉造（あぜくらづくり）**

D　法隆寺夢殿（ゆめどの）　⇒東院（とういん）伽藍の中心

E　法隆寺伝法堂（でんぽうどう）　⇒住宅建築の遺構（いこう）

F　**唐招提寺金堂**

G　**唐招提寺講堂**　⇒平城宮（へいじょうきゅう）の東朝集殿（ひがしちょうしゅうでん）を移築・改築

---

④彫刻

A　**塑像（そぞう）**（粘土（ねんど）で造った像）

あ　**東大寺法華堂日光（にっこう）・月光（がっこう）菩薩像**

い　**東大寺法華堂執（しつ）金剛神像**

う　**東大寺戒壇院（かいだんいん）四天王（してんのう）像**⇒持国天（じこくてん）・広目天（こうもくてん）・増長天・多聞天（たもんてん）

え　新薬師寺十二神将（しんしょう）像

B　**乾漆像（かんしつぞう）**（麻布（あさぬの）を漆（うるし）で固めて造った像）

あ　**東大寺法華堂不空羂索観音（ふくうけんじゃくかんのん）像**

い　**興福寺八部衆（はちぶしゅう）像**（**阿修羅（あしゅら）像**など）

う　興福寺十大弟子像

え　**唐招提寺鑑真和上（わじょう）像**

お　唐招提寺金堂盧舎那（るしゃな）仏（ぶつ）像

か　**聖林寺（しょうりんじ）十一面観音像**

〈 ***Note*** 〉

⑤絵画

A　**薬師寺吉祥天像**

B　**正倉院鳥毛立女屏風**⇒唐の「**樹下美人図**」の構図を採用

C　（過去現在）絵因果経⇒わが国最古の絵巻物？

---

⑥工芸

A　東大寺大仏殿八角灯籠

B　**正倉院宝物**

光明皇太后が東大寺に献納した**聖武天皇の遺愛品**，**シルクロード〔絹の道〕**経由の西域の工芸品など

☆**螺鈿紫檀五絃琵琶**，漆胡瓶，白瑠璃碗，紺瑠璃杯，銀薫炉など。

C　**百万塔**

称徳天皇が恵美押勝の乱（764年）の戦没者慰霊のため南都十大寺に寄進。

陀羅尼経は現存する世界最古級の印刷物。

---

⑦文芸

A　**懐風藻**（751年）

最古の漢詩集，長屋王・**淡海三船**・**石上宅嗣**らが当時の代表的詩人。

B　**万葉集**（８世紀後半）⇒**万葉仮名**を使用，雑歌・相聞歌・挽歌

約**4500首**を20巻に収める**最古の和歌集**，素朴で力強い**万葉調**〔ますらをぶり〕。

☆天皇〔大王〕から**東歌**・**防人歌**など地方農民の歌まで幅広く収録，当時の政治・社会を知る大きな手掛かり。

☆当時の代表的歌人は山部赤人，**山上憶良**，大伴旅人，大伴坂上郎女，**大伴家持**ら。

〈***Note***〉

⑧歴史・地誌

A　**古事記**（712年，元明天皇の命により，**稗田阿礼**の暗誦をもとに**太安万侶**が編纂）

『帝紀』『旧辞』の誤りを正し，氏姓の尊卑に基づく社会制度の確立を意図。**神代〜推古天皇を変体の漢文紀伝体**で３巻に収録した，**現存最古の歴史書**。

B　**日本書紀**（720年，元正天皇の命により，**舎人親王**らが編纂）

皇室による国家統治の正当性を証明し，国家の威容を誇示する**正史**として編纂。**『帝紀』『旧辞』**などを参考に**神代〜持統天皇**を**正式の漢文編年体**で30巻＋系図１巻に収録した，**六国史のはじめ**。

☆**六国史**　⇒**日本書紀**，**続日本紀**（文武〜桓武天皇を藤原継縄らが編纂），**日本後紀**（桓武〜淳和天皇を藤原緒嗣らが編纂），**続日本後紀**（仁明天皇一代を藤原良房らが編纂），**日本文徳天皇実録**（文徳天皇一代を藤原基経らが編纂），**日本三代実録**（清和・陽成・光孝天皇三代を藤原時平らが編纂）

☆**類聚国史**⇒六国史の記事を事項別に分類し，年代順に配列したもの。菅原道真の編纂。

C　**風土記**（713年，元明天皇の命により，**各国の物産・地理・伝説を国司が編纂**）

五風土記（**出雲**・常陸・播磨・豊後・肥前）が残存，うち出雲国のみ完本。

〈*Note*〉

⑨教育

A　**大学**〔大学寮〕⇒上級官人の養成機関として**中央に設置，式部省が管轄**。
五位以上（＝貴族）の子弟，東西史部の子，八位以上の子の志願者らが入学。平安時代には四道（**明経道**，**明法道**，**紀伝道**〔文章道〕，算道）が確立。

☆**明経道**⇒儒学の経典を学ぶ。明経博士は清原氏・中原氏ら。
明法道⇒律令格式などを学ぶ。明法博士は坂上氏ら。
紀伝道⇒中国の文学・史学などを学ぶ。**文章博士**は**菅原氏**・大江氏ら。
算道　⇒算術を学ぶ。算博士は三善氏ら。

B　**国学**　⇒下級官人の養成機関として**地方に設置，国司が管轄**。
郡司の子弟が入学（欠員ある場合は庶民の子弟も可）。国博士・国医師が儒学・医学を教育した。

C　専門機関
中務省管轄の**陰陽寮**（天文・暦），宮内省管轄の典薬寮（医・薬）でも教育が行われた。

D　図書館
石上宅嗣が晩年，旧宅を**芸亭**として蔵書を公開。**わが国初の私設図書館**。

〈 ***Note*** 〉

第２講　文化史確認テスト

1　もとは舒明天皇の百済大寺で，のち平城京に移転して大安寺となる官寺とは？

①大官大寺　②川原寺　③山田寺　④西大寺

2　明治時代，アメリカ人フェノロサに“凍れる音楽”と称えられた，白鳳文化の建築物とは？

①法隆寺金堂　②法隆寺五重塔　③薬師寺東院堂　④薬師寺東塔

3　1949年，失火により焼失し，翌1950年の文化財保護法制定につながった文化財とは？

①法隆寺金堂壁画　②山田寺回廊　③薬師寺西塔　④高松塚古墳壁画

4　四神のすべてや星宿図などの壁画が発見されたことで有名な，奈良県の古墳とは？

①高松塚古墳　②キトラ古墳　③竹原古墳　④王塚古墳

5　当初は迫害されたが，のち大仏造立に協力し大僧正になった人物とは？

①道昭　②行基　③良弁　④玄昉

6　南都六宗のうち現存しないものを一つ選べ。

①法相宗　②倶舎宗　③華厳宗　④律宗

7　鑑真の来朝を描く『唐大和上東征伝』の作者とは？

①行基　②石上宅嗣　③淡海三船　④和気広虫〔法均尼〕

8　東大寺正倉院で採用された，井桁状の三角材で壁面をつくる建築技法とは？

①礎石建築　②校倉造　③寄木造　④大仏様

9　正倉院宝物を一つ選べ。

①三経義疏　②螺鈿紫檀五絃琵琶
③百万塔陀羅尼　④（過去現在）絵因果経

10　平城宮の東朝集殿を移築・改築した建築物とは？

①東大寺法華堂　②東大寺転害門
③唐招提寺金堂　④唐招提寺講堂

11　最古の和歌集である万葉集を編纂したとされる人物とは？

①山部赤人　②柿本人麻呂　③大伴旅人　④大伴家持

12　六国史のうち，奈良時代すべてを含む歴史書とは？

①日本書紀　②続日本紀　③日本後紀　④続日本後紀

解答

1	①	2	④	3	①	4	②	5	②
6	②	7	③	8	②	9	②	10	④
11	④	12	②						

第３講　平安時代の文化①

１　弘仁・貞観文化

①弘仁・貞観文化の特色

A　平安京の皇族・貴族が中心の文化である。

B　晩唐文化の影響が強いが，国風化の芽生えも見られる。

C　紀伝道〔文章道〕・明経道が重視され，宮廷を中心に漢文学が流行する。

☆律令の正しい運用をめざしたため。

D　唐から新たに持ち込まれた密教の影響が強く，密教芸術が栄える。

☆官能的で，暗く神秘的なイメージ。

〈 ***Note*** 〉

②平安仏教

A　奈良〔南都〕仏教との相違

あ　**信仰を中心とした一宗派の独立**。

い　南都六宗の理論・学問面中心主義（＝**顕教**）に対し，**密教**的傾向の強い**加持祈禱**などの実践面が中心となる。

☆公的な鎮護国家思想に加え，私的な日常の**現世利益**も強く求める。

う　**山岳仏教の性格が強く**，のちに日本古来の山岳崇拝（白鳳文化期の**役小角〔役行者〕**～）と結合し，国風文化期以降に発生する**修験道**の源流となる。

B　**天台宗⇒比叡山延暦寺（近江国）**

近江国出身の**最澄〔伝教大師〕**が開祖。804年，遣唐使に従い入唐，翌年帰国し桓武天皇の庇護を受ける。**法華経を根本経典とし**，禅・密・戒の総合宗派として，仏の前における絶対平等を説く。南都六宗からの独立を目指し，大乗戒壇設立を主張，死の７日後に認められる。著書『**山家学生式**』『**顕戒論**』。

☆最澄の死後，唐に渡った**円仁〔慈覚大師〕**（現存最古の日記『**入唐求法巡礼行記**』の著者）と**円珍〔智証大師〕**により密教化（＝**台密**），天台教団の基礎が確立。

☆10世紀末，比叡山を下りた円珍派が園城寺〔三井寺〕に移り，**山門派（延暦寺の円仁派）と寺門派（園城寺の円珍派）**に分裂し対立を深めた。

C　**真言宗⇒高野山金剛峰寺（紀伊国），教王護国寺〔東寺〕（山城国，嵯峨天皇に賜る）**

讃岐国出身の**空海〔弘法大師〕**が開祖。804年，遣唐使に従い入唐，806年に帰国。大日経・金剛頂経を根本経典とし，**加持祈禱**などの秘法により中心仏である**大日如来**と合一（＝**即身成仏**）できると説く。南都六宗と友好関係を保ち，**嵯峨天皇の庇護を受け発展**。現世利益的傾向が皇族・貴族の支持を受け，密教の流行をもたらした（＝**東密**）。著書『**三教指帰**』『十住心論』。

〈 ***Note*** 〉

③神祇信仰の発達

A　御霊信仰の発生

非業の死を遂げた人物の霊（＝**怨霊**）を祀る**御霊会**が行われる。

☆神泉苑（早良親王を祀る初の御霊会），祇園社〔現在の八坂神社〕，**北野天満宮**〔北野神社〕（菅原道真を天神とする）など。

B　放生会の開始

捕獲しておいた虫・魚・動物などを山野河海に解き放ち，自由にする法会。仏教の影響を受けて行われた。

---

④神仏習合の風潮⇒天平文化期以来

神宮寺の建築，神前読経の実施，寺院の境内に鎮守を祀るなど，仏教と日本古来の神祇信仰との融合が進んだ。

---

⑤寺院建築

天台宗・真言宗はともに山岳仏教であったため，寺院は自然の地形に応じて**自由な伽藍配置**をとった。

A　**室生寺金堂**　（**大和国**）⇒創建当時は檜皮葺，現在は柿葺の屋根を持つ。

B　**室生寺五重塔**　⇒わが国最小の五重塔。

---

⑥彫刻

頭部と胴体を一本の木でつくる**一木造**が主流，衣文は**翻波式**で豊満・神秘的な像が多い。

A　**室生寺金堂釈迦如来像**

B　**室生寺弥勒堂釈迦如来坐像**

C　**元興寺薬師如来像**　（**大和国**）

D　**神護寺薬師如来像**　（**山城国**）

E　**法華寺十一面観音像（大和国）**

F　**観心寺如意輪観音像（河内国）**

G　**教王護国寺講堂不動明王像**

H　**薬師寺僧形八幡神像**⇒神仏習合を示す好例

I　薬師寺神功皇后像　⇒応神天皇の母

〈 ***Note*** 〉

⑦絵画

A　曼荼羅（マンダラ）　⇒真言密教の金剛界（こんごうかい）と胎蔵界（たいぞうかい）を具現化する両界曼荼羅が隆盛。

あ　神護寺両界曼荼羅〔高雄曼荼羅〕

い　教王護国寺両界曼荼羅

B　不動明王像⇒密教の中心仏である大日如来の化身（けしん），修験道の本尊でもある。

あ　園城寺不動明王像　〔黄（き）不動〕（近江国）

い　高野山明王院（みょうおういん）不動明王像〔赤不動〕（紀伊国）

☆両方とも円珍が描かせたものか。国風文化期の青蓮院（しょうれんいん）不動明王像〔青不動〕（山城国）とともに三不動と称される。

---

⑧書道

嵯峨天皇，空海，橘逸勢（たちばなのはやなり）を唐風書道〔唐様（からよう）〕の三名手として三筆（さんぴつ）と呼ぶ。

A　風信帖（ふうしんじょう）⇒空海が最澄にあてた手紙

B　久隔帖（きゅうかくじょう）⇒最澄が弟子の泰範（たいはん）にあてた手紙

〈 ***Note*** 〉

⑨文芸

上級貴族の教養として，漢文学・歴史学習（＝紀伝道〔文章道〕**）が流行。**重要な出世の手段ともなった。⇒文学史における“国風暗黒時代”

☆代表的漢詩文作家⇒嵯峨天皇，空海，小野篁，都良香，菅原道真，三善清行ら

A　**勅撰漢詩文集**⇒文芸を中心とした国家の隆盛を目指す（＝**文章経国思想**）

　あ　**凌雲集**　　（**嵯峨天皇**）⇒小野岑守らが編纂

　い　**文華秀麗集**（**嵯峨天皇**）⇒藤原冬嗣らが編纂

　う　**経国集**　　（淳和天皇）⇒良岑安世ら編纂

B　**漢詩集**

　あ　**性霊集**〔遍照発揮性霊集〕（**空海**）⇒弟子の真済が編集

　い　都氏文集（都良香）

　う　**菅家文草**（**菅原道真**）

　え　菅家後集（菅原道真）

C　漢詩論

　文鏡秘府論　（**空海**）⇒わが国最古の漢詩論

D　**説話集**

　日本霊異記　（**景戒**）**⇒わが国最古の仏教説話集**

E　歴史書

　あ　『続日本紀』以下の六国史が完成

　い　**類聚国史**（**菅原道真**）⇒六国史の記事を分類

F　氏族系譜書

　新撰姓氏録　（万多親王）⇒混乱する畿内諸氏族の系譜を明確にするため編纂

G　**かな文字**の登場

　９世紀に入り，万葉がなの草書体（**草がな**〔草体がな〕）を簡略化した**平がな**や，漢字の一部分を採った**片かな**が用いられ始めた。

　☆藤原有年申文（讃岐国の国司，867年）は，草がなから平がなへの変化を示す好例。

〈 ***Note*** 〉

⑩教育

A　大学教育の発展

明経道・明法道・紀伝道〔文章道〕・算道の四道が確立。**漢詩文の隆盛に伴い紀伝道が中心教科となる。**

B　**大学別曹**（＝大学付属の寄宿舎兼図書館，一族専用で学費も支援）

弘文院（**和気氏**，和気広世が設立），**勧学院**（**藤原氏**，**藤原冬嗣が設立**），**学館院**（**橘氏**，橘嘉智子〔檀林皇后〕が設立），**奨学院**（**在原氏**など皇族出身貴族〔王氏〕，在原行平が設立）

C　**庶民教育**

綜芸種智院（828年，**空海が設立**）

☆京都で儒教・仏教・道教を教えたが，**空海の死後廃絶した。**

---

⑪儀式・儀礼の整備

『交替式』『内裏式』の編纂など，国家の文化事業として重視された。

〈 ***Note*** 〉

第３講　文化史確認テスト

1　開祖最澄〔伝教大師〕が近江国に建立した，天台宗の中心寺院とは？

①延暦寺　②園城寺〔三井寺〕　③石山寺　④寛永寺

2　開祖空海〔弘法大師〕が紀伊国に建立した，真言宗の中心寺院とは？

①教王護国寺〔東寺〕　②金剛峰〔峯〕寺　③長谷寺　④醍醐寺

3　円仁〔慈覚大師〕が著した，現存最古の日記とは？

①懐風藻　②入唐求法巡礼行記　③更級日記　④明月記

4　天台宗の中心経典とは？

①金光明経　②仁王経　③法華経　④大日経

5　真言宗の中心仏とは？

①薬師如来　②釈迦如来　③阿弥陀如来　④大日如来

6　非業の死を遂げた人物の霊である怨霊を祀る行事を何というか？

①鎮護国家　②加持祈禱　③御霊会　④放生会

7　平安前期の金堂・五重塔が現存することでも有名な，のち“女人高野”とも呼ばれた奈良県の寺院とは？

①元興寺　②法華寺　③聖林寺　④室生寺

8　大阪府観心寺に現存する観音像で，平安前期の秘仏とは？

①夢違観音像　②不空羂索観音像　③十一面観音像　④如意輪観音像

9　密教の世界観を絵画で具現化したものを何というか？

①獅子狩文様錦　②天寿国繍帳　③絵因果経　④曼荼羅

10　唐様（＝唐風書道）の三名手である三筆でない人物を一人選べ。

①嵯峨天皇　②空海　③橘逸勢　④小野篁

11　空海の漢詩集とは？

①性霊集　②凌雲集　③文華秀麗集　④経国集

12　六国史の記事の分類である『類聚国史』を編纂した文章博士とは？

①太安万侶　②菅原道真　③三善清行　④都良香

解答

1	①	2	②	3	②	4	③	5	④
6	③	7	④	8	④	9	④	10	④
11	①	12	②						

第４講　平安時代の文化②

1　国風〔藤原〕文化

①国風文化の特色

A　平安京の皇族・**摂関家**を中心とする高度な貴族文化

B　**中国（唐・宋）文化を十分に吸収・消化したわが国独自の文化**

☆日本の風土・人情・嗜好(しこう)に合った，柔和(にゅうわ)で優美な文化。

C　**かな文字の発達を前提に国文学が発展**

D　政治の腐敗(ふはい)や社会不安の高まりの中で，**神仏習合(しんぶつしゅうごう)・末法思想(まっぽうしそう)・浄土信仰(じょうどしんこう)（浄土教・阿弥陀信仰）が流行**し，芸術に多大な影響を与える。

〈***Note***〉

②末法思想と浄土信仰

A　天台宗〔台密(たいみつ)〕・真言宗〔東密(とうみつ)〕の隆盛

鎮護国家・現世利益(げんぜりやく)のための加持祈禱(かじきとう)が，皇族・貴族の間で流行。

B　神仏習合の進展

神は仏の仮の姿（＝権現(ごんげん)）とする**本地垂迹説(ほんじすいじゃくせつ)**が流行

C　**浄土信仰の隆盛**

あ　思想⇒**阿弥陀如来(あみだにょらい)**の信仰

念仏「南無阿弥陀仏(なむあみだぶつ)」を唱え，来世において極楽浄土に往生することを願う。

い　背景

社会不安の増大（盗賊・火災・疫病(えきびょう)・戦乱など），**寺院の世俗化**（荘園の集積など），**末法思想の流行。**

☆**末法思想**＝釈迦入滅(にゅうめつ)後，1000年ずつの正法(しょうぼう)・像法(ぞうぼう)を経て**1052〔永承(えいしょう)7〕年から末法に突入**すると考えられた。

D　布教

あ　**空也(くうや)〔市聖(いちのひじり)**・阿弥陀聖〕(10世紀半ば)

諸国を巡歴したのち，**京(みやこ)で一般民衆に布教。**西光寺(さいこうじ)（のちの**六波羅蜜寺(ろくはらみつじ)**）を創建。

い　**源信(げんしん)〔恵心僧都(えしんそうず)〕**　　　(10世紀後半)

985年に**『往生要集(おうじょうようしゅう)』**を著す。上流貴族への浄土教普及を促(うなが)し，持ち込まれた宋でも高い評価を得た。

う　**往生伝**（念仏の功徳(くどく)で往生した人々の伝記集）の執筆

『日本往生極楽記』（慶滋保胤(よししげのやすたね)），『**拾遺(しゅうい)**往生伝』（三善為康(みよしのためやす)）など

え　**経塚(きょうづか)**の流行

経典を書写し，**経筒(きょうづつ)**におさめ地中に埋める。藤原道長が法華経を埋納した金峰山(きんぷせん)経塚などが有名。

〈 ***Note*** 〉

③浄土信仰を反映した美術など

A　建築

あ　**醍醐寺**(だいごじ)**五重塔**

い　法成寺(ほうじょうじ)〔無量寿院〕阿弥陀堂

☆藤原道長〔御堂(みどう)関白〕が建立(こんりゅう)，焼失により現存せず。

う　**平等院鳳凰堂**

☆**藤原頼通〔宇治関白〕が建立**（1053年完成），浄土庭園も有名。

え　**法界寺**(ほうかいじ)**阿弥陀堂**

☆日野資業(すけなり)が建立。

お　**浄瑠璃寺九体**(じょうるりじくたい)**阿弥陀堂**

☆院政期の説もあり。

B　彫刻⇒**仏所**(ぶっしょ)において，**寄木造**(よせぎづくり)の阿弥陀像を大量生産

あ　**平等院鳳凰堂阿弥陀如来像**

☆京都七条仏所の**定朝**(じょうちょう)が制作，周囲に多数の雲中供養菩薩像(うんちゅうくようぼさつぞう)を従える。

い　**法界寺阿弥陀如来像**

う　**浄瑠璃寺九体阿弥陀仏**

☆院政期の説もあり。

C　絵画⇒**来迎図**(らいごうず)の制作が流行

あ　**高野山聖衆**(しょうじゅ)**来迎図**（紀伊国）

い　平等院鳳凰堂扉絵(とびらえ)

う　青蓮院(しょうれんいん)不動明王像〔青不動〕

〈 ***Note*** 〉

④国風美術

A　建築⇒皇族・貴族の邸宅として，白木造・檜皮葺の**寝殿造**が発達

寝殿・対屋・渡殿・釣殿・遣水・池・中島などからなる。

☆室内は屏風・襖などで簡単に仕切られ，床は板敷きで円座や畳を敷いて座った。

☆摂関家の邸宅である東三条殿などが有名だが，現存する寝殿造はない。

B　絵画

従来の唐絵に代わり，日本の風景や民俗を主題とする**大和絵**が発達。弘仁・貞観文化期の百済河成に続き，**巨勢金岡**らが活躍した。

C　書道

従来の唐様に代わり，**和様**〔上代様〕が発達。**小野道風**（『秋萩帖』『屏風土代』）・**藤原佐理**（『離洛帖』）・**藤原行成**（**世尊寺流の祖**，『白氏詩巻』『蓬莱切』）の３名手を**三蹟**〔三跡〕という。

D　工芸

蒔絵（＝漆器に金銀粉を蒔きつけて模様としたもの）や螺鈿（＝貝殻の真珠光部分を薄片にして埋め込んだもの）などの技法が発達。

☆輸出品としても珍重された。

〈 ***Note*** 〉

⑤国文学の発達

A　**かな文字の発達**

日本人特有の内面的感情・感覚の表現が可能となり，国文学の隆盛をもたらす。

☆10世紀ごろ，五十音図やいろは歌が成立したとされる。

B　詩歌⇒和歌が漢詩と並ぶ地位を確立

あ　六歌仙（ろっかせん）　（９世紀後半の和歌６名手）

僧正遍昭（そうじょうへんじょう），在原業平（ありわらのなりひら），小野小町（おののこまち），僧喜撰（そうきせん），文屋康秀（ふんやのやすひで），大友黒主（おおとものくろぬし）

い　**古今（こきん）和歌集（905年，醍醐天皇）**

万葉集以降～当代（とうだい）の約1100首を20巻に収める**初の勅撰和歌集**で，**八代集（はちだいしゅう）のはじめ**。繊細（せんさい）・優美で技巧的（ぎこうてき）な**古今調**〔たをやめぶり〕。

紀貫之（きのつらゆき）・紀友則（きのとものり）・凡河内躬恒（おおしこうちのみつね）・壬生忠岑（みぶのただみね）が編纂。紀貫之の**仮名序（かなじょ）**はわが国最古の歌論。

☆三代集⇒古今和歌集・後撰（ごせん）和歌集・拾遺（しゅうい）和歌集

☆**八代集（はちだいしゅう）**⇒古今・後撰・拾遺・後拾遺（ごしゅうい）・金葉（きんよう）・詞花（しか）・千載（せんざい）・新古今

う　**和漢朗詠（ろうえい）集**

藤原公任（きんとう）が編纂した，朗詠に適した和漢の詩歌集。

え　**本朝文粋（ほんちょうもんずい）**

『明衡往来（めいごうおうらい）』（最古の往来物）の著者でもある**藤原明衡（あきひら）**が編纂した漢詩集。

C　物語

あ　９世紀末～10世紀前半

竹取物語　（伝奇物語）⇒かぐや姫を主人公とする**最古の物語**

伊勢物語　（歌物語）　⇒在原業平を主人公とする**最古の歌物語**

い　10世紀後半

宇津保（うつほ）物語（伝奇物語）⇒竹取～源氏物語への過渡（かと）的な存在

落窪（おちくぼ）物語　（伝奇物語）⇒継子（ままこ）物語の先駆

大和物語　（歌物語）

平中（へいちゅう）物語　（歌物語）　⇒平貞文（たいらのさだぶみ）を主人公とする

う　11世紀初め

源氏物語（紫式部，全54帖（じょう））

☆前編は**光源氏（ひかるげんじ）**，後編の宇治十帖（うじじゅうじょう）はその子薫大将（かおるたいしょう）を主人公とする，物語文学の最高峰。**国際的評価も極めて高い。**

え　11世紀半ば

堤（つつみ）中納言物語

〈***Note***〉

D　日記文学

あ　10世紀

土佐日記　　　　（紀貫之）

☆女性に仮託(かたく)して書かれた，**最古のかな日記**。

蜻蛉(かげろう)日記　　　　（藤原道綱の母）

☆一夫多妻制の貴族社会における女性の苦悩を描く，**最古の女流日記**。

い　11世紀前半

和泉(いずみ)式部日記　　（和泉式部）

紫式部日記　　　（紫式部）

☆**紫式部は，一条天皇の中宮彰子(しょうし)**〔上東門院(じょうとうもんいん)〕**に仕えた。**

う　11世紀半ば

更級(さらしな)日記　　　　（菅原孝標の女(すがわらのたかすえ むすめ)）

E　随筆(ずいひつ)

枕草子(まくらのそうし)　　　　　　　**（清少納言(せいしょうなごん)）**⇒最古の随筆

☆**清少納言は，一条天皇の中宮（のち皇后）定子(ていし)に仕えた。**

F　百科事典

倭名類聚抄(わみょうるいじゅうしょう)〔倭名抄(わみょうしょう)〕（源順(みなもとのしたごう)）⇒最古の百科事典

〈***Note***〉

⑥貴族の生活

A　社会生活

あ　成人式

10 ～ 15 歳くらいで男子は**元服**(げんぷく)，女子は**裳着**(もぎ)の式をあげて，成人として扱われた。その後，男子は官職を得て宮廷に出仕した。

い　**年中行事**の発達

政治は先例に従って行われるようになり，先例や儀式に精通することが貴族の教養とされたので，日記や儀式書がさかんに著された。

☆上流貴族の日記⇒**御堂関白記（藤原道長）**，**小右記**(しょうゆうき)**（藤原実資**(さねすけ)**）**など

☆儀式書　　　　⇒西宮記(さいきゅうき)（源高明(たかあきら)），江家次第(ごうけしだい)（大江匡房(まさふさ)）など

う　おもな年中行事

睦月(むつき)　（１月）⇒朝賀(ちょうが)，**叙位**(じょい)，**県召除目**(あがためしのじもく)など

弥生(やよい)　（３月）⇒曲水宴(ごくすいのえん)

卯月(うづき)　（４月）⇒灌仏会(かんぶつえ)，**賀茂祭**(かものまつり)**〔葵祭**(あおいまつり)**〕**など

水無月(みなづき)（６月）⇒大祓(おおはらえ)〔水無月祓(みなづきばらえ)〕など

文月(ふみづき)　（７月）⇒七夕(たなばた)，盂蘭盆会(うらぼんえ)，相撲節(すまいのせち)など

葉月(はづき)　（８月）⇒司召除目(つかさめしのじもく)など

師走(しわす)　（12月）⇒追儺(ついな)，大祓(おおはらえ)〔年越祓(としこしばらえ)〕など

え　生活範囲

石山寺(いしやまでら)（近江国）や長谷寺(はせでら)（大和国）などに参詣(さんけい)する他は，ほとんど京(みやこ)を離れることなく一生を終えた。

〈 ***Note*** 〉

B　日常生活

あ　衣

貴族の正装⇒男性は束帯(そくたい)・衣冠(いかん)，女性は女房装束(にょうぼうしょうぞく)〔十二単(じゅうにひとえ)〕。

貴族の常装⇒男性は**直衣(のうし)・狩衣(かりぎぬ)**，女性は小袿(こうちぎ)に袴(はかま)を着用。

庶民・武士⇒**直垂(ひたたれ)・水干(すいかん)・小袖(こそで)**など。

い　食

強飯(こわいい)と乾物(かんぶつ)を中心に，**朝夕の２食**。荘園からの徴収品などで，貴族の食事は多種多様になった。庶民の食事は比較的簡素で，1日３回とることもあった。

う　住

皇族・貴族の多くは左京の寝殿造の屋敷に居住。

☆京(みやこ)の民衆は掘立柱の家屋(かおく)，地方には竪穴住居にも住む者もいた。

え　婚姻

結婚した男性が妻の家に入る**招婿婚(しょうせいこん)**〔**婿入婚(むこいりこん)**・妻問婚(つまどいこん)〕が一般化。

母方の縁(えん)（＝外戚(がいせき)関係）が重視されるが，女性の地位は不安定であった。

お　娯楽(ごらく)

碁(ご)・双六(すごろく)や歌合(うたあわせ)・貝合(かいあわせ)・闘鶏(とうけい)，**蹴鞠(けまり)**，放鷹(ほうよう)など多数の娯楽が存在した。

C　精神生活

あ　**陰陽五行説(いんようごぎょうせつ)**に基づく**陰陽道(おんみょうどう)**の影響で，**迷信(めいしん)**が流行。生活は**具注暦(ぐちゅうれき)**に縛(しば)られ，**物忌(ものいみ)**と称して引き籠(こも)ったり，**方違(かたたがえ)**を行ったりした。

い　現世で栄達富貴(えいたつふうき)が得られない場合の失望や現実逃避により，**浄土信仰が流行。**

〈 ***Note*** 〉

２　院政期の文化〔平安末期の文化〕

①院政期の文化の特色

A　**武士・庶民による地方文化を導入**した，わが国独自の貴族文化。

B　民間芸能が流行するなど，**文化の庶民性が高まる**。

C　寺院に所属しない僧である**聖**（ひじり）**・上人**（しょうにん）**による浄土信仰の布教**と，それを受け入れる**地方武士の台頭**により，**中央の浄土信仰文化が地方に波及**（はきゅう）した。

---

②宗教

院政を行う３上皇〔法皇〕により，寺院（**六勝寺**）の造営や寺社参詣（さんけい）（**高野**（こうや）**詣**（もうで）**・熊野詣**）が流行した。

---

③建築

A　**中尊寺金色堂**（ちゅうそんじこんじきどう）**（陸奥国〔岩手県〕平泉**（ひらいずみ）**）**

☆1124年，**藤原清衡**（きよひら）**が建立**。

☆奥州藤原氏は２代基衡（もとひら）が毛越寺（もうつうじ），３代秀衡（ひでひら）が無量光院（むりょうこういん）を建立。

B　**白水阿弥陀堂**（しらみず）**（陸奥国〔福島県〕）**

☆いわき市の願成寺（がんじょうじ）境内（けいだい）にある。

C　三仏寺投入堂（さんぶつじなげいれどう）（伯耆国（ほうきのくに）〔鳥取県〕）

D　**富貴寺大堂**（ふきじおおどう）　**（豊後国**（ぶんごのくに）**〔大分県〕）**

☆豊後高田市にある九州最古の建築物。

---

④彫刻

A　往生極楽院（おうじょうごくらくいん）阿弥陀如来像（山城国〔京都府〕）

☆京都市大原（おおはら）の三千院（さんぜんいん）本堂にある。

B　臼杵磨崖仏（うすきまがいぶつ）（豊後国〔大分県〕）

☆わが国を代表する石仏群。

〈 ***Note*** 〉

⑤絵画

A　**絵巻物**（大和絵と詞書をおりまぜて時間の進行を表現）

あ　**源氏物語絵巻**（藤原隆能？）

☆引目鉤鼻・吹抜屋台が二大技法。

い　**伴大納言絵巻**（常盤光長？）

☆**応天門の変**で伊豆国に配流された，大納言**伴善男**を描く。

う　**信貴山縁起絵巻**

☆奈良県の朝護孫子寺に伝わる，命蓮という僧の霊験談。

え　**鳥獣戯画　（鳥羽僧正覚猷）**

☆京都府の**高山寺**が所蔵する，詞書のない軽妙で風刺的な絵巻物。動物を擬人化し，躍動的に描く。

お　年中行事絵巻

☆後白河上皇の命で描かれたもの。

B　**装飾経**（大和絵＋法華経などの写経）

あ　**扇面古写経**

☆大阪府の四天王寺と東京国立博物館に分蔵。下絵からは庶民の生活がしのばれる。

い　**平家納経**

☆平清盛が平家一門の氏神とした**厳島神社（安芸国）**に奉納。

〈*Note*〉

⑥文芸

A　説話集

今昔物語集（源隆国？）

☆天竺・震旦・日本〔インド・中国・日本〕の仏教説話や世俗説話1000余りを，和漢混淆文で記す。

B　軍記物語

あ　将門記

☆平将門の乱（939年〜）を漢文で記した，最古の軍記物語。

い　陸奥話記

☆前九年合戦（1051年〜）を，日本的漢文体で記す。

C　歴史物語

あ　栄花〔華〕物語（赤染衛門ら）⇒国風文化期

☆藤原氏全盛期を賞賛的に，編年体で描く。

い　大鏡〔世継物語〕

☆藤原氏全盛期を批判的に，紀伝体で描く。

☆四鏡（大鏡・今鏡・水鏡・増鏡）のはじめ

う　今鏡

☆おもに院政期を描く。

D　仏教史書

扶桑略記（皇円）

☆司馬達等（鞍作鳥の祖父）らによる仏教私伝についての記述で有名。

E　歴史書

本朝世紀（藤原通憲〔信西〕）

☆鳥羽上皇の命により六国史を継ぐ目的で編纂されたが，未定稿に終わる。

〈 ***Note*** 〉

⑦芸能

A　**今様**（民間の流行歌謡）

☆男装の女性が今様を歌いながら舞う，**白拍子**も流行。

☆**後白河上皇**が『**梁塵秘抄**』を編纂。

B　**催馬楽**

☆雅楽の声楽の一種，日本古来の民謡や和歌を唐楽風に編曲。平安初期に成立した古代歌謡から発達。

C　**朗詠**

☆雅楽の声楽の一種，和漢の名句を楽器の伴奏に合わせ吟じた。

D　**田楽**（民間の農作業にともなう労働歌舞）

☆しだいに芸能化し，貴族の間で流行（1096年，永長の大田楽）。

E　**猿楽**（滑稽を主とした雑芸や歌曲）

☆奈良時代に伝来した散楽から発展したとされる。

☆京の猿楽興行の様子などを記した往来物に『新猿楽記』（藤原明衡）がある。

〈 ***Note*** 〉

第４講　文化史確認テスト

1　浄土信仰において，最も信仰の対象となった仏とは？

①大日如来　②阿弥陀如来　③弥勒菩薩　④観音菩薩

2　正法・像法を経て末法に突入すると考えられていた年とは？

①1000年　②1019年　③1028年　④1052年

3　天台宗の源信〔恵心僧都〕が著し，宋でも高い評価を得た書物とは？

①往生要集　②日本往生極楽記　③拾遺往生伝　④愚管抄

4　平安京の左京に多く見られる，皇族・貴族の邸宅に用いられた白木造・檜皮葺の建築様式とは？

①校倉造　②寝殿造　③書院造　④数寄屋造

5　905年，初の勅撰和歌集である古今和歌集の編纂を命じた天皇とは？

①嵯峨天皇　②清和天皇　③宇多天皇　④醍醐天皇

6　在原業平をおもな主人公とする，最古の歌物語とは？

①日本霊異記　②伊勢物語　③宇津保物語　④落窪物語

7　紫式部や和泉式部が仕えた一条天皇の中宮とは？

①宮子　②定子　③彰子　④威子

8　貴族の男性の正装を一つ選べ。

①束帯　②衣冠　③直衣　④狩衣

9　岩手県平泉に中尊寺金色堂を建立した，奥州藤原氏の初代とは？

①清衡　②基衡　③秀衡　④泰衡

10　大分県豊後高田に現存する，九州最古の木造建築物とは？

①浄瑠璃寺九体阿弥陀堂　②白水阿弥陀堂
③三仏寺投入堂　④富貴寺大堂

11　わが国最古の軍記物語とは？

①将門記　②陸奥話記　③平家物語　④太平記

12　『梁塵秘抄』に今様を分類・編纂した人物とは？

①白河上皇　②鳥羽上皇　③後白河上皇　④平清盛

解答

1	②	2	④	3	①	4	②	5	④
6	②	7	③	8	①	9	①	10	④
11	①	12	③						

第５講　鎌倉時代の文化

1　鎌倉文化

①鎌倉文化の特色

A　公家の伝統文化を受け継ぎつつ，武家に支持された**公武二元文化**（こうぶにげん）である。

B　武家への政権の移行を事実として認めざるをえない状況の中，公家社会では**歴史意識の高まり**が見られ，先例・伝統が重視される。

C　武家の時代を反映した，**素朴**（そぼく）**で力強い写実的な側面を持つ文化**。

D　禅宗（ぜんしゅう）や宋学〔朱子学〕など，**中国の宋・元からの影響が強い**。

☆元の成立により，南宋からの渡来者が目立つ。

---

②鎌倉新仏教

A　新仏教成立の背景

あ　戦乱・飢饉（ききん）・天災の頻発による社会不安と，末法（まっぽう）到来の無常（むじょう）観。

い　旧仏教の腐敗（ふはい）と世俗化（せぞくか）に伴う，**武士・庶民の救済要求**。

☆学問・祈禱（きとう）中心から，**本格的な信仰**へと変化。

B　**新仏教の特徴**⇒仏教を武士・庶民に開放＝民衆仏教

あ　**易行**（いぎょう）（旧仏教の求める困難な修行を必要としない）

い　**選択**（せんちゃく）（ただ一つの救いの方法を選ぶ〔念仏・題目・坐禅〕）

う　**専修**（せんじゅ）（選びとった方法にひたすら打ち込む）

〈***Note***〉

C　**浄土宗**（1175年～）

あ　開　　祖　**法然**〔源空〕（美作国出身）

い　特　　色　**浄土信仰系（＝念仏「南無阿弥陀仏」），他力本願**

う　教　　義　**専修念仏**

☆13世紀初め，旧仏教側から迫害され土佐国（讃岐国）に配流（承元の法難）。

え　著 作 物　**『選択本願念仏集』**（九条兼実の求めに応じ著したもの）

『一枚起請文』

お　信　　者　おもに京都周辺の公家・上級武士・庶民

か　中心寺院　**知恩院（京都）**

D　**浄土真宗〔一向宗〕**（1224年～）

あ　開　　祖　**親鸞**（山城国出身）

い　特　　色　**浄土信仰系（＝念仏「南無阿弥陀仏」），他力本願**

う　教　　義　一向専修念仏，絶対他力，自然法爾，一念発起，**悪人正機説**，戒律の否定

☆承元の法難に際し，師の法然に連坐して越後国に配流。

え　著 作 物　**『教行信証』**

☆弟子の**唯円**が**『歎異抄』**を著す。

お　信　　者　はじめ関東，のち北陸・東海・近畿の下級武士・農民

か　中心寺院　**東・西本願寺（京都）**

E　**時宗**（1276年～）

あ　開　　祖　**一遍〔遊行上人・捨聖〕**（伊予国出身）

い　特　　色　**浄土信仰系（＝念仏「南無阿弥陀仏」），他力本願**

う　教　　義　遊行，賦算，**踊念仏**

☆信心・努力の有無に関わりなく，念仏を唱えればすべての人が救われると説く。

え　著 作 物　死の直前に焼却

☆門弟たちが『一遍上人語録』を編集。

お　信　　者　おもに下級武士・農民・都市下層民などで，時衆と呼ばれる。

か　中心寺院　清浄光寺〔遊行寺〕（相模国）

〈 ***Note*** 〉

F　**臨済宗**（1191年〜，宋から導入）

あ　開　祖　**栄西**（備中国出身）

い　特　色　**禅宗系（＝坐禅），自力開悟**

う　教　義　**坐禅，公案**問答〔禅問答〕

え　著作物　**『興禅護国論』**『出家大綱』

『喫茶養生記』（３代将軍源実朝に茶の効用を説く）

お　信　者　おもに京都・鎌倉の公家・上級武士，地方の上級武士

☆鎌倉幕府の保護を受ける。

か　中心寺院　**建仁寺**（京都，２代将軍頼家の援助）

寿福寺（鎌倉，北条政子の援助）

き　**渡来僧**　**蘭溪道隆**

☆宋より来日後，京から**５代執権時頼**が招き，鎌倉に**建長寺を開山。**

無学祖元

☆宋から**８代執権時宗**が招き，鎌倉に**円覚寺を開山。**

G　**曹洞宗**（1227年〜，宋から導入）

あ　開　祖　**道元**（山城国出身）

い　特　色　**禅宗系（＝坐禅），自力開悟**

う　教　義　**只管打坐，**身心脱落

え　著作物　**『正法眼蔵』**

☆弟子の懐奘が**『正法眼蔵随聞記』**を著す。

お　信　者　北陸地方を中心とした地方武士・農民

☆あらゆる権力との癒着を否定，山中にこもる。

か　中心寺院　**永平寺（越前国）**

☆鎌倉後期に瑩山紹瑾が総持寺（能登国，現在は横浜市）を開山。

H　**日蓮宗〔法華宗〕**（1253年〜）

あ　開　祖　**日蓮**（安房国出身）

い　特　色　法華系（＝題目「南無妙法蓮華経」）

う　教　義　唱題，折伏，**法華経至上主義**に基づく他宗批判および政治批判

☆四箇格言「念仏無間，禅天魔，真言亡国，律国賊」。

え　著作物　**『立正安国論』（北条時頼に提出，**政治批判の罪で伊豆に配流）

『開目鈔』『観心本尊鈔』（ともに佐渡配流後に執筆）

〈 ***Note*** 〉

お　信　　者　おもに鎌倉・京都の下級武士・商工業者

か　中心寺院　**久遠寺（甲斐国）**

---

③その他宗教

A　**旧仏教の革新**⇒新仏教の興隆による刺激・反省

新仏教を批判，**戒律の尊重**を唱え社会事業も実施。

あ　**法相宗**

貞慶〔解脱〕

☆山城国笠置寺を中興，『興福寺奏状』を著し法然の専修念仏を攻撃。

い　**華厳宗**

高弁〔明恵〕

☆京都栂尾に**高山寺**を開山，『摧邪輪』を著し法然の専修念仏を攻撃。

う　**律宗**

俊芿

☆渡宋から帰国後，京都に泉涌寺を開山。天台・真言・禅・律が兼学できる道場とする。

叡尊〔思円〕

☆奈良の西大寺を再興，自伝『感身学生記』を著す。

☆蒙古襲来に際し異国調伏の祈禱を行い，“興正菩薩”と呼ばれる。

忍性〔良観〕

☆奈良に**北山十八間戸**を建て，らい病〔ハンセン病〕患者を救済。

☆のち鎌倉の極楽寺に入り，慈善事業につとめた。

B　**修験道**の隆盛

原始的山岳信仰と仏教の密教的信仰が融合した宗教。天台宗・真言宗の下に組織され発展した。

C　**伊勢神道**

伊勢神宮外宮の神官**度会家行**が**反本地垂迹説〔神本仏迹説〕**を唱え，『神道五部書』を体系化。新たに『**類聚神祇本源**』を著す。

☆本地垂迹説を唱える山王一実神道（天台系），両部神道（真言系）と対立。

〈 ***Note*** 〉

④建築

A　和様（わよう）　（日本的な柔（やわ）らかな美しさ，平安時代以来の伝統的様式）

蓮華王院（れんげおういん）本堂〔三十三間堂（さんじゅうさんげんどう）〕（京都），石山寺多宝塔（たほうとう）（近江国）

B　大仏様（だいぶつよう）　（大陸的な雄大さ・力強さ，南宋の様式を改良）

東大寺南大門（なんだいもん）（奈良）

☆３度に渡り入宋した東大寺再建の勧進上人重源（かんじんしょうにんちょうげん）〔俊乗坊（しゅんじょうぼう）〕が，宋人陳和卿（ちんなけい）の協力を得て再建。

浄土寺浄土堂（播磨国）

C　禅宗様（ぜんしゅうよう）〔唐様（からよう）〕（細かな部材の組み合わせによる整然とした美，宋から伝来）

円覚寺舎利殿（しゃりでん）（鎌倉）

D　折衷様（せっちゅうよう）　（和様に大仏様・禅宗様を取り入れる）

観心寺（かんしんじ）金堂　（河内国）

E　その他

武士の邸宅として，寝殿造を簡素化した館（やかた）が誕生。

---

⑤彫刻（力強い写実性と躍動感（やくどうかん）に富む）

鎌倉初期の南都復興に際し，康慶（こうけい）を祖とする慶派の奈良〔南都〕仏師たちが活躍。

A　仏像彫刻

あ　東大寺南大門金剛力士（こんごうりきし）像〔阿形（あぎょう）像・吽形（うんぎょう）像〕（運慶・快慶ら）

い　東大寺僧形八幡神（そうぎょうはちまんしん）像　（快慶）

う　蓮華王院本堂千手（せんじゅ）観音坐（ざ）像　（湛慶（たんけい））

え　興福寺金剛力士像　（定慶（じょうけい）？）

お　興福寺天灯鬼（てんとうき）・竜灯鬼（りゅうとうき）像　（康弁（こうべん）ら）

か　高徳院（こうとくいん）阿弥陀如来像〔鎌倉大仏〕

B　肖像彫刻

あ　興福寺無著（むちゃく）・世親（せしん）像　（運慶ら）

い　六波羅蜜寺（ろくはらみつじ）空也上人（くうやしょうにん）像　（康勝（こうしょう））⇒京都

う　六波羅蜜寺平清盛像

え　東大寺重源上人（しょうにん）像

お　明月院（めいげついん）上杉重房（しげふさ）像⇒鎌倉

〈 ***Note*** 〉

⑥**絵画**（写実性に富む）

A　絵巻物⇒民衆の教化にも利用

あ　合戦物（かっせんもの）

『後三年合戦絵巻』，『平治物語絵巻』，**『蒙古（もうこ）襲来絵巻』**（肥後国の御家人**竹崎季長（たけざきすえなが）**が描かせる），**『男衾（おぶすま）三郎絵巻』**（東国の地方武士の生活を描く）

い　縁起物

『粉河寺（こかわでら）縁起絵巻』，**『北野天神縁起絵巻』**（菅原道真の伝記），**『石山寺縁起絵巻』**，**『春日権現験記（かすがごんげんげんき）』**（高階隆兼（たかしなたかかね）が描く）

う　伝記物

『法然上人（しょうにん）絵伝』，**『一遍上人絵伝』**（円伊が描く），『西行物語絵巻』，『鑑真和上（わじょう）東征絵伝』

B　肖像画⇒個性に対する関心の高まり

あ　**似絵（にせえ）**（個人の記録的肖像画（しょうぞうが））

『伝源頼朝像』『伝平重盛像』？（ともに神護寺（じんごじ）が所蔵，**藤原隆信**）

『後鳥羽上皇像』　（水無瀬（みなせ）神宮〔摂津国〕が所蔵，**藤原信実（のぶざね）**）

い　肖像画

『親鸞聖人（しょうにん）像〔鏡の御影（ごえい）〕』　（西本願寺が所蔵，専阿弥（せんあみ））

『明恵（みょうえ）上人樹上（じゅじょう）坐禅図』　（高山寺が所蔵，成忍（じょうにん））

う　**頂相（ちんぞう）**（禅僧の肖像画）

C　その他

地獄草紙，餓鬼（がき）草紙，病（やまいのそうし）草紙，天狗（てんぐ）草紙など

〈 ***Note*** 〉

⑦書道

伏見天皇の皇子**尊円入道親王**〔**尊円法親王**〕が，和様に宋・元の書風を加味した**青蓮院流**を創始，江戸時代に御家流に発展。代表作『**鷹巣帖**』。

---

⑧工芸

A　武器・武具

あ　**刀剣**

粟田口吉光〔藤四郎吉光〕（京都），**岡崎正宗**（鎌倉），**長船長光**（備前国），郷義弘（越中国）など

い　**甲冑**

明珍（京都）

B　**陶器**

道元に従い入宋した**加藤景正**〔藤四郎〕が**瀬戸焼**（**尾張国**）を創始？

☆その他に常滑焼（尾張国），信楽焼（近江国），備前焼（備前国）などが隆盛。

〈 ***Note*** 〉

⑨文芸

A　和歌集

あ　**新古今和歌集（1205年，後鳥羽上皇）**

1980首を20巻に収める**勅撰和歌集**で，**八代集**の最後。体言止め・本歌取りなどの技巧的な表現，観念的な美の境地は**新古今調**とされる。**藤原定家・藤原家隆**らが編纂。

い　**山家集　　　（西行）**

う　**金槐和歌集　（源実朝，万葉調の作風）**

え　小倉百人一首（藤原定家）

☆定家は歌論『近代秀歌』も著す。

B　説話集

あ　発心集　　　（鴨長明）

い　**宇治拾遺物語**⇒『今昔物語集』の補完

う　十訓抄

え　**古今著聞集**（橘成季）

お　**沙石集　　　（無住〔無住一円〕，仏教説話集）**

C　**随筆**

あ　**方丈記　　　（鴨長明）**

☆鎌倉初期の作，鴨長明は歌論『無名抄』も著す。

い　**徒然草　　　（卜部兼好〔兼好法師・吉田兼好？〕）**

☆鎌倉末期～南北朝期の作。

D　紀行文⇒幕府開設に伴う京・鎌倉間の往来

あ　海道記

い　東関紀行　　（源親行？）

う　**十六夜日記（阿仏尼）**

☆実子と継子の所領裁判のため，京から鎌倉へ赴く旅日記。

E　日記

あ　**玉葉　（九条兼実）**

い　明月記（藤原定家）

〈***Note***〉

F　**軍記物語⇒**和漢混淆文の隆盛

あ　保元物語

い　平治物語

う　**平家物語**（信濃前司行長？）

☆**琵琶法師**たちにより，**平曲**として語られる。

え　源平盛衰記

☆平家物語の異本。

---

⑩歴史

A　**水鏡**　（中山忠親？）

B　**愚管抄**（**慈円**⇒関白九条兼実の弟，前天台座主）

☆**末法思想**が全編を貫く**最古の史論書**。歴史を「**道理**」の展開ととらえ，**後鳥羽上皇の討幕計画への警告とした**。

C　百錬抄

☆後冷泉～後深草天皇を編年体で記す歴史書。

D　**吾妻鏡**〔東鑑〕

☆**鎌倉幕府の公式記録**を漢文**日記体**で編年体に記す。執権北条氏の立場を擁護する傾向が著しい。

E　**元亨釈書**（**虎関師錬**）

☆元から渡来した一山一寧の弟子が著した，**わが国初の仏教史書**。

〈 ***Note*** 〉

⑪学問・思想

A　古典研究

あ　**万葉集註釈**〔仙覚抄〕**(仙覚)**

い　**釈日本紀**　　　　　**(卜部兼方)**

☆わが国初の『日本書紀』注釈書。

B　**有職故実**⇒朝廷の儀式・年中行事・先例を研究

あ　世俗浅深秘抄（後鳥羽天皇）

い　**禁秘抄**　　　**(順徳天皇)**

C　**図書館**

金沢文庫　　　**(北条〔金沢〕実時)**

☆武蔵国称名寺境内にある，**初の武家による私設図書館**。

D　**宋学〔朱子学〕**の伝来

南宋の**朱熹**が始めたもの。君臣の別を説く**大義名分論**は，後醍醐天皇の討幕運動の理論的支柱となった。

〈 ***Note*** 〉

第５講　文化史確認テスト

1　浄土宗の開祖法然〔源空〕が，九条兼実の求めに応じて著した書とは？

①選択本願念仏集　②興禅護国論　③教行信証　④正法眼蔵

2　悪人正機説を唱えた親鸞の死後，『歎異抄』を著した弟子とは？

①信西　②貞慶〔解脱〕　③唯円　④懐奘

3　臨済宗で用いられる，自力開悟のための禅問答とは？

①念仏　②題目　③公案　④戒律

4　蘭溪道隆を招き，鎌倉に建長寺を開山させた人物とは？

①北条政子　②北条時頼　③北条時宗　④北条貞時

5　忍性〔良観〕により奈良に建てられた，らい病患者の救済施設とは？

①布施屋　②悲田院　③問民苦使　④北山十八間戸

6　『類聚神祇本源』を著して伊勢神道を確立した，外宮の神官とは？

①度会家行　②吉田兼倶　③山崎闇斎　④平田篤胤

7　折衷様〔新和様〕の建築物を一つ選べ。

①蓮華王院本堂〔三十三間堂〕　②東大寺南大門
③円覚寺舎利殿　④観心寺金堂

8　奈良仏師“慶派”の創始者は誰か？

①康慶　②運慶　③快慶　④湛慶

9　『蒙古襲来絵巻』を描かせた，肥後国の御家人とは？

①上杉重房　②男衾三郎　③安達泰盛　④竹崎季長

10　師から弟子に授けられる禅僧の肖像画を何というか？

①装飾経　②似絵　③頂相　④濃絵

11　青蓮院流を創始した尊円入道親王の代表作とは？

①『風信帖』　②『秋萩帖』　③『離洛帖』　④『鷹巣帖』

12　入宋した加藤景正が尾張国で創始したとされる焼物とは？

①瀬戸焼　②常滑焼　③信楽焼　④備前焼

13　歌人である西行の私家集とは？

①詞花集　②金槐和歌集　③山家集　④新葉和歌集

14　関白九条兼実の日記とは？

①蜻蛉日記　②玉葉　③明月記　④十六夜日記

15　初の仏教史書『元亨釈書』を著した僧とは？

①西行　②慈円　③仙覚　④虎関師錬

解答

1	①	2	③	3	③	4	②	5	④
6	①	7	④	8	①	9	④	10	③
11	④	12	①	13	③	14	②	15	④

第６講　室町時代の文化

1　室町文化

①室町文化の特色

A　**公家文化と武家文化の融合**(ゆうごう)が見られる。

B　日明貿易など東アジアとの活発な交流に伴い，大陸文化と日本の文化の融合が見られる。

☆武家に広がった中国の禅宗文化の影響を強く受ける。

C　各種産業の発達に伴(ともな)い，**庶民文化のめざましい隆盛**(りゅうせい)が見られる。

☆とくに連歌・能・狂言・茶道・華道・香道・盆踊りなど**集団性**に特色がある。

D　**応仁の乱後**は，**文化の地方普及**が急速に進展する。

E　**今日**(こんにち)**の日本の伝統的文化・民族文化の基盤が形成される。**

☆公家・武家・庶民，中央・地方を問わず広まったため。

☆芸術性が生活文化に浸透(しんとう)。

---

②室町時代の宗教

A　**臨済宗**(りんざいしゅう)

幕府の保護の下で発展，幕府衰退とともに没落。

あ　**初代将軍足利尊氏・直義**(ただよし)

夢窓疎石(むそうそせき)に帰依(きえ)。京都に天竜寺，全国に安国寺(あんこくじ)・利生塔(りしょうとう)を造営。

い　**３代将軍足利義満**

南宋の官寺の制に倣(なら)い，**五山**(ござん)・**十刹**(じっさつ)を制度化しその下に諸山(しょざん)を置く。また，僧侶(そうりょ)を取り締まる**僧録司**(そうろくし)を相国寺(しょうこくじ)に設置，初代僧録(そうろく)には**春屋妙葩**(しゅんおくみょうは)が就任した。

う　**京都五山⇒南禅寺**を両五山の**別格**上位とする

天竜寺（１位），相国寺(しょうこくじ)**（２位），建仁寺**(けんにんじ)**（３位），東福寺（４位），万寿寺**(まんじゅじ)**（５位）**

え　**鎌倉五山**

建長寺（１位），円覚寺（２位），寿福寺(じゅふくじ)**（３位），浄智寺**(じょうちじ)**（４位），浄妙寺**(じょうみょうじ)**（５位）**

〈 ***Note*** 〉

お　**五山文学**

漢詩文の創作・朱子学の研究などで，禅の経典などと合わせ**五山版**として出版された。

☆五山僧の中には，幕府の政治・外交へ参与したり，水墨画制作などの文化活動に携わる者も多数あった。

か　**林下**

より自由な活動を求め，盛んに民間布教を行った禅宗の在野的諸派。

☆大徳寺の**一休宗純**，妙心寺など。

B　曹洞宗

永平寺（越前国），総持寺（能登国）を中心に，林下として発展。

C　浄土宗

朝廷と結び京都で勢力を拡大後，東国へ進出。

D　**浄土真宗〔一向宗〕**

本願寺派が勢力を拡大し，北陸・東海・畿内に浸透。とくに応仁の乱後，**本願寺8世蓮如**〔兼寿〕が**越前国吉崎**を拠点に布教，**門徒**集団が地域ごとに結束し強大化，各地で**一向一揆**が発生した（加賀・越前・伊勢長島・三河など）。

E　時宗

芸能・文芸面で活躍する将軍側近の**同朋衆**を輩出した（あくまでも体裁のみ）。

☆**観阿弥・世阿弥（猿楽能）**，善阿弥（作庭），能阿弥（水墨画・連歌），立阿弥（立花）など。

F　日蓮宗〔法華宗〕

戦闘的な布教により東国から西日本各地へ勢力を拡大。15世紀半ば，**日親**は**6代将軍義教**に**『立正治国論』を提出**，焼き鍋冠りの拷問にあうが京都の町衆への布教に成功，のち**法華一揆**が結ばれることとなった。

G　民間信仰

地蔵・観音・七福神信仰などが，各地で隆盛。

H　**唯一神道**〔吉田神道〕

伊勢神道〔度会神道〕の影響を受けた，京都吉田神社の**吉田兼倶**が創始。**反本地垂迹説**に基づき，神道を中心に儒教・仏教・道教を取り入れた。

〈 ***Note*** 〉

③南北朝文化

A　建築

あ　**安国寺・利生塔**

元弘の変（1331年）以降の戦乱で戦死した者の冥福を祈るため，**夢窓疎石の勧め**により**初代将軍足利尊氏・直義兄弟が全国に建立**した。

い　永保寺開山堂（美濃国）

岐阜県多治見市にある，禅宗様〔唐様〕の遺構。

B　絵画

あ　**水墨画**⇒禅の精神的境地を，墨一色の濃淡で具体化。

布袋図（黙庵）

寒山図（可翁）

い　絵巻物

慕帰絵詞⇒本願寺３世覚如の一代を描く

C　庭園

あ　**天竜寺庭園　　　　（夢窓疎石）**

い　**西芳寺〔苔寺〕庭園（　　〃　　）**

D　文芸

あ　和歌

新葉和歌集（宗良親王）⇒南朝の貴族たちの和歌を集め，勅撰に準ぜられる。

李花集　　（　　〃　　）⇒宗良親王の私家集

い　**連歌**

菟玖波集　（二条良基）⇒最古の連歌集。勅撰に準ぜられ，連歌が和歌と対等の地位を築く。

☆二条良基は，北朝の摂政・関白・太政大臣。

応安新式　（　　〃　　）⇒連歌の規則書

う　**軍記物語**

太平記　　（小島法師？）⇒**南北朝の動乱を，南朝の立場から記述。**

☆太平記読み（のちの講釈師）によって普及した。

曽我物語　　　　　　⇒曽我兄弟による仇討ち物語

〈 ***Note*** 〉

え　**五山文学**⇒漢詩文集
　　中正子　（中巌円月）
　　空華集　（**義堂周信**）⇒義堂周信の日記は『空華日用工夫略集』
　　蕉堅稿　（**絶海中津**）

E　歴史⇒南北朝の動乱という転換期を反映し，歴史意識の高まりが見られる

あ　**神皇正統記**　（**北畠親房**）⇒**神国思想の立場（伊勢神道の影響）**から，大義名分論に基づき記述（1339年，常陸国小田城で完成）。**南朝の正統性を主張し，後村上天皇に献上**される。

い　**梅松論**　⇒足利幕府の成立過程を，**北朝の立場から**比較的史実に忠実に記述した戦史。

う　**増鏡**　⇒**公家の立場から**鎌倉時代を記述した歴史物語。**四鏡の最後。**

F　学問

あ　古典研究
　　河海抄　（四辻善成）⇒源氏物語の注釈書

い　**有職故実**
　　建武年中行事（後醍醐天皇）
　　職原抄　（**北畠親房**）

う　武家子弟・庶民の学問
　　正平版論語　（道祐）　⇒わが国初の論語の印刷本
　　庭訓往来　（玄恵？）　⇒**往来物**の代表

G　**茶寄合**
公武を問わず，各地で賭け事として**闘茶**が流行。

H　風俗
動乱で台頭した新興武士たちにより，伝統的権威を否定する“**バサラ〔婆娑羅〕**”の風潮が高揚。

〈 ***Note*** 〉

④北山文化

A　建築

あ　**鹿苑寺金閣（３代将軍義満）**⇒1950年放火により焼失，55年に再建。

い　興福寺五重塔・東金堂

B　庭園

あ　鹿苑寺庭園

C　絵画⇒**水墨画**の発達

あ　五百羅漢図（**明兆**〔兆殿司〕）　⇒東福寺の画僧

い　妙心寺退蔵院**瓢鮎図（如拙）**　⇒相国寺の画僧

う　**寒山拾得図（周文）**　⇒相国寺の画僧，幕府御用絵師

D　文芸

あ　五山僧の活躍

善隣国宝記（瑞溪周鳳）　⇒外交記録

い　軍記物語

難太平記　（今川了俊〔貞世〕）⇒足利尊氏挙兵以来の今川氏の歴史を記述。

義経記　⇒源義経の幼少期と末期の不遇時代を同情的に描き，民衆的義経伝説の源泉となる。

E　芸能

あ　**能〔能楽〕**⇒散楽・猿楽・田楽から**猿楽能**が発達，それがさらに発展したもの。興福寺・春日社を本所とする**大和（猿楽）四座（結崎座〔のち観世座〕・宝生座・金剛座・金春座）**が結成され，観世座から**観阿弥**清次・**世阿弥**元清父子が出て，**３代将軍義満の保護を受け能を大成**した。のち，世阿弥の娘婿の金春禅竹が後継者として活躍した。

☆主要著書として，『**風姿花伝〔花伝書〕**』『**花鏡**』（世阿弥），『**申楽談儀**』（世阿弥の談話を子の元能が筆録），その他多数の**謡曲**（＝能の脚本）がある。

い　**狂言**

能の合間に演じられる，風刺性の強い庶民喜劇。大名・僧侶・山伏など権威あるものを笑いの対象としたので，しばしば弾圧の対象となった。

〈 ***Note*** 〉

⑤東山文化

A　建築⇒書院造（しょいんづくり）の登場（今日（こんにち）の日本住宅建築の原型）

あ　慈照寺（じしょうじ）銀閣（８代将軍義政）⇒一層目は書院造

い　慈照寺東求堂同仁斎（とうぐどうどうじんさい）　⇒書院造

☆四畳半の間取りに，明障子（あかりしょうじ）・付書院（つけしょいん）・床（とこ）の間・違い棚（だな）などを設置。

B　庭園

あ　慈照寺庭園（善阿弥＝山水河原者（せんずいかわらもの）の代表的人物）

い　竜安寺石庭（りょうあんじせきてい）　⇒枯山水（かれさんすい）

☆水を用いず砂と石で，自然を極度に圧縮して表現。

う　大徳寺大仙院（だいせんいん）庭園⇒枯山水

C　絵画⇒水墨画と大和絵の発展

あ　水墨画

四季山水図巻〔山水長巻〕（雪舟等楊（せっしゅうとうよう））

秋冬山水図（しゅうとうさんすいず）　（　〃　）

天橋立図（あまのはしだてず）　（　〃　）

い　土佐派⇒朝廷絵所預（ちょうていえどころあずかり）・幕府御用絵師となり，大和絵を発展させる。

清水寺（きよみずでら）縁起絵巻　（土佐光信（みつのぶ））

う　狩野（かのう）派⇒小栗宗湛（おぐりそうたん）のあとをうけ，幕府御用絵師となる。

周茂叔愛蓮図（しゅうもしゅくあいれんず）　（狩野正信（まさのぶ））

大仙院花鳥図（だいせんいんかちょうず）　（狩野元信（もとのぶ））

D　工芸

あ　金工（きんこう）

後藤祐乗（ゆうじょう）が８代将軍義政に仕（つか）える。

い　漆工（しっこう）

高蒔絵（たかまきえ）の技法が登場

う　彫刻

能面の製作⇒小面（こおもて）〔若い女性〕・翁（おきな）〔老人〕・般若（はんにゃ）〔霊（れい）〕など

〈 ***Note*** 〉

E　文芸

あ　古今伝授（こきんでんじゅ）⇒古今和歌集の秘事（ひじ）・口伝（くでん）

東常縁（とうのつねより）→（飯尾（いいお））宗祇（そうぎ）→→三条西実隆（さねたか）→細川幽斎（ゆうさい）（御所（ごしょ）伝授）

↓

→牡丹花肖柏（ぼたんかしょうはく）（堺（さかい）伝授）→饅頭屋宗二（まんじゅうやそうじ）（奈良伝授）

い　連歌⇒宗祇が正風（しょうふう）連歌を確立

新撰菟玖波集（しんせんつくばしゅう）（宗祇）⇒勅撰に準じられる

水無瀬三吟百韻（みなせさんぎんひゃくいん）（宗祇・牡丹花肖柏・柴屋軒宗長（さいおくけんそうちょう））

F　御伽草子（おとぎぞうし）⇒庶民層を対象とする通俗的（つうぞくてき）短編小説

酒呑童子（しゅてんどうじ），文正草子（ぶんしょうぞうし），福富草子（ふくとみぞうし），鼠草子（ねずみのそうし），物くさ太郎，一寸法師（いっすんぼうし），浦島太郎（うらしまたろう），さるかに合戦など。

G　学問・思想

あ　一条兼良（いちじょうかねよし）（関白・太政大臣）の活躍

『公事根源（くじこんげん）』『江次第抄（ごうしだいしょう）』⇒有職故実（ゆうそくこじつ）

『日本書紀纂疏（さんそ）』⇒日本書紀の研究

『花鳥余情（かちょうよせい）』⇒源氏物語の注釈書

『樵談治要（しょうだんちよう）』⇒日野富子の求めによる９代将軍義尚（よしひさ）への政治提言

『尺素往来（せきそおうらい）』⇒往来物

い　足利学校（下野国）

関東管領上杉憲実（のりざね）が再興した漢学・軍学研究のための学校。戦国時代には全国から学生が集まり，宣教師フランシスコ＝ザビエルにより“坂東（ばんどう）の大学”として西洋に紹介された。

う　武家子弟・庶民の学問

伊呂波歌（いろはうた），童子教（どうじきょう），実語教（じつごきょう），庭訓往来（ていきんおうらい），御成敗式目などが教科書として使用された。

〈***Note***〉

H　**茶道（さどう）・花道（かどう）〔華道〕・香道（こうどう）**

あ　**茶道〔茶の湯〕**⇒茶と禅の精神の統一により**侘（わ）び茶**が創始される。
一休宗純に参禅した**奈良**の**村田珠光（じゅこう）→堺**の**武野紹鷗（たけのじょうおう）→堺**の**千利休（せんのりきゅう）〔宗易（そうえき）〕**と大成される。

い　**花道〔華道〕**　⇒立花（たてはな）から生花（いけばな）へ
池坊専慶（いけのぼうせんけい）→専応**→**専好（せんこう）と大成される。

う　香道
香木（こうぼく）を焚（た）き，様々な香りを創出・判定することなどによる芸道。

I　芸能

あ　**小歌（こうた）**　⇒**『閑吟集（かんぎんしゅう）』**の編纂

い　**古浄瑠璃（こじょうるり）**　⇒現在は音曲を失ったもの

う　幸若舞（こうわかまい）　⇒桃井直詮（もものいただあき）が創始した曲舞（くせまい）の一種

え　**盆踊り（ぼんおどり）**　⇒**風流（ふりゅう）**踊り＋念仏踊り

お　猿まわし・獅子舞（ししまい）

か　**祇園祭（ぎおんまつり）**　⇒**京都の町衆（ちょうしゅう）により再興（さいこう）**（1500年）

J　風俗

木綿（もめん）の普及，姫飯（ひめいい）を食す習慣，味噌（みそ）・醤油（しょうゆ）の使用，精進（しょうじん）料理・懐石（かいせき）料理・豆腐（とうふ）・納豆（なっとう）・蒲鉾（かまぼこ）・素麺（そうめん）・饅頭（まんじゅう）・団子（だんご）などが登場。

☆武家・庶民ともに**小袖（こそで）**を着用。男性は月代（さかやき）を剃（そ）るようになり，女性は垂髪（すいはつ）であった。

〈 ***Note*** 〉

⑥戦国時代の文化

A　文化の地方普及

城下町の形成，**公家・僧侶の地方疎開**，**連歌師**（れんがし）の地方遍歴などによる。

☆典型例＝大内氏の城下町周防（すおう）国**山口**（西の京（きょう）・小京都），**大内版**。

B　文芸

あ　連歌

『**犬筑波集**（いぬつくばしゅう）』を編纂した**山崎宗鑑**（やまざきそうかん）や荒木田守武（あらきだもりたけ）らにより，滑稽（こっけい）や機知（きち）を基調とする**俳諧連歌**が確立される。

☆連歌師により諸国の各階層へ連歌が普及，公家の堂上（とうしょう）連歌に対し地下（じげ）連歌と呼ばれた。

い　五山文学

梅花無尽蔵（ばいかむじんぞう）（万里集九（ばんりしゅうく））

C　学問・思想

あ　**宋学〔朱子学〕**

薩南学派（さつなん）　**（桂庵玄樹（けいあんげんじゅ））**⇒肥後の菊池（きくち）氏・薩摩の島津氏に招かれた臨済僧。薩摩で『大学章句（しょうく）』を刊行。

海南学派〔南学派〕（かいなん）**（南村梅軒（みなみむらばいけん））**⇒土佐の吉良（きら）氏に招かれた武士？

い　医書

医書大全　（阿佐井野宗瑞（あさいのそうずい））⇒わが国初の医学書，中国の医学書を翻訳して刊行。

う　辞書

節用集（せつようしゅう）　（饅頭屋宗二（まんじゅうやそうじ）〔林（りん）宗二〕ら）⇒国語辞書

〈***Note***〉

第６講　文化史確認テスト

1　足利尊氏・直義兄弟に天竜寺（京都）や安国寺・利生塔（各国）の造立を勧めた臨済僧とは？

①無学祖元　②夢窓疎石　③春屋妙葩　④義堂周信

2　連歌の規則書『応安新式』を著した五摂家の人物とは？

①九条兼実　②九条道家　③二条良基　④一条兼良

3　神国思想の影響を受け南朝の正統性を主張する『神皇正統記』の著者とは？

①後醍醐天皇　②宗良親王　③北畠親房　④楠木正成

4　公家の立場から鎌倉時代を描く，“四鏡”の最後とは？

①大鏡　②今鏡　③水鏡　④増鏡

5　臨済宗の公案を描いた水墨画『瓢鮎図』の作者は？

①明兆〔兆殿司〕　②如拙　③周文　④雪舟

6　世阿弥に関係のないものを一つ選べ。

①風姿花伝　②花鏡　③申楽談儀　④閑吟集

7　雪舟の描いた水墨画でないものを一つ選べ。

①寒山捨得図　②四季山水図巻〔山水長巻〕
③秋冬山水図　④天橋立図

8　『周茂叔愛蓮図』を描き，幕府御用絵師となった狩野派の祖とは？

①狩野正信　②狩野元信　③狩野永徳　④狩野探幽

9　８代将軍足利義政に仕えた金工とは？

①後藤祐乗　②後藤徳乗　③後藤四郎兵衛　④後藤庄三郎

10　御伽草子でないものを一つ選べ。

①酒呑童子　②物くさ太郎　③一寸法師　④花鳥余情

11　関東管領上杉憲実が再興し，のちザビエルにより“坂東の大学”と西洋にも紹介された学校とは？

①足利学校　②閑谷学校　③明倫館　④懐徳堂

12　侘び茶を創始した奈良の人物とは？

①一休宗純　②村田珠光　③武野紹鷗　④千利休

13　『大学章句』を刊行し，薩南学派の祖となった五山僧とは？

①瑞溪周鳳　②絶海中津　③桂庵玄樹　④万里集九

解答

1	②	2	③	3	③	4	④	5	②
6	④	7	①	8	①	9	①	10	④
11	①	12	②	13	③				

第７講　安土桃山時代の文化・江戸時代の文化①

1　桃山文化

①桃山文化の特色

A　新興大名や豪商の気風(きふう)・経済力を受けた，豪華絢爛(ごうかけんらん)・雄大(ゆうだい)な文化。

B　仏教色が薄れた，現実的・世俗(せぞく)的な文化。

C　南蛮文化の受容と伝統文化の復興とが，辛(かろ)うじて均衡(きんこう)を保(たも)つ多彩(たさい)な文化。

---

②建築

A　城郭建築(じょうかくけんちく)

織田信長の安土城（近江国），豊臣秀吉の大坂城（摂津国）・伏見城・聚楽第(じゅらくてい)（山城国）などは，すべて現存せず。

☆従来の山城(やまじろ)から，平山城(ひらやまじろ)・平城(ひらじろ)へと変化し，軍事拠点から政治・経済拠点へと変化。城の内部には書院造を取り入れた居館が設けられた。

あ　姫路城(ひめじ)〔白鷺城(しらさぎ)〕　（播磨国）⇒法隆寺地域の仏教建造物とともに，わが国初の世界文化遺産登録。

い　犬山城(いぬやま)　（尾張国）⇒現存最古級の天守閣

う　松本城　（信濃国）

え　二条城二の丸御殿(ごてん)　（京都）

お　大徳寺唐門(からもん)　（京都，聚楽第遺構？）

か　西本願寺飛雲閣(ひうんかく)　（京都，聚楽第遺構？）

き　都久夫須麻(つくぶすま)神社本殿（近江国，伏見城遺構）

く　西本願寺唐門　（京都）

B　書院造

あ　西本願寺書院〔鴻(こう)の間(ま)〕（京都）

い　醍醐寺三宝院表書院(だいごじさんぼういんおもて)　（京都）

C　茶室

あ　妙喜庵(みょうきあん)茶室〔待庵(たいあん)〕（山城国，千利休(せんのりきゅう)？）

い　如庵(じょあん)　（現在は尾張国，織田有楽斎(うらくさい)）

〈 ***Note*** 〉

③庭園

醍醐寺三宝院庭園（京都）⇒豊臣秀吉が設計

---

④絵画⇒障壁画（しょうへきが）（襖（ふすま）・障子（しょうじ）・壁（かべ）・屏風（びょうぶ）に濃絵（だみえ）や水墨画で描かれる）

A　花鳥図（かちょう）

あ　**唐獅子図屏風（からじし）（狩野永徳（えいとく））**

い　檜図屏風（ひのき）　（　〃　）

う　**松鷹図（しょうよう）　（狩野山楽（さんらく））**　⇒水墨画

え　牡丹図（ぼたん）　（　〃　）

お　**智積院襖絵（ちしゃくいんふすまえ）　（長谷川等伯（とうはく）ら）**

か　**松林図屏風（しょうりん）　（長谷川等伯）**⇒水墨画

き　**山水図屏風（さんすい）　（海北友松（かいほうゆうしょう））**　⇒水墨画

B　**風俗画（ふうぞく）**

あ　**洛中洛外図屏風（狩野永徳）**

い　**花下遊楽図屏風（かかゆうらく）**（狩野長信（ながのぶ））

う　**高雄観楓図屏風（たかおかんぷう）**（狩野秀頼）

え　職人尽（づくし）図屏風　（狩野吉信（よしのぶ））

お　豊国祭礼（ほうこくさいれい）図屏風（狩野内膳（ないぜん））

---

⑤彫刻・工芸

A　透（すか）し彫（ぼり）の**欄間（らんま）彫刻**が隆盛

☆西本願寺浪（なみ）の間（ま）欄間（京都）など。仏像彫刻は衰える。

B　建築装飾（そうしょく）や家具調度品（ちょうどひん）などにも蒔絵（まきえ）を使用

☆**高台寺（こうだいじ）蒔絵（京都）**など。

C　茶道の大成による需要増大や，朝鮮出兵による技術者の来日により，焼物が隆盛。

☆**お国焼（くにやき）⇒有田焼〔伊万里焼（いまり）〕（肥前藩），薩摩焼（薩摩藩），萩焼（はぎ）（長州藩），**高取焼（たかとり）（福岡藩），平戸焼（平戸藩）などが江戸時代にかけて登場。

☆その他⇒**楽焼（らく）（京都）**，志野（しの）焼（美濃国），織部（おりべ）焼（尾張･美濃国）など。

〈***Note***〉

⑥文芸

慶長版本〔慶長勅版〕（後陽成天皇）⇒木活字(もくかつじ)

☆朝鮮侵略時に**活字印刷術**（木活字・銅活字）が伝来，古活字本(こかつじぼん)のはしりとなる。

---

⑦芸能

A　**阿国歌舞伎**(おくにかぶき)

出雲阿国(いずものおくに)が**かぶき踊り**を開始。

☆のち女(おんな)歌舞伎（禁止）⇒若衆(わかしゅ)歌舞伎（禁止）⇒野郎(やろう)歌舞伎へと発展。

B　**人形浄瑠璃**(にんぎょうじょうるり)

琉球から蛇皮線(じゃびせん)が伝来し，日本特有の**三味線**(しゃみせん)となる。

☆三味線を伴奏(ばんそう)に取り入れ，**浄瑠璃節**(ぶし)に**人形操り**(あやつ)が合体したものをいう。

C　**隆達節**(りゅうたつぶし)〔隆達小歌(こうた)〕

☆堺の商人**高三隆達**(たかさぶりゅうたつ)が節付(ふしづ)けした小歌。

D　盆踊り・辻能(つじのう)の流行

E　囲碁(いご)・将棋(しょうぎ)

☆本因坊算砂(ほんいんぼうさんさ)・大橋宗桂(おおはしそうけい)の活躍。

---

⑧茶道

堺の**千利休**(せんのりきゅう)〔**宗易**(そうえき)〕により**侘び茶**(わ)が完成。1587年，**豊臣秀吉**も**北野大茶湯**(きたのおおちゃのゆ)〔**北野大茶会**(きたののおおちゃのえ)〕を開催(かいさい)するなど，茶の湯は大名のたしなみでもあった。

☆近世初期の茶人(ちゃじん)

町衆⇒千利休，今井宗久(そうきゅう)**，津田宗及**(そうぎゅう)など。

武将⇒織田有楽斎，古田(ふるた)織部，小堀遠州(こぼりえんしゅう)など。

〈*Note*〉

⑨風俗

A　女性の衣服は**小袖**(こそで)の着流(きなが)しが一般化

☆礼服として，男性は肩衣(かたぎぬ)・袴(はかま)（＝裃(かみしも)），女性は打掛(うちかけ)・腰巻(こしまき)があった。

B　男女ともに結髪(けっぱつ)が始まる

☆女性は垂髪(すいはつ)も多い。

C　日に３度の食事

☆公家や武士は米, 庶民は雑穀(ざっこく)を常食とした。また, 調味料に砂糖が加わった。

D　都市に瓦(かわら)屋根の２階建て家屋(かおく)が登場

☆農村では萱葺(かやぶき)の平屋(ひらや)。

⑩南蛮文化

A　絵画⇒南蛮人により油絵や銅版画の技法が伝来

狩野派の画家を中心とする，日本人による**南蛮屛風**の制作。

☆『世界地図屛風』『泰西王侯騎馬図屛風』など。

B　学術

天文学・地理学・医学・航海術などが伝来。

C　**キリシタン版〔天草版〕**⇒ローマ字本が主体

1590年，イエズス会宣教師**ヴァリニャーニにより活字印刷機が伝来。『天草版平家物語』『天草版伊曽保物語』『日葡辞書』**『どちりな＝きりしたん』などが，金属製の活字で出版された。

D　**教育**

あ　**セミナリオ**

安土（近江国）にオルガンティーノが設置した中級学校・**神学校**。のちヴァリニャーニにより有馬（肥前国）に合併された。

い　**コレジオ**

府内（豊後国）にヴァリニャーニが設置した**大学**・宣教師養成学校。のち迫害のため天草（肥後国）・長崎（肥前国）へと移転。

う　ノビシャド

臼杵（豊後国）にヴァリニャーニが設置した修練院。

E　風俗

喫煙の風習が広まり，武士・庶民の衣食その他に南蛮風俗が流行。

F　**外来語**の残存

カステラ，カッパ，カナリヤ，カルタ，コンペイトウ，シャボン，ジャガイモ，ジュバン，タバコ，テンプラ，パン，ボタン，ラシャなど。

２　寛永期の文化

①寛永期の文化の特色

A　桃山文化の豪華さを継承しつつ，伝統的な公家文化も復活。

B　将軍家・大名と，公家や京都の上層町衆が担い手となる。

C　幕藩体制の安定に伴い，優雅で落ち着いた文化となる。

---

②建築

A　**日光東照宮**　（**下野国，権現造**）

☆徳川家康を東照大権現として祀る，**霊廟建築**の代表。

B　**日光東照宮陽明門**（**下野国**）

C　**桂離宮**　（**京都，数寄屋造**）

☆八条宮智仁親王の離宮，回遊式庭園の代表。

☆数寄屋造は，書院造の草庵風の茶室を取り入れたもの。

D　**修学院離宮**　（**京都，数寄屋造**）

☆後水尾上皇の離宮

E　清水寺本堂　（京都）

F　**延暦寺根本中堂**　（**近江国**）

☆天台宗山門派の総本山。

G　**万福寺大雄宝殿**　（**山城国宇治**）

☆隠元隆琦が明から伝えた黄檗宗の総本山，中国様式の建築。

H　崇福寺大雄宝殿　（肥前国長崎）

☆黄檗宗寺院，中国様式の建築。

〈 ***Note*** 〉

③絵画

A　狩野派（かのうは）

狩野探幽（たんゆう）が幕府御用絵師となり江戸へ下（くだ）るが，以後狩野派は様式の踏襲（とうしゅう）にとどまった。

あ　大徳寺方丈襖絵（ほうじょうふすまえ）　（狩野探幽）

い　夕顔棚納涼図屏風（ゆうがおだなのうりょうずびょうぶ）（久隅守景（くすみもりかげ））⇒狩野探幽に破門される

B　住吉派（すみよしは）

土佐派から出た住吉如慶（じょけい）が住吉派を名乗る。

C　町衆による装飾画や風俗画が発達

あ　風神雷神図屏風（ふうじんらいじんずびょうぶ）（俵屋宗達（たわらやそうたつ））

☆土佐派の画法をもとに，装飾画に新様式を生み出し，続く元禄期の琳派の先駆となった。

い　彦根屏風（ひこね）

☆彦根藩（近江国）井伊家が所蔵。

---

④工芸

A　陶磁器

色絵花鳥文深鉢（いろえかちょうもんふかばち）　（酒井田柿右衛門（さかいだかきえもん））

☆上絵付（うわえつけ）の技法で有田焼〔伊万里焼（いまり）〕の赤絵（あかえ）を完成。

B　蒔絵（まきえ）

舟橋蒔絵硯箱（ふなはしまきえすずりばこ）　（本阿弥光悦（ほんあみこうえつ））

☆京都の町衆であった光悦は，家康から京都鷹ヶ峰（たかがみね）に土地を与えられ芸術村を形成。多才な文化人として知られ，楽焼（らくやき）の制作や角倉素庵（すみのくらそあん）との嵯峨本（さがぼん）（装飾本（そうしょくぼん）の一種）出版などでも有名。

〈 ***Note*** 〉

⑤文芸

A　**仮名草子**(かなぞうし)

教訓や道徳を題材とした，実用性・娯楽(ごらく)性に富む通俗的(つうぞくてき)な絵入りの仮名書き小説。

あ　二人比丘尼(ににんびくに)　**(鈴木正三(しょうさん))**

い　東海道名所記（浅井了以(りょうい)）

う　可笑記(かしょうき)　（如儡子(じょらいし)）

B　**俳諧**

連歌の発句(ほっく)（五・七・五）が俳諧として独立。

A　**貞門(ていもん)俳諧**　**(松永貞徳(ていとく)，京都)**⇒形式的な滑稽(こっけい)さと優雅さ

B　**談林(だんりん)俳諧**　**(西山宗因(そういん)，大坂)**⇒より自由・平易さを求める

---

⑥学問

儒学の一派である**朱子学〔宋学〕**が，君臣・父子の別をわきまえ，上下の秩序を重んじる封建(ほうけん)教学として幕府・藩に保護される。

A　**藤原惺窩**(ふじわらせいか)

もと相国寺(しょうこくじ)の僧。還俗(げんぞく)して朱子学を禅宗から解放し，**京学**(きょうがく)の祖となる。

B　**林羅山**(はやしらざん)**〔道春**(どうしゅん)**〕**

もと建仁寺(けんにんじ)の僧。藤原惺窩の門人となり，師の推薦で家康に登用され江戸に下る。4代の将軍に仕え，朱子学的思想で幕藩体制の身分秩序を正当化するなど，支配体制の整備に活躍，幕府の学問・教育を代々担(にな)う**林家**(りんけ)の祖となる。

☆のち上野忍ヶ岡(うえのしのぶがおか)に私塾**弘文館**(こうぶんかん)を開設。

〈***Note***〉

第7講　文化史確認テスト

1　法隆寺地域の仏教建造物とともにわが国初の世界文化遺産に登録された，播磨国の“白鷺城”とは？

①犬山城　②松本城　③姫路城　④彦根城

2　狩野永徳の作品でないものを一つ選べ。

①唐獅子図屛風　②檜図屛風　③松鷹図　④洛中洛外図屛風

3　朝鮮から伝来した印刷術を用い，慶長勅版〔慶長版本〕を出版した天皇とは？

①正親町天皇　②後陽成天皇　③後水尾天皇　④明正天皇

4　キリシタン版にないものを一つ選べ。

①源氏物語　②平家物語　③伊曽保物語　④日葡辞書

5　徳川家康を権現として祀る日光東照宮の所在地は？

①江戸　②駿府　③上野国　④下野国

6　宇治の万福寺や長崎の崇福寺は，何という宗派の寺院か？

①天台宗　②浄土宗　③臨済宗　④黄檗宗

7　狩野派に破門された久隅守景の代表作とは？

①大徳寺方丈襖絵　②夕顔棚納涼図屛風
③風神雷神図屛風　④彦根屛風

8　上絵付法による有田焼〔伊万里焼〕の赤絵を完成した人物とは？

①李参平　②酒井田柿右衛門　③本阿弥光悦　④野々村仁清

9　江戸時代前期の鈴木正三らに代表される，実用性・娯楽性に富む通俗的な絵入り小説とは？

①御伽草子　②仮名草子　③浮世草子　④草双紙

10　大坂で自由・平易な談林俳諧を始めた人物とは？

①山崎宗鑑　②荒木田守武　③松永貞徳　④西山宗因

解答

1	③	2	③	3	②	4	①	5	④
6	④	7	②	8	②	9	②	10	④

第８講　江戸時代の文化②

1　元禄文化

①元禄文化の特色

A　現世を“**浮き世**”とみる**現世肯定的**な風潮が一般化，人間性の追及に主眼が置かれ始めている。

B　**上方**（**京都・大坂**）の富裕な町人が中心の文化である。

C　**文治政治の影響**により，**儒学**（**とくに朱子学**）**の発達**がみられる。

---

②文学

A　**井原西鶴**

当初は談林俳諧で注目されたが，**浮世草子**作家に転向。愛欲や金銭に執着し，“浮き世”を生きる人間の生々しい姿を描写。享楽的現世を大胆に肯定した。

あ　**好色物**

『**好色一代男**』『好色一代女』『好色五人女』

い　**武家物**

『**武道伝来記**』『**武家義理物語**』

う　**町人物**

『**日本永代蔵**』『**世間胸算用**』

B　**松尾芭蕉**

伊賀国出身。西山宗因の談林俳諧に対し，「**さび・しおり・ほそみ・かるみ**」などの幽玄閑寂を旨とする**蕉風〔正風〕俳諧**を確立。連歌の発句に過ぎなかった俳句を，独立した文学作品に高めた。向井去来・森川許六ら“**蕉門十哲**”と呼ばれる弟子を輩出した。

あ　**俳諧紀行文**

『野ざらし紀行』『笈の小文』『**奥の細道**』

い　俳句集⇒『俳諧七部集』

『冬の日』『春の日』『ひさご』『猿蓑』など

〈***Note***〉

C　**近松門左衛門**(ちかまつもんざえもん)

人形浄瑠璃・歌舞伎の脚本家(にんぎょうじょうるり)。実話や歴史に題材を求め，“憂(う)き世”の義理と人情の葛藤(かっとう)を鋭く描写。

あ　**世話物**(せわもの)〔**心中物**(しんじゅうもの)〕

『曽根崎心中』『冥途の飛脚』『心中天網島』『女殺油地獄』など

い　**時代物**

『国性爺合戦』『出世景清』など

---

③芸能

A　**人形浄瑠璃**(にんぎょうじょうるり)⇒文楽(ぶんらく)の源流

近松門左衛門の作品は，語り＝**竹本義太夫**(たけもとぎだゆう)（**義太夫節**(ぶし)として独自に音曲化），人形遣(つか)い＝辰松八郎兵衛(たつまつはちろべえ)で大坂の竹本座において空前の人気を誇った。

B　**歌舞伎**⇒江戸・上方(かみがた)には常設の**芝居小屋**(しばいごや)が置かれる。

あ　**市川団十郎**(いちかわだんじゅうろう)〔初代〕

超人的な**荒事**(あらごと)を得意とし，**江戸**で活躍。

い　**坂田藤十郎**(さかたとうじゅうろう)〔初代〕

恋愛劇の**和事**(わごと)を得意とし，**上方**で活躍。

う　芳沢(よしざわ)あやめ

女形(おやま)の代表として，上方で活躍。

〈 ***Note*** 〉

④**儒学**⇒文治(ぶんち)政治の象徴

幕藩体制が安定期に入り，儒学が人々の社会における役割を説(と)くものとして重視される。

☆特に**朱子学(しゅしがく)〔宋学〕**は大義名分論など上下の身分秩序や礼節(れいせつ)を重視したので，幕府・諸藩に封建(ほうけん)教学として手厚く保護された。

A　**朱子学派⇒京学**

あ　**藤原惺窩(ふじわらせいか)**の創始⇒京都相国寺(しょうこくじ)の僧

い　**林羅山(はやしらざん)〔道春(どうしゅん)〕**⇒江戸に下り上野忍ヶ岡(しのぶがおか)に**私塾弘文館(こうぶんかん)**を開設。**林家(りんけ)**の祖。

う　**林鵞峰(がほう)〔春斎(しゅんさい)〕**⇒羅山を継ぎ**歴史書『本朝通鑑(ほんちょうつがん)』を完成**。

え　**林鳳岡(ほうこう)〔信篤(のぶあつ)〕**⇒綱吉の信任を受け，初代**大学頭(だいがくのかみ)**（聖堂学問所の長）となる。

お　石川丈山(じょうざん)　⇒京都に私塾詩仙堂(しせんどう)を開設。

か　**松永尺五(せきご)**　⇒貞門俳諧(ていもんはいかい)の創始者松永貞徳(ていとく)の子。京都に私塾講習堂を開設。

き　**木下順庵(じゅんあん)**　⇒**加賀藩主前田綱紀(つなのり)，のち５代将軍綱吉に仕える。**弟子“木門十哲(ぼくもんじってつ)”を輩出した。

く　**新井白石(あらいはくせき)**　⇒**６代家宣(いえのぶ)・７代家継の侍講(じこう)**として**正徳の治**を展開。

☆歴史書『**読史余論(とくしよろん)**』自伝『**折(おり)たく柴(しば)の記(き)**』の他，『**古史通(こしつう)**』『**藩翰譜(はんかんふ)**』『**采覧異言(さいらんいげん)**』『**西洋紀聞(せいようきぶん)**』『東(とう)雅(が)』などを著す。

け　**雨森芳洲(あめのもりほうしゅう)**　⇒**対馬藩宗氏(そうし)に仕(つか)え**，朝鮮通信史問題では兄弟子の新井白石と対立。

こ　**室鳩巣(むろきゅうそう)**　⇒**加賀藩主前田綱紀，のち８代吉宗に仕える。**

☆『**六諭衍義大意(りくゆえんぎたいい)**』『**兼山麗沢秘策(けんざんれいたくひさく)**』『**駿台雑話(すんだいざつわ)**』などを著す。

B　**朱子学派⇒南学(なんがく)〔海南(かいなん)学派〕**

あ　**南村梅軒(みなみむらばいけん)**の創始⇒**土佐の谷時中(たにじちゅう)**が継承し，学派を確立。

い　野中兼山(のなかけんざん)　⇒土佐藩家老(かろう)として藩政を主導。

う　**山崎闇斎(やまざきあんさい)**　⇒**会津藩主保科正之(ほしなまさゆき)**に礼遇(れいぐう)される。吉川惟足(これたり)に学び神道を儒学〔朱子学〕流に解釈し融合(ゆうごう)。独自の**垂加(すいか)神道(しんとう)**を唱える。

☆“崎門(きもん)学派”のうち“崎門三傑(さんけつ)”は，浅見絅斎(あさみけいさい)・佐藤直方(なおかた)・三宅尚斎(みやけしょうさい)。

〈***Note***〉

C　**陽明学派**

明の**王陽明**が創始。朱子学の知識偏重を批判，実践を重視し“知行合一”を説いた。時世批判の傾向が強く，幕府に警戒された。

あ　**中江藤樹**　⇒もと伊予国大洲藩の朱子学者，のち**日本陽明学の祖**。故郷の近江国に私塾藤樹書院を開設，“近江聖人”と呼ばれる。

☆『翁問答』などを著す。

い　**熊沢蕃山**〔了介〕⇒**池田光政に仕え岡山藩家老となり**，私塾花畠教場を開設。

☆経済政策書『**大学或問**』で，武士の帰農・参勤交代の緩和を主張し幕政を批判。**幕府により下総国古河に幽閉される。**

D　**古学派**

孔子・孟子の原典への復帰を主張し，実証・典拠を重視。朱子学を批判。

あ　**山鹿素行**　⇒独自に“**聖学**”を唱え朱子学を攻撃。幕府により播磨国赤穂に流される。

☆『**聖教要録**』『**中朝事実**』『**武家事紀**』などを著す。

☆“**士道**”**の大成者**としても有名。

い　**伊藤仁斎・東涯**　⇒**京都**堀川に**私塾古義堂**〔堀川塾〕を開設し，**古義学**〔**堀川学派**〕を創始。

☆父の仁斎は『論語古義』『孟子古義』『童子問』，子の東涯は歴史書『制度通』などを著す。

う　**荻生徂徠**　⇒**江戸**に**私塾蘐園塾**を開設し，**古文辞学**〔**蘐園学派**〕を創始。**柳沢吉保のち８代吉宗に仕える。**

☆吉宗の諮問に答え『**政談**』を献じ，**経世論**を展開。他にも『弁道』『弁名』などを著した。

え　**太宰春台**　⇒師の荻生徂徠の経世論を継承・発展させ，『**経済録**』『**経済録拾遺**』を著す。

E　**折衷学派**

先行の諸学説を選択・折衷して正しい解釈に達しようとする学派。片山兼山・井上金峨らが唱え，田沼時代に流行した。

〈 ***Note*** 〉

F　**考証学派**

経書の解釈を一定の思想的立場から行うのではなく，確実な典拠に基づき実証的かつ客観的に行おうとする学派。江戸時代後期に盛んとなり，その文献考証の方法は，荻生徂徠の実証的手法とともに，国学や歴史学に多大な影響を与えた。

---

⑤諸学問の発達⇒儒学の発達が，他の諸学問を刺激

A　**歴史学**

あ　**林家**　⇒**林羅山・鵞峰**父子が幕命により**『本朝通鑑』**を編纂。
☆宋の『資治通鑑』にならった編年体の歴史書。

い　**水戸藩**　⇒明から来日した**朱舜水**を招き，江戸（のち水戸にも）に設置された**彰考館**で，神武〜後小松天皇を紀伝体で記し**南朝正統論**を採る『**大日本史**』を編纂。明治後期の1906年に完成。

う　**新井白石**　⇒『**読史余論**』『**古史通**』『**藩翰譜**』を著す。

B　**本草学**（薬学を中心とする博物学）

あ　**貝原益軒**　⇒『**大和本草**』を著す。松永尺五門下の朱子学者でもあり，道徳書『**和俗童子訓**』や養生書の『養生訓』が有名。

い　**稲生若水**　⇒**加賀藩主前田綱紀に仕え『庶物類纂』**を著す（死後に完成）。

C　**農学**

福岡藩出身の**宮崎安貞**が著した**初の本格的農書『農業全書』**が広く普及する。
☆明の徐光啓が編んだ『農政全書』の影響を受ける。

D　**和算**⇒日本独自の数学

あ　**吉田光由**　⇒和算・算盤の普及に功績が大きく『**塵劫記**』を著す。

い　**関孝和**　⇒多大な業績をあげ『**発微算法**』を著す。

E　**天文・暦学**

1684年，**安井算哲〔渋川春海〕**が，元の授時暦をもとに従来の宣明暦に替わる**貞享暦**を完成，５代将軍綱吉により幕府の**天文方**に任命される。

F　**医学**（古医方＝理論より実践中心の，古代漢方医学）

あ　名古屋玄医⇒日本における古医方の先駆者となった，京都の医師。

い　**山脇東洋**　⇒18世紀半ば，初めて腑分け（死体の解剖）を行い『**蔵志**』を著した，京都の医師。

〈 ***Note*** 〉

G　**洋学**の先駆

あ　**西川如見（じょけん）**　⇒**長崎**の天文・地理学者。『**華夷通商考（かいつうしょうこう）**』を著す。

☆その他，教訓書として『町人嚢（ぶくろ）』『百姓嚢（ぶくろ）』を著す。

い　**新井白石**　⇒**屋久島（やくしま）**に潜入した**イタリア人宣教師シドッチ**を尋問（じんもん）し，『**采覧異言（さいらんいげん）**』『**西洋紀聞（きぶん）**』を著す。

H　国文学の研究⇒のち**国学**へと成長

あ　**北村季吟（きぎん）**　⇒５代将軍綱吉により幕府の**歌学方（かがくがた）**に任命される。『**源氏物語湖月抄（こげつしょう）**』『枕草子春曙抄（しゅんしょしょう）』を著す。

い　**戸田茂睡（もすい）**　⇒古今伝授（こきんでんじゅ）や制（せい）の詞（ことば）など中世歌学の伝統を排除。『**梨本集（なしもとしゅう）**』を著す。

う　**契沖（けいちゅう）**　⇒下河辺長流（しもこうべちょうりゅう）の影響を受け，徳川光圀（みつくに）（水戸藩）の依頼で『**万葉代匠記（まんようだいしょうき）**』を著す。古代仮名遣（づか）いの解明に貢献した。

---

⑥芸術

A　建築

あ　**東大寺大仏殿（だいぶつでん）（大和国）**⇒世界最大の木造建築

い　善光寺（ぜんこうじ）本堂　（信濃国）

B　庭園

あ　小石川後楽園（こうらくえん）（江戸，水戸藩）

い　**後楽園　（備前国，岡山藩）**

☆金沢の兼六園（けんろくえん）（加賀藩），水戸の偕楽園（かいらくえん）（水戸藩）とともに“日本三名園”とされる。

C　絵画

あ　**狩野派（かのう）**

幕府御用絵師として画壇（がだん）に君臨するが，マンネリズムにより衰退。破門された？　英一蝶（はなぶさいっちょう）は風俗画で注目を浴びる。

い　**土佐派（とさは）**

土佐光起（みつおき）が**朝廷絵所預（えどころあずかり）**となり土佐派を再興するが，画風は停滞（ていたい）。

『秋郊鳴鶉図（しゅうこうめいじゅんず）』（土佐光起）

う　**住吉派**

住吉如慶（じょけい）の子**具慶（ぐけい）**が土佐派に対抗し分離。**幕府御用絵師**となり江戸に大和絵を広めるが，創造性に欠け衰退した。

☆**『洛中洛外図巻』（住吉具慶）**

〈***Note***〉

え　**琳派**（りんぱ）

本阿弥光悦（ほんあみこうえつ）・俵屋宗達（たわらやそうたつ）の影響を受けた京都の**尾形光琳**（おがたこうりん）が，装飾画において光琳模様を完成。

☆**『紅白梅図屏風』『燕子花図屏風』（尾形光琳）**（こうはくばいずびょうぶ／かきつばたずびょうぶ）

☆光琳は蒔絵（まきえ）**『八橋蒔絵硯箱』**（やつはしまきえすずりばこ）も制作

お　**浮世絵**（うきよえ）⇒民衆的風俗画

菱川師宣（ひしかわもろのぶ）が浮世絵版画を創始。当時，一枚絵は少なく，多くは絵本・挿絵本（さしえぼん）。

☆**『見返り美人図』（菱川師宣の肉筆画）**

D　工芸・その他

あ　陶磁器

野々村仁清（ののむらにんせい）が上絵付法（うわえつけほう）をもとに色絵（いろえ）を完成，**京焼**（きょうやき）の大成者となる。

☆『色絵藤花文茶壺』『色絵月梅文茶壺』（野々村仁清）（いろえとうかもんちゃつぼ／いろえつきうめもんちゃつぼ）

☆仁清に学んだ**尾形乾山**（おがたけんざん）（光琳の弟）も活躍。

い　染物

京都の**宮崎友禅**（ゆうぜん）が，**友禅染**（ゆうぜんぞめ）（京友禅）を創始。のち加賀友禅も興（おこ）る。

う　**鉈彫**（なたぼり）

ノミで彫（ほ）った跡（あと）を木の表面に残す，荒削り（あらけずり）で素朴（そぼく）な作品。美濃（みの）国出身の**円空**（えんくう）が蝦夷地（えぞち）を含む全国を行脚（あんぎゃ）し，各地で多数の仏像（円空仏（えんくうぶつ））や神像（しんぞう）を制作。

☆**『両面宿儺像』『護法神像』（円空）**（りょうめんすくなぞう／ごほうしんぞう）

〈 ***Note*** 〉

第８講　文化史確認テスト

1　井原西鶴の浮世草子のジャンルではないものを一つ選べ。

①好色物　②武家物　③町人物　④世話物

2　松尾芭蕉の俳諧紀行文ではないものを一つ選べ。

①猿蓑　②野ざらし紀行　③笈の小文　④奥の細道

3　近松門左衛門の作品のうち時代物を一つ選べ。

①国性爺合戦　②曽根崎心中　③冥途の飛脚　④心中天網島

4　歌舞伎役者ではない人物は誰か？

①辰松八郎兵衛　②市川団十郎　③坂田藤十郎　④芳沢あやめ

5　京学の朱子学者木下順庵の弟子でない人物は誰か？

①松永尺五　②新井白石　③雨森芳洲　④室鳩巣

6　新井白石の著書でないものを一つ選べ。

①読史余論　②中朝事実　③藩翰譜　④折たく柴の記

7　南村梅軒を継いで南学〔海南学派〕を大成した，土佐国の朱子学者とは？

①谷時中　②野中兼山　③山崎闇斎　④佐藤直方

8　朱子学を批判，実践を重視して知行合一を説き，幕府に警戒された学問とは？

①陽明学　②古学　③国学　④蘭学〔洋学〕

9　加賀藩主前田綱紀に仕え，『庶物類纂』の編纂にあたった本草学者とは？

①木下順庵　②室鳩巣　③貝原益軒　④稲生若水

10　『華夷通商考』を著した，長崎の天文・地理学者とは？

①末次平蔵　②西川如見　③志筑忠雄　④高島秋帆

11　琳派の祖とされる京都の尾形光琳と関係ないものを一つ選べ。

①紅白梅図屛風　②燕子花図屛風　③色絵藤花文茶壺　④八橋蒔絵硯箱

12　浮世絵版画の創始者である菱川師宣の代表的肉筆画とは？

①見返り美人図　②ささやき　③富嶽三十六景　④東海道五十三次

解答

1	④	2	①	3	①	4	①	5	①
6	②	7	①	8	①	9	④	10	②
11	③	12	①						

第９講　江戸時代の文化③

1　化政文化（宝暦・天明期の文化を含む）

①化政文化の特色

A　当時の世相を反映した，**享楽的・退廃的な傾向が強い**文化。

☆風刺や皮肉で現実の憂さを発散。

B　幕藩体制の動揺を目の当たりにし，**批判的精神**に満ちる。

C　上方と並ぶ経済の中心地に成長した**江戸**の，幅広い階層の都市民が担う文化。

☆文化の多様化

☆美意識としての「粋」と，行動原理としての「通」が重視される。

D　都市と農村，三都と地方の文化的交流は盛んで，全国各地の豪商・豪農を中心とした**文化の地方普及**が著しい。

〈 ***Note*** 〉

②化政文学

元禄文学に比べ，より通俗的で，政治・社会に題材をとる傾向があり，人間性は深く掘り下げない（＝**戯作**(げさく)）。三都の本屋の旺盛(おうせい)な出版活動と**貸本屋**の増加により，庶民にも読書の習慣が広まった。

A　小説

あ　**草双紙**(くさぞうし)〔子供向けの赤本⇒大人向けの黒本・青本〕（挿絵(さしえ)で読者を引きつける）

い　**黄表紙**(きびょうし)（風刺・滑稽(こっけい)を基調とする通俗的絵入り小説）
『鸚鵡返文武二道』(おうむがえしぶんぶのふたみち)**『金々先生栄花夢』**(きんきんせんせいえいがのゆめ)**（恋川春町**(こいかわはるまち)**）⇒寛政の改革で弾圧**
『江戸生艶気樺焼』(えどうまれうわきのかばやき)**（山東京伝**(さんとうきょうでん)**）**

う　**洒落本**(しゃれぼん)（遊里(ゆうり)を題材とする絵入り短編小説）
『仕懸文庫』(しかけぶんこ)**『通言総籬』**(つうげんそうまがき)**（山東京伝）**　**⇒寛政の改革で弾圧**
☆版元(はんもと)の**耕書堂**経営者**蔦屋重三郎**(つたやじゅうざぶろう)も，財産の半分を没収される。

え　**読本**(よみほん)（歴史・伝説等を題材とした文章主体の絵入り小説）
『雨月物語』(うげつ)**（上田秋成**(うえだあきなり)**）**　**⇒大坂**，前期読本
☆古典を題材とした短編怪異小説集。
『椿説弓張月』(ちんせつゆみはりづき)**『南総里見八犬伝』**(なんそうさとみはっけんでん)**（曲亭**(きょくてい)**〔滝沢〕馬琴**(ばきん)**）⇒江戸**，後期読本
☆“勧善懲悪(かんぜんちょうあく)”“因果応報(いんがおうほう)”を主題とする長編小説。

お　**滑稽本**(こっけいぼん)（笑い・滑稽を基調とする絵入り小説）
『東海道中膝栗毛』(ひざくりげ)**（十返舎一九**(じっぺんしゃいっく)**）**
『浮世風呂』(うきよぶろ)**『浮世床』**(うきよどこ)**（式亭三馬**(しきていさんば)**）**

か　**合巻**(ごうかん)　（数冊の黄表紙を綴(と)じ合わせたもの）
『偐紫田舎源氏』(にせむらさきいなかげんじ)**（柳亭種彦**(りゅうていたねひこ)**）**　**⇒天保の改革で弾圧**

き　**人情本**(にんじょうぼん)（恋愛を主題とした女性向けの絵入り小説）
『春色梅児誉美』(しゅんしょくうめごよみ)**（為永春水**(ためながしゅんすい)**）**　**⇒天保の改革で弾圧**

B　随筆

『北越雪譜』(ほくえつせっぷ)**（鈴木牧之**(ぼくし)**）**
☆越後国の農村で，雪国の自然や暮らしを描写。

〈 ***Note*** 〉

C　脚本

あ　人形浄瑠璃（にんぎょうじょうるり）

歌舞伎に圧倒され低調化，常磐津節（ときわづぶし）・新内節（しんないぶし）・清元節（きよもとぶし）・一中節（いっちゅうぶし）などの唄（うた）浄瑠璃〔座敷（ざしき）浄瑠璃〕へと転化していく。

『仮名手本忠臣蔵（かなでほんちゅうしんぐら）』『菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかがみ）』『義経千本桜（よしつねせんぼんざくら）』（二世竹田出雲（いずも））

『本朝廿四孝（ほんちょうにじゅうしこう）』（近松半二（ちかまつはんじ）ら）

い　歌舞伎

庶民生活を扱う生世話物（きぜわもの）が流行。並木正三（なみきしょうざ）が人形浄瑠璃の技法を取り入れ，花道（はなみち）・せり出し・廻（まわ）り舞台などを考案，大人気となる。

『東海道四谷（よつや）怪談』（四世鶴屋南北（つるやなんぼく））

『三人吉三廓初買（さんにんきちさくるわのはつがい）』（河竹黙阿弥（かわたけもくあみ））⇒幕末期にかけて白浪物（しらなみもの）の名手

D　詩歌（しいか）

あ　俳諧（はいかい）

『蕪村（ぶそん）七部集』（蕪村（ぶそん）〔与謝（よさ）蕪村〕）⇒上方（かみがた）

『おらが春』　（一茶（いっさ）〔小林一茶〕）⇒信濃（しなの）国

い　川柳（せんりゅう）

機知（きち）に富んだ表現で人情・世相・風俗を詠（よ）む，滑稽（こっけい）・風刺を基調とした俳諧。

☆『誹風柳多留（はいふうやなぎだる）』（柄井川柳（からいせんりゅう）ら）

う　和歌

万葉調　　賀茂真淵（かものまぶち），田安宗武（たやすむねたけ），加藤千蔭（ちかげ）ら

☆良寛（りょうかん）⇒越後国の僧

古今調　　香川景樹（かがわかげき）⇒桂園（けいえん）派

新古今調　村田春海（はるみ）

え　狂歌（きょうか）

機知に富んだ表現で人情・世相・風俗を詠む，滑稽・風刺を基調とした和歌。

☆大田南畝（なんぽ）〔蜀山人（しょくさんじん）・四方赤良（よものあから）〕，石川雅望（まさもち）〔宿屋飯盛（やどやのめしもり）〕，朱楽菅江（あけらかんこう）ら

〈***Note***〉

③国学の発達

古学派の研究法や歌学の刷新運動，**神道思想**などが源流となり発達。各地の神官・豪農・豪商に広まった。儒教・仏教などの外来思想を批判，古代人の生活・思想である**古道**を理想化した（＝復古主義）。

A　**荷田春満**（享保期）

京都から江戸に下り『**創学校啓**』を著し，８代吉宗に提出。

B　**賀茂真淵**（宝暦期）

荷田春満に師事。『**国意考**』『**万葉考**』『歌意考』を著し，万葉集に“高く直き心”を見出した。私塾「県居」を設立。

C　**本居宣長**（天明・寛政期）

伊勢国松坂出身，賀茂真淵に師事。“漢心”を捨て“真心”に生きることを重視し，“惟神の道”を説いた。

☆『**古事記伝**』（神道書『直毘霊』含む）『**(源氏物語) 玉小櫛**』『玉くしげ』『**秘本玉くしげ**』『**玉勝間**』『うひ山ぶみ』を著し，私塾鈴屋を設立。

D　**塙保己一**（寛政期）

賀茂真淵に師事。江戸の**和学講談所**で『**群書類従**』を編纂した，盲目の国学者。

E　**平田篤胤**（天保期）

本居宣長の没後門人を自称。神道と国学を融合し**復古神道**を唱え，民族主義・国粋主義的傾向を強めた。

☆『古史徴』『古史伝』『古道大意』を著し，私塾気吹屋を設立。幕末の尊王攘夷運動に絶大な影響を与える。

F　その他

荷田春満の養子荷田在満，本居宣長の没後門人で随筆『比古婆衣』を著した伴信友など。

〈***Note***〉

④洋学〔蛮学⇒蘭学⇒洋学〕の発達

享保の改革で**実学奨励策**をとる**８代将軍吉宗**が，**漢訳洋書輸入の禁を緩和**(1720年)。さらに**青木昆陽・野呂元丈**にオランダ語を習得させる。

A　洋学の発達

あ　『**解体新書**』(**杉田玄白**〔若狭国小浜藩医〕・**前野良沢**〔豊前国中津藩医〕・中川淳庵・桂川甫周)

☆ドイツ人クルムスの著した『解剖図譜』の蘭訳本『ターヘル＝アナトミア』を翻訳（挿絵は小田野直武），1774年に刊行。

い　『**蘭学事始**』　(**杉田玄白**)　⇒『解体新書』訳述の回想録。

う　『**蘭学階梯**』　(**大槻玄沢**)　⇒蘭学入門書

え　『西説内科撰要』　(宇田川玄随)　⇒オランダ内科書の翻訳

お　『**ハルマ〔波留麻〕和解**』(**稲村三伯**)　⇒**初の蘭日辞書“江戸ハルマ”**

か　**平賀源内**の研究

エレキテル（摩擦起電器），寒暖計，火浣布などを発明

B　洋学の展開

あ『寛政暦』　（天文方の**高橋至時**が作成）

い『**暦象新書**』　（**志筑忠雄**，1802年）⇒地動説や万有引力説を紹介

う『**大日本沿海輿地全図**』（**伊能忠敬，1821年完成**）⇒別名“伊能図”

え『気海観瀾』　（青地林宗）　⇒初の物理学書

お『窮理通』　（帆足万里）　⇒物理学書

か『舎密開宗』　（宇田川榕庵）　⇒イギリスの化学書を翻訳

き『菩多尼訶経』　（宇田川榕庵）　⇒西洋植物学を紹介

く『日本植物誌』　（ツンベルグ）　⇒オランダ商館のスウェーデン人医師

C　**幕府の洋学研究機関**⇒17世紀後半，天文台を設置

1811年，天文方**高橋景保**の建議で**蛮書和解御用**を設置。フランス人ショーメルの百科全書『厚生新編』などを翻訳。

☆のち**洋学所（1855年）⇒蕃書調所（1856年）⇒洋書調所**（1862年）⇒**開成所**（1863年）へと改編。

〈 ***Note*** 〉

D　幕府の洋学統制

あ　**シーボルト事件**（1828年）

国禁であった日本地図の持ち出し未遂。オランダ商館の**ドイツ人医師シーボルト**は国外追放，天文方の**高橋景保**は獄死。

☆シーボルトは『**日本**』『日本動物誌』などの著書がある。

い　**蛮社の獄**　　　（1839年）

モリソン号事件（1837年）を契機とする幕政批判などを理由に，**尚歯会**〔**蛮学社中**〕の蘭学者に弾圧を加える。『**慎機論**』を著した**渡辺崋山**,『**戊戌夢物語**』を著した**高野長英**らを処罰。小関三英は自害した。

〈 ***Note*** 〉

⑤儒学と教育

A　幕府の教育機関

1790年　**寛政異学の禁**で朱子学を正学(せいがく)とする。

1797年　聖堂学問所を官立化し，**昌平坂学問所(しょうへいざか)〔昌平黌(こう)〕**とする。

B　**藩学〔藩校〕**⇒全国に約250校

あ　**明倫館(めいりんかん)　（長州藩，毛利吉元(よしもと)）**

い　養賢堂(ようけんどう)　（仙台藩）

う　明倫堂　（尾張藩）

え　**時習館(じしゅうかん)　（熊本藩・細川重賢(しげかた)）**

お　**造士館(ぞうしかん)　（薩摩藩・島津重豪(しげひで)）**

か　**興譲館(こうじょうかん)　（米沢藩・上杉治憲(はるのり)〔鷹山(ようざん)〕が再興(さいこう)）**

き　修猷館(しゅうゆうかん)　（福岡藩）

く　**明徳館(めいとくかん)　（秋田藩・佐竹義和(よしまさ)）**

け　明倫堂　（加賀藩）

こ　**日新館　（会津藩）**⇒はじめ稽古(けいこ)堂

さ　致道館(ちどうかん)　（庄内藩）

し　**弘道館(こうどうかん)　（水戸藩・徳川斉昭(なりあき)）**

C　**郷学〔郷校〕**

あ　**閑谷(しずたに)学校（岡山藩・池田光政）**

い　含翠堂(がんすいどう)　（摂津国平野）

う　有備館(ゆうびかん)　（仙台藩）

え　廉塾(れんじゅく)　（福山藩）⇒菅茶山(かんちゃざん)の私塾を改称

〈 ***Note*** 〉

D　私塾

あ　**弘文館（林羅山〔道春〕）**　⇒上野忍ヶ岡に設立された**朱子学塾**
☆のち湯島に移転，聖堂学問所となる。

い　講習堂　（松永尺五）　⇒京都二条に設立された朱子学塾

う　藤樹書院（中江藤樹）　⇒近江国小川村に設立された陽明学塾

え　**古義堂　（伊藤仁斎）**　⇒**京都堀川**に設立された**古学塾**

お　**蘐園塾　（荻生徂徠）**　⇒**江戸**に設立された**古学塾**

か　**懐徳堂　（中井甃庵ら）**　⇒**大坂**に設立された**町人塾**（のち準官学）
☆初代学主は三宅石庵，のち中井甃庵やその子**中井竹山**・**履軒**らが学主となり，**『出定後語』**の**富永仲基**や**『夢の代』**の**山片蟠桃**などを**輩出**。

き　**芝蘭堂　（大槻玄沢）**　⇒**江戸**に設立された**蘭学塾**
☆**新元会〔おらんだ正月〕**を開催

く　**咸宜園　（広瀬淡窓）**　⇒**豊後国日田**に設立された**全国最大規模の私塾**

け　洗心洞　（大塩平八郎）　⇒大坂に設立された陽明学塾

こ　**適塾〔適々斎塾〕（緒方洪庵）**　⇒**大坂**に設立された**蘭学塾**
☆**福沢諭吉**・**橋本左内**・大村益次郎・佐野常民らが学ぶ。

さ　**鳴滝塾　（シーボルト）**　⇒**長崎**に設立された診療所兼**医学**・**洋学塾**
☆**高野長英**・小関三英・**伊東玄朴**らが学ぶ。

し　**松下村塾**（吉田松陰の叔父）⇒**長門国萩**に設立，**吉田松陰**が兵学・儒学等を教授。
☆**高杉晋作**・**久坂玄瑞**・**伊藤博文**・**山県有朋**・品川弥二郎・**前原一誠**らが学ぶ。

E　庶民教育

あ　**寺子屋**〔手習所〕

生産活動の向上と商業の発達を背景に，男女共に**読み**・**書き**・**算盤**を教える。

☆『庭訓往来』『六諭衍義大意』『女大学』などを教科書として使用。

☆幕府の文書支配主義の影響もあり，**当時の日本の初等教育は世界屈指の水準を誇った**。

〈 ***Note*** 〉

い　**心学舎**（しんがくしゃ）

享保期，**京都**の**石田梅岩**（いしだばいがん）が町人道徳として**心学**（しんがく）〔**石門心学**（せきもんしんがく）〕を唱え『**都鄙問答**（とひもんどう）』を著す。

☆弟子の**手島堵庵**（てしまとあん）（**京都**）やその弟子**中沢道二**（なかざわどうに）（**江戸**）が広める。

---

⑥思想の発達

A　政治・社会思想の発達

あ　17世紀後半～18世紀初め，儒学者による幕藩体制維持の方法論〔政治経済論＝**経世論**（けいせいろん）〕の展開

熊沢蕃山（くまざわばんざん）〔了介（りょうかい）〕（**陽明学**），**荻生徂徠**（**古学**）⇒武士帰農論

太宰春台（だざいしゅんだい）（**古学**）⇒商業藩営論

い　18世紀半ば～，幕藩体制批判思想の出現

『**自然真営道**（しぜんしんえいどう）』『統道真伝（とうどうしんでん）』（**安藤昌益**（あんどうしょうえき）⇒陸奥国八戸（はちのへ）の医師）

☆“万人直耕（ばんにんちょっこう）の自然世（しぜんせい）”を理想とする。

う　19世紀～，経世論の発達

『**稽古談**（けいこだん）』『経済談』　（**海保青陵**（かいほせいりょう））　⇒藩重商主義

『**西域物語**（せいいきものがたり）』『**経世秘策**（けいせいひさく）』　（**本多利明**（ほんだとしあき））　⇒開国貿易論・属島開発論

『**経済要録**』『**農政本論**』『宇内混同秘策（うだいこんどうひさく）』（**佐藤信淵**（のぶひろ））⇒海外経略論・産業国営化

B　**尊王思想**（そんのう）の発達

当時の尊王思想は一般に幕府を否定するものではなく，朝廷を尊ぶことにより幕府の権威を護（まも）ろうとするものが多かった。

あ　尊王思想の発生

水戸藩の前期水戸学，山崎闇斎（あんさい）（朱子学者〔南学（なんがく）〕）の垂加（すいか）神道

い　**尊王事件**の発生

宝暦事件（ほうれき）（1758年，**竹内式部**（たけのうちしきぶ））⇒**京都**

明和事件（めいわ）（1767年，**山県大弐**（やまがただいに））⇒**江戸**☆山県大弐は『**柳子新論**（りゅうししんろん）』の著者

う　尊王論の普及⇒尊王思想家の登場

高山彦九郎，蒲生君平（がもうくんぺい）（『山陵志（さんりょうし）』の著者），**頼山陽**（らいさんよう）（『**日本外史**（にほんがいし）』の著者）など

〈 ***Note*** 〉

え　尊王攘夷運動（幕末）への影響

平田篤胤の復古神道

水戸藩主徳川斉昭のもとでの後期水戸学

☆藤田幽谷，藤田東湖（『弘道館記述義』の著者），会沢正志斎〔安〕（『新論』の著者）

吉田松陰の松下村塾

C　哲学的思想の登場

三浦梅園が『玄語』で宇宙論・自然哲学を説き，“条理学”を唱える。

---

⑦化政美術

A　浮世絵⇒江戸中心

あ『弾琴美人』『ささやき』（鈴木春信）⇒1765年，多色刷の錦絵を創始

い『婦女人相十品』『高名三美人』（喜多川歌麿）⇒美人絵の名手

う『市川鰕蔵』『大谷鬼次』（東洲斎写楽）⇒役者絵・相撲絵の名手

え『富嶽三十六景』（葛飾北斎）

お『東海道五十三次』『名所江戸百景』（歌川〔安藤〕広重）

☆開国後，北斎・広重らはマネ・ゴッホなどフランス印象派のジャポニズム〔日本趣味〕に多大な影響を与えた。

B　写生画⇒京都中心

あ『群鶏図襖』（伊藤若冲）

い『雪松図屏風』『保津川図屏風』（円山応挙）⇒円山派の祖，遠近法を採用

う『柳鷺群禽図屏風』（呉春〔松村月溪〕）⇒円山派から独立した，四条派の祖。

C　文人画⇒中国の南画の影響を受けた，文人・学者などが余技として描いたもの。『十便十宜図』（池大雅・蕪村ら）

☆各地を遊歴した浦上玉堂，江戸の谷文晁とその弟子渡辺崋山（『鷹見泉石像』『一掃百態』），豊後国の田能村竹田も著名な文人画家。

D　西洋画

あ『西洋婦人図』（平賀源内）

い『不忍池図』『三囲景図』（司馬江漢）⇒腐食銅版画〔エッチング〕を再興

う『浅間山図屏風』（亜欧堂田善）

〈 ***Note*** 〉

⑧生活と信仰

A　三都・城下町の娯楽

芝居(しばい)小屋，勧進(かんじん)相撲，見世物(みせもの)小屋，寄席(よせ)，銭湯(せんとう)〔湯屋(ゆや)〕，髪結床(かみゆいどこ)，遊郭(ゆうかく)，岡場所(おかばしょ)，瓦版(かわらばん)〔よみうり〕など。

B　農村・在郷町の娯楽

村芝居〔地芝居〕，猿廻し，獅子舞，万歳(まんざい)，瞽女(ごぜ)や座頭(ざとう)の歌など。

C　寺社参詣(さんけい)の流行

あ　寺社の世俗化

縁日(えんにち)，開帳(かいちょう)・出開帳(でがいちょう)，富突(とみつき)〔富くじ〕など。

い　旅の流行

湯治(とうじ)・物見遊山(ものみゆさん)・寺社参詣など。

☆『菅江真澄遊覧記(すがえますみゆうらんき)』（菅江真澄）

う　寺社参詣

伊勢神宮（伊勢国，内宮(ないくう)・外宮(げくう)への御蔭参り(おかげまいり)），善光寺（信濃国），金比羅宮(こんぴらぐう)〔金刀比羅宮(ことひらぐう)〕（讃岐国），成田不動（下総国）など。

え　巡礼(じゅんれい)

四国八十八カ所（弘法大師信仰），西国(さいごく)三十三カ所・坂東(ばんどう)三十三ヵ所・秩父(ちちぶ)三十四ヵ所（観音(かんのん)信仰）など。

D　民衆宗教の発生

あ　黒住教(くろずみきょう)（文化期，黒住宗忠(くろずみむねただ)　〔備前国〕）

い　天理教(てんりきょう)（天保期，中山みき　〔大和国〕）

う　金光教(こんこうきょう)（安政期，川手文治郎(かわでぶんじろう)〔備中国〕）

E　民間行事

あ　五節句(ごせっく)（人日(じんじつ)・上巳(じょうし)・端午(たんご)・七夕(たなばた)・重陽(ちょうよう)），彼岸会(ひがんえ)，盂蘭盆会(うらぼんえ)など。

い　日待(ひまち)・月待(つきまち)・庚申講(こうしんこう)・富士講など。

〈 ***Note*** 〉

第９講　文化史確認テスト

1　黄表紙の恋川春町と洒落本の山東京伝を弾圧した改革とは？

①正徳の治　②享保の改革　③寛政の改革　④天保の改革

2　天保の改革で弾圧された，為永春水の人情本の代表作とは？

①江戸生艶気樺焼　②金々先生栄花夢
③偐紫田舎源氏　④春色梅児誉美

3　随筆『北越雪譜』を著した，越後国塩沢の豪農とは？

①上田秋成　②鈴木牧之　③佐藤信淵　④菅江真澄

4　（二世）竹田出雲の書いた脚本ではないものを一つ選べ。

①仮名手本忠臣蔵　②菅原伝授手習鑑　③義経千本桜　④本朝廿四孝

5　古今調の桂園派の祖とされる歌人とは？

①賀茂真淵　②田安宗武　③良寛　④香川景樹

6　国学者本居宣長の著作ではないものを一つ選べ。

①万葉考　②古事記伝　③秘本玉くしげ　④玉勝間

7　国学者平田篤胤が唱えた神道とは？

①伊勢神道　②唯一神道〔吉田神道〕　③垂加神道　④復古神道

8　大槻玄沢が著した蘭学の入門書とは？

①蘭学事始　②蘭学階梯　③西説内科撰要　④ハルマ和解

9　島津重豪が設立した，薩摩藩の藩校〔藩学〕とは？

①明倫館　②造士館　③日新館　④弘道館

10　大阪の懐徳堂で学び，無神論・無鬼論で有名な『夢の代』を著した町人学者とは？

①三宅石庵　②中井甃庵　③富永仲基　④山片蟠桃

11　折衷学者広瀬淡窓が豊後国日田に設立した，全国最大規模の私塾とは？

①古義堂　②芝蘭堂　③咸宜園　④適塾〔適々斎塾〕

12　シーボルトの鳴滝塾で高野長英や小関三英とともに学んだ，江戸に種痘館（のち種痘所）を設立する人物とは？

①中井竹山　②橋本左内　③伊東玄朴　④中沢道二

13　心学〔石門心学〕を唱えた京都の石田梅岩の著書とは？

①出定後語　②都鄙問答　③自然真営道　④稽古談

14　『富嶽三十六景』を描いた浮世絵師とは？

①鈴木春信　②喜多川歌麿　③葛飾北斎　④歌川広重

15　松平定信に仕えた絵師である亜欧堂田善の作品を一つ選べ。

①雪松図屛風　②鷹見泉石像　③西洋婦人図　④浅間山図屛風

解答

1　③	2　④	3　②	4　④	5　④
6　①	7　④	8　②	9　②	10　④
11　③	12　③	13　②	14　③	15　④

第 10 講　明治時代の文化①

1　明治文化の特色

①日本文化の伝統を継承しつつ，西洋の近代文化を積極的に受け入れ，独特の新しい文化を築きあげる。

☆生活様式・思想など**東洋風と西洋風が混在**。

②当初は政府の強力な指導・育成の下（もと）に発展。

☆教育の普及・交通や通信の発達など。

③科学的精神の重要性が高まる。

☆不十分ではあったが，学問・文学・芸術などが政治・道徳・宗教から独立し発展。

④西洋近代文化の受容・発展が急速であったため，上辺（うわべ）だけのものに陥（おちい）りがち。

〈 ***Note*** 〉

２　明治時代の思想

①西洋思想の流入（明治10年代まで）

明六社（めいろくしゃ）の結成（1873年）⇒「**明六雑誌**」（1874年～ 75年）

☆**森有礼**（ありのり）**（薩摩藩出身，のち初代文部大臣）**を社長に，**加藤弘之**（ひろゆき）・**西周**（あまね）・津田真道（まみち）・西村茂樹（しげき）・箕作麟祥（みつくりりんしょう）（日本における“法律の元祖”）・**福沢諭吉**（ゆきち）・**中村正直**（まさなお）ら

A　**ドイツ流国家主義⇒**保守的**国権論**

あ　**加藤弘之**（ひろゆき）

『国体新論』『真政大意』で天賦人権思想を主張，のちスペンサー（英）の社会進化論の影響を受け**『人権新説』で国権論へ変説**。東京大学初代総裁。

い　**西周**（あまね）

1862年，文久の改革でオランダに留学し，帰国後に『万国公法』を翻訳。

初めて西洋哲学を紹介。また，『軍人訓戒（くんかい）』に続き**『軍人勅諭（ちょくゆ）』**を起草（きそう）。

う　津田真道（まみち）

文久の改革でオランダに留学し，帰国後初の西洋法学書『泰西国法論（たいせい）』を翻訳。

え　西村茂樹（しげき）

皇室中心の国民道徳の確立に尽力（じんりょく）し『日本道徳論』を著す。

B　**イギリス流功利（こうり）主義⇒**漸進（ぜんしん）的**民権論（立憲改進党系）**

あ　**福沢諭吉**（ゆきち）

『学問のすゝめ』『西洋事情』『文明論之概略（ぶんめいろんのがいりゃく）』『福翁（ふくおう）自伝』

☆のち新聞「時事新報」で脱亜論を発表（1885年），国権論を唱える。

い　**中村正直**（まさなお）

『西国立志編（さいごくりっしへん）』（スマイルズ『自助論（セルフヘルプ）』の翻訳（ほんやく）），**『自由之理（じゆうのことわり）』**（ミル『自由論（オン=リバティ）』の翻訳）

〈***Note***〉

C　フランス流自由主義⇒急進的民権論（自由党系）

あ　中江兆民（なかえちょうみん）⇒“東洋のルソー”

『民約訳解』（ルソー「社会契約論」の翻訳）『三酔人経綸問答（さんすいじんけいりんもんどう）』『一年有半（ゆうはん）』

い　植木枝盛（えもり）

『民権自由論』『天賦人権弁』

う　馬場辰猪（たつい）

『天賦人権論』

え　大井憲太郎〔馬城台次郎（ばじょうだいじろう）〕

加藤弘之と“民撰議院論争”を展開。のち朝鮮渡航をはかり大阪事件（1885年）を起こすなど，国権論を唱える。

---

②国家主義思想の台頭（明治20年代～）

日清戦争勝利の自信と三国干渉への憤激が，対外膨張（ぼうちょう）の国家主義へと向かわせた。

A　平民主義〔平民的欧化主義〕⇔政府による貴族的欧化主義

徳富蘇峰（とくとみそほう）らの民友社（みんゆうしゃ）

☆雑誌「国民之友（こくみんのとも）」，新聞「国民新聞」

☆徳富蘇峰は『新日本之青年』『将来之日本』の後，『大日本膨張論（ぼうちょう）』で国家主義に変節。『近世日本国民史』をライフワークとした。

B　国粋（こくすい）主義〔国粋保存主義〕

三宅雪嶺（せつれい），志賀重昂（しげたか），杉浦重剛（じゅうごう）らの政教社

☆雑誌「日本人」（のち「日本及（および）日本人」）

☆三宅雪嶺は『真善美日本人』，志賀重昂は『日本風景論』『南洋時事』の著者。

C　国民主義

陸羯南（くがかつなん）ら

☆新聞「日本」

D　日本主義

高山樗牛（ちょぎゅう）・井上哲次郎らが，博文館の総合雑誌「太陽」誌上などで展開。

☆高山樗牛は歴史小説『滝口入道（たきぐちにゅうどう）』の著者。

〈***Note***〉

③反国家主義思想の成長（明治30年代～）

A　国家主義思想の低迷

国家目標の実現〔日露戦争の勝利〕≠生活の向上という実感。

☆第一高等学校生藤村操（みさお）の投身自殺（1903年，華厳（けごん）の滝）など，煩悶（はんもん）する青年を生み出す。

☆地方・個人の利益追求の風潮が高まり，第２次桂太郎内閣は**戊申詔書（ぼしんしょうしょ）**（1908年）や**地方改良運動**（1909年～）により国家主義を強調。

B　**社会主義**思想の成長

安部磯雄・片山潜（せん）（右派）や，**堺利彦（としひこ）・幸徳秋水（こうとくしゅうすい）**（左派）ら。

C　**社会運動**の発生

労働争議・小作争議などの増加

〈 ***Note*** 〉

３　明治時代の教育

①教育制度の整備

A　文部省（もんぶしょう）の設置（1871年）

初代文部卿（きょう）に大木喬任（たかとう）（肥前藩出身）が就任。

B　学制　（1872年，文部卿＝大木喬任）

同時に出された「学事奨励に関する太政官布告〔被仰出書（おおせいだされしょ）〕」で理念を表明。

あ　フランス流教育制度を採用

い　中央集権的な全国画一（かくいつ）主義の学校体系を確立。初等教育に重点を置き，義務教育の方針を発表，国民皆学（かいがく）を目指す。

☆全国を８大学区に分け，各大学区に大学校１と中学校32を設置。各中学区に小学校210を設置。

う　強引な実施や過大な経済負担，教育内容の不満などもあり，各地で学制反対一揆が発生した。

C　東京師範（しはん）学校・東京女学校（1872年），東京女子師範学校（1874年），東京大学（1877年）の開設。

D　教育令（1879年，文部卿＝寺島宗則）

この年，元田永孚（もとだながざね）起草の『教学大旨（きょうがくたいし）』も出される。

あ　アメリカ流教育制度を採用。義務教育は４年のうち16カ月。

い　地方の実情に合わせ，小学校の設立は町や村の自由裁量とする。

う　小学校を閉鎖（へいさ）・廃止する町村が続出。“自由教育令”と各方面から非難される。

E　改正教育令（1880年）

あ　再び中央集権的な教育制度を採用，ドイツ流の国家主義的教育を目指す。義務教育は３年のうち16週間。

い　修身（しゅうしん）を筆頭科目とし，国家の基準を明示，教育統制を強化。

〈 ***Note*** 〉

F　私立学校の設立

1868年	慶應義塾（けいおうぎじゅく）	（福沢諭吉）	のち慶應義塾大学
1875年	同志社（どうししゃ）英学校	（新島襄（にいじまじょう））	のち同志社大学
1877年	学習院		のち学習院大学
1880年	東京法学社		のち法政大学
1881年	明治法律学校	（岸本辰雄（たつお）ら）	のち明治大学
1882年	東京専門学校	（大隈重信）	のち早稲田大学
1885年	英吉利（イギリス）法律学校		のち中央大学
1886年	関西法律学校		のち関西大学
1887年	哲学館	（井上円了（えんりょう））	のち東洋大学
1889年	日本法律学校	（山田顕義（あきよし））	のち日本大学
1900年	女子英学塾	（津田梅子）	のち津田塾大学
	東京女医学校	（吉岡弥生（やよい））	のち東京女子医科大学
1901年	日本女子大学校	（成瀬仁蔵（なるせじんぞう））	のち日本女子大学

〈 ***Note*** 〉

②国家主義教育の強化（学校教育制度の確立）

A　学校令（1886年，文部大臣＝森有礼（ありのり））

あ　ドイツ流国家主義的教育制度

い　帝国大学令・中学校令・小学校令（1890年に改正）・師範（しはん）学校令の総称。

う　義務教育期間を尋常（じんじょう）小学校の４年間とし，教科書は検定制とする。

B　教育勅語（ちょくご）〔教育ニ関スル勅語〕（1890年，元田永孚（ながさね）・井上毅（こわし）が起草（きそう））

「忠君（ちゅうくん）愛国」「忠孝一致」を強調した国家主義的教育理念，儒教的道徳思想。

☆翌1891年，第一高等学校で内村鑑三不敬（ふけい）事件が起こる。

C　高等学校令（1894年），実業学校令・高等女学校令・私立学校令（1899年）

D　小学校令再改正（1900年）

市町村に小学校設置義務を課し，４年間の義務教育を無償化。

☆とくに女子の就学率が大幅に伸張，1902年には就学率92％を超える。

E　教科書疑獄事件　（1902年）

小学校教科書の採用をめぐる贈収賄（ぞうしゅうわい）事件。

F　国定（こくてい）教科書　　　（1903年）

小学校の教科書が，自由採択制⇒開申（かいしん）制⇒認可制⇒検定制を経て，国定制となる。

G　専門学校令　　　（1903年）

中学・高等女学校卒業を入学資格とする，修業年限３年以上の高等教育機関。

H　小学校令再々改正（1907年）

義務教育期間を６年に延長，就学率は1911年に98％を超える。

I　南北朝正閏（せいじゅん）問題　（1911年）

“南北朝”を並立と記述した，文部省の喜田貞吉（きたさだきち）が免官となる。

☆以後“南北朝”は“吉野朝”と記述され，北朝の天皇は削除された。

〈 ***Note*** 〉

４　明治時代の学問

①明治期の来日外国人（外国人教師〔御雇（おやとい）外国人〕など）

A　法学

あ　ボアソナード（仏）　刑法・民法など諸法典の編纂

い　ロエスレル　（独）　憲法起草の助言

う　モッセ　（独）　地方制度の助言，憲法起草の助言

B　宗教（プロテスタント）

あ　ヘボン　（米）　伝道・語学・医療⇒明治学院，『和英語林（ごりん）集成』

い　フルベッキ　（米）　伝道・語学・政府顧問

う　ブラウン　（米）　伝道・語学

え　ジェーンズ　（米）　伝道・語学⇒熊本洋学校

C　教育

あ　クラーク　（米）　札幌農学校

い　マレー　（米）　女子教育・政府顧問

D　哲学

あ　ケーベル　（露）　ドイツ哲学⇒西洋的教養の紹介

い　フェノロサ　（米）　哲学，日本美術の再評価

E　歴史

リース　（独）　西洋史⇒実証主義歴史学の紹介

F　文学

ハーン　（英）　小説　⇒日本名は小泉八雲（やくも），『怪談』など

G　理科

あ　グリフィス　（米）　化学

い　モース　（米）　動物学・考古学⇒進化論の紹介，大森貝塚の発見

う　ナウマン　（独）　地質学⇒フォッサマグナの指摘

え　ミルン　（英）　地震学

H　医学

あ　ホフマン　（独）　医学

い　ベルツ　（独）　医学　⇒内科学，『ベルツの日記』を著す

う　スクリバ　（独）　医学　⇒外科学

I　産業

あ　ケプロン　（米）　北海道の開拓

い　ダイアー　（英）　工学　⇒工部大学校

〈 ***Note*** 〉

Ｊ　美術

あ　ラグーザ　（伊）　彫刻　⇒工部美術学校で彫刻を教授

い　フォンタネージ（伊）　洋画　⇒工部美術学校で洋画を教授

う　キヨソネ　（伊）　銅版画⇒大蔵省で紙幣・切手の原版を製作

え　ワーグマン　（英）　洋画　⇒「絵入（えいり）ロンドン＝ニューズ」特派員として来日，「ジャパン＝パンチ」を刊行。

お　ビゴー　（仏）　風刺画⇒漫画雑誌「トバエ」に風刺画を掲載

Ｋ　建築

コンドル　（英）　建築　⇒工部大学校に招かれ，鹿鳴館・ニコライ堂・旧岩崎（いわさき）邸などを設計。

〈 ***Note*** 〉

②明治期の自然科学

A　医学

あ　北里柴三郎（きたざとしばさぶろう）⇒ドイツに留学，コッホに学ぶ

☆破傷風菌（はしょうふうきん）の純粋培養（じゅんすいばいよう）に成功，ペスト菌を発見。伝染病研究所の初代所長，のち北里研究所を設立。

い　志賀潔（しがきよし）　⇒伝染病研究所で学び，ドイツに留学。

☆赤痢菌（せきりきん）の発見

B　薬学

あ　高峰譲吉（たかみねじょうきち）

☆アドレナリン（強心薬）の発見，タカジアスターゼ（消化薬）の創製

い　鈴木梅太郎

☆米ぬかから，オリザニン〔ビタミンB_1〕を発見。

う　秦佐八郎（はたさはちろう）⇒伝染病研究所で学び，ドイツに留学

☆サルバルサンの発見

C　地震学

大森房吉（ふさきち）⇒ミルンに学ぶ

☆大森式地震計の発明

D　天文学

木村栄（ひさし）

☆緯度変化公式のZ項（ゼットこう）を発見

E　物理学

あ　長岡半太郎

☆原子構造の研究

い　田中館愛橘（たなかだてあいきつ）

☆地磁気の測定，ローマ字・メートル法の普及にも寄与

F　応用化学

下瀬雅允（しもせまさちか）

☆下瀬火薬の発明

G　植物学

牧野富太郎（とみたろう）

☆独学で植物の分類法を発見

H　数学

菊池大麓（だいろく）

☆近代数学の導入

〈 ***Note*** 〉

③明治期の人文・社会科学

A　哲学

西周（あまね）・井上哲次郎ら

B　日本文学

芳賀矢一（はがやいち）（文献学）・藤岡作太郎（さくたろう）（文学史）ら

C　**日本史学**

東京帝国大学に**史料編纂掛**（がかり）が設置され，『**大日本史料**』や『大日本古文書』（こもんじょ）を編纂。

あ　**田口卯吉**（たぐちうきち）⇒「東京経済雑誌」を創刊するなど，経済学者としても活躍。

☆ギゾー（仏）やバックル（英）らの文明史観（＝文明発展の法則性を指摘）の影響を受け，『**日本開化小史**』を著す。

い　**久米邦武**（くにたけ）⇒岩倉遣外使節団に同行，「特命全権大使米欧回覧実記」を編集。

☆論文「**神道は祭天の古俗**（こぞく）」を発表，帝国大学を追われる（1891年～92年）。

D　東洋史学

那珂通世（なかみちよ）ら

E　法学

箕作麟祥（みつくりりんしょう）・**梅謙次郎**（うめけんじろう）・**穂積八束**（ほづみやつか）・穂積陳重（のぶしげ）ら

☆民法典論争後はドイツ法学が支配的となる。

F　経済学

イギリス経済学の導入⇒ドイツ流が主流に

〈 ***Note*** 〉

第 10 講　文化史確認テスト

1　1873年に結成された明六社の社長で，初代文部大臣となった人物は？

①森有礼　②加藤弘之　③中村正直　④中江兆民

2　福沢諭吉の著書でないものを一つ選べ。

①西洋事情　②文明論之概略　③学問のすゝめ　④西国立志編

3　1872年，全国画一的な学制を発布した初代文部卿とは？

①大木喬任　②江藤新平　③副島種臣　④大隈重信

4　幕末に来日したプロテスタントの宣教師で，初の和英辞書『和英語林集成』を編纂し，明治学院を創設したアメリカ人とは？

①ヘボン　②フルベッキ　③ブラウン　④ジェーンズ

5　民友社を設立し雑誌「国民之友」を発行，平民的欧化主義を唱えた人物とは？

①徳富蘇峰　②徳冨蘆花　③三宅雪嶺　④陸羯南

6　博文館の総合雑誌「太陽」誌上で日本主義を唱えた，『滝口入道』の著者とは？

①志賀重昂　②杉浦重剛　③高山樗牛　④井上哲次郎

7　密航したアメリカから帰国し，京都に同志社英学校を設立した人物は？

①中浜万次郎〔ジョン万次郎〕　②浜田彦蔵　③新島襄　④成瀬仁蔵

8　学校令が制定された年は？

①1879年　②1886年　③1890年　④1903年

9　教育勅語〔教育ニ関スル勅語〕を起草した元田永孚・井上毅の出身藩とは？
①薩摩藩　②長州藩　③越前藩　④熊本藩

10　1891年，不敬事件を起こした第一高等中学校嘱託教員であったキリスト教徒とは？

①植村正久　②海老名弾正　③内村鑑三　④新渡戸稲造

11　フォッサ＝マグナを指摘したドイツ人地質学者とは？

①リース　②ナウマン　③ベルツ　④メッケル

12　イギリス人ダイアー（工学）やコンドル（建築学）が招かれた官立学校とは？

①工部大学校　②工部美術学校　③東京美術学校　④熊本洋学校

13　伝染病研究所のちドイツで学び，赤痢菌を発見した学者とは？

①北里柴三郎　②志賀潔　③秦佐八郎　④高峰譲吉

14　原子構造の研究で有名な学者とは？

①鈴木梅太郎　②大森房吉　③長岡半太郎　④牧野富太郎

15　『日本開化小史』を著し，『東京経済雑誌』を創刊した学者とは？

①西周　②田口卯吉　③久米邦武　④喜田貞吉

解答

1	①	2	④	3	①	4	①	5	①
6	③	7	③	8	②	9	④	10	③
11	②	12	①	13	②	14	③	15	②

第 11 講　明治時代の文化②

5　明治時代の文学・ジャーナリズム

①戯作(げさく)文学（文明開化期，江戸文学の延長）

◇　仮名垣魯文(かながきろぶん)　『安愚楽鍋(あぐらなべ)』『西洋道中膝栗毛(ひざくりげ)』

---

②政治小説（明治10年代，自由民権運動宣伝のための小説）

A　矢野竜溪(やのりゅうけい)〔文雄(ふみお)〕『経国美談(けいこくびだん)』

B　東海散士(さんし)　『佳人之奇遇(かじんのきぐう)』

C　末広鉄腸(すえひろてっちょう)　『雪中梅(せっちゅうばい)』

---

③写実主義（明治20年前後，西欧リアリズムを移入）

A　坪内逍遙(つぼうちしょうよう)　評論「小説神髄(しんずい)」，小説『当世書生気質(とうせいしょせいかたぎ)』，戯曲『桐一葉(きりひとは)』

☆雑誌「早稲田文学」を創刊

B　二葉亭四迷(ふたばていしめい)　『浮雲』（未完），翻訳『あひびき』（ツルゲーネフ）

☆言文(げんぶん)一致運動

C　尾崎紅葉(おざきこうよう)　『金色夜叉(こんじきやしゃ)』（未完），『多情多恨(たじょうたこん)』

☆言文一致運動，山田美妙(びみょう)と硯友社(けんゆうしゃ)を結成し，初の文学雑誌「我楽多文庫(がらくたぶんこ)」を創刊。

D　山田美妙(やまだびみょう)　『夏木立(なつこだち)』『胡蝶(こちょう)』

---

④理想主義（明治20年代，東洋の伝統的理想を掲(かか)げる）

◇　幸田露伴(こうだろはん)　『五重塔』『風流仏(ふうりゅうぶつ)』

☆文語体

〈***Note***〉

⑤ロマン〔浪漫〕主義（日清戦争前後，封建道徳からの解放・自我や個性の尊重・感情の優位を主張）

A　森鷗外　『舞姫』，翻訳『即興詩人』（アンデルセン）
☆ドイツに留学した陸軍軍医

B　北村透谷　評論『内部生命論』『厭世詩家と女性』
☆雑誌「文学界」で活躍したキリスト教徒

C　樋口一葉　『にごりえ』『たけくらべ』
☆女流作家

D　泉鏡花　『高野聖』『婦系図』『歌行灯』
☆尾崎紅葉の弟子

---

⑥社会小説（日露戦争前後）

A　広津柳浪　『黒蜥蜴』

B　徳冨蘆花　『不如帰』『思出の記』，随筆『自然と人生』
☆徳富蘇峰の弟

C　木下尚江　『火の柱』
☆キリスト教徒でもある社会主義者

---

⑦自然主義（日露戦争前後，フランス・ロシア文学の影響を受け人間を客観的に描写，のち私小説化）

A　田山花袋　『蒲団』『田舎教師』

B　島崎藤村　『破戒』『夜明け前』
☆当初はロマン主義的作風

C　徳田秋声　『黴』『あらくれ』
☆尾崎紅葉の弟子

D　正宗白鳥　『何処へ』

E　国木田独歩　『武蔵野』『牛肉と馬鈴薯』
☆当初はロマン主義的作風

F　長塚節　『土』
☆正岡子規の弟子，アララギ派の歌人

〈***Note***〉

⑧反自然主義の各派（明治時代末期〜）

A　**高踏派**（対象から一歩離れ，時流にとらわれない**超然**とした立場をとる）

あ　**夏目漱石**　『**吾輩は猫である**』『**坊ちゃん**』『**草枕**』『三四郎』『それから』『門』『**こころ**』『明暗』（未完）

☆近代的自我“則天去私”を提唱

い　**森鷗外**　『青年』『**阿部一族**』『**山椒大夫**』『高瀬舟』『渋江抽斎』

☆反自然主義の雑誌「スバル」で指導的役割を果たし，のち歴史小説に移行。

☆近代的自我“諦念〔レジグナチオン〕”を提唱

B　**耽美派**（明治末期〜大正初期，退廃的・享楽的・官能的な美の創造を追求）

あ　**永井荷風**　『あめりか物語』『ふらんす物語』『腕くらべ』『濹東綺譚』

☆慶應義塾の教授に迎えられ，雑誌「三田文学」を創刊。

い　**谷崎潤一郎**　『**刺青**』『**痴人の愛**』

☆『細雪』など，戦後まで長く作家活動を続ける。

う　佐藤春夫　『田園の憂鬱』『都会の憂鬱』

C　**白樺派**（**人道主義**・理想主義・個人主義の立場から，自我の尊厳を主張）

雑誌「白樺」（1910年〜）⇒おもに大正時代

あ　**武者小路実篤**　『**友情**』『人間万歳』『お目出たき人』，戯曲『その妹』

☆宮崎県などに理想郷「新しき村」を設立

い　**志賀直哉**　『**暗夜行路**』『城の崎にて』『小僧の神様』

う　**有島武郎**　『**或る女**』『カインの末裔』『生れ出づる悩み』『小さきものへ』

え　里見弴　『多情仏心』

☆有島武郎の弟

お　倉田百三　戯曲『出家とその弟子』，評論集『愛と認識との出発』

か　**柳宗悦**　美術評論家，**民芸運動**

〈 ***Note*** 〉

⑨近代詩の確立

A	外山正一(とやままさかず)ら	『新体詩抄』
B	森鷗外	訳詩集『於母影(おもかげ)』
C	**島崎藤村**	**『若菜集』**
		☆ロマン主義
D	土井晩翠(どいばんすい)	『天地有情(うじょう)』
E	上田敏(びん)	訳詩集『海潮音(かいちょうおん)』
F	**北原白秋(きたはらはくしゅう)**	『邪宗門(じゃしゅうもん)』『思ひ出』
		☆ロマン主義

---

⑩近代短歌の確立

A	**与謝野晶子(よさのあきこ)**	**雑誌「明星(みょうじょう)」**，歌集『**みだれ髪**』
		☆ロマン主義，夫の**与謝野鉄幹(よさのてっかん)**と**新詩社(しんししゃ)**を設立。
B	**石川啄木(いしかわたくぼく)**	**歌集『一握の砂(いちあく)』**『悲しき玩具(がんぐ)』，詩集『呼子(よぶこ)と口笛』，評論「**時代閉塞の現状(じだいへいそく)(げんじょう)**」
		☆ロマン主義のち社会主義者
C	北原白秋	歌集『桐(きり)の花』
		☆ロマン主義
D	**正岡子規(まさおかしき)**	**歌論「歌よみに与ふる書」**，闘病記『**墨汁一滴(ぼくじゅういってき)**』『**病牀六尺(びょうしょうろくしゃく)**』
		☆根岸短歌会を主催，明星派に対し万葉集を尊重し“写生”を説く。
E	**伊藤左千夫(さちお)**	**短歌雑誌「アララギ」**を創刊
		☆正岡子規の門人，小説『野菊の墓』

---

⑪近代俳句の確立

◇	正岡子規	門人の**高浜虚子(たかはまきょし)**を中心に，**俳句雑誌「ホトトギス」**を創刊。

〈 ***Note*** 〉

⑫新聞・雑誌の登場

1851年　**本木昌造**（もときしょうぞう）が**鉛活字**（なまり）の量産に成功，以後，印刷技術が発展。

1862年　蕃書調所（ばんしょしらべしょ）による木（もく）活字**「官板（かんぱん）バタビヤ新聞」**

1870年　「横浜毎日新聞」⇒初の日刊邦字（ほうじ）新聞

1872年　「日新真事誌」 ⇒イギリス人ブラックが創刊した邦字新聞

　　　　「東京日日新聞」⇒のち福地源一郎が社長

　　　　「郵便報知新聞」

1874年　「朝野（ちょうや）新聞」

　　　　「読売新聞」⇒子安峻（こやすたかし）が創刊した小新聞（こしんぶん）の元祖

　　　　「明六雑誌」⇒明六社の機関紙

1875年　讒謗律（ざんぼうりつ）・新聞紙条例，出版条例改正⇒「明六雑誌」廃刊

1879年　「朝日新聞」

1880年　「雑誌」　　⇒東京キリスト教青年会〔ＹＭＣＡ〕の機関紙

1881年　「東洋自由新聞」 ⇒西園寺公望が社長，中江兆民が主筆

1882年　**「時事新報」（新聞）**⇒福沢諭吉ら

　　　　「自由新聞」

1885年　**「女学雑誌」**⇒巌本善治（いわもとよしはる）が編集した，初の本格的女性雑誌

1887年　「国民之友」（雑誌）⇒徳富蘇峰らの民友社

　　　　「トバエ」（雑誌）⇒フランス人ビゴーが創刊

1888年　「東雲（しののめ）新聞」⇒中江兆民ら

　　　　「日本人」（雑誌）⇒三宅雪嶺らの政教社

　　　　「東京朝日新聞」

　　　　「大阪毎日新聞」

1889年　「日本」（新聞）⇒陸羯南（くがかつなん）ら

　　　　「朝日新聞」を**「大阪朝日新聞」**と改称

1890年　「国民新聞」⇒徳富蘇峰らの民友社

1892年　「万朝報（よろずちょうほう）」（新聞）⇒黒岩涙香（くろいわるいこう）ら

1893年　「文学界」（雑誌）⇒ロマン主義

1895年　**「太陽」（総合雑誌）**⇒博文館が発行

　　　　「東洋経済新報」（雑誌）⇒のち石橋湛山（たんざん）が社長

1897年　「ホトトギス」（俳句雑誌）⇒正岡子規・高浜虚子ら

　　　　「労働世界」（労働組合雑誌）

1899年　**「中央公論」（総合雑誌）**⇒もと西本願寺系の「反省会雑誌」

1900年　「明星」⇒ロマン主義，与謝野鉄幹（よさのてっかん）・晶子（あきこ）夫妻の新詩社

〈 ***Note*** 〉

1903年　週刊「平民新聞」⇒幸徳秋水・堺利彦らの平民社

1907年　「世界婦人」（雑誌）⇒景山〔福田〕英子ら

1908年　「アララギ」（短歌雑誌）⇒伊藤左千夫（さちお）ら

1909年　「スバル」（雑誌）⇒反自然主義

新聞紙法の制定

1910年　「白樺」（雑誌）⇒武者小路実篤らの白樺派

1911年　**「青鞜（せいとう）」（女性雑誌）**⇒平塚雷鳥らの青鞜社

〈*Note*〉

6　明治時代の芸術

①美術・音楽学校，美術団体

A　**工部美術学校**（1876年～83年⇒官立学校）

御雇(おやとい)外国人として**ラグーザ・フォンタネージ**らイタリア人が招かれ，彫(ちょう)塑(そ)・西洋画を教授。

B　**東京美術学校（1887年⇒官立学校）**

岡倉天心〔覚三(かくぞう)〕・**フェノロサ**が設立。日本画・木彫(もくちょう)に重点を置きつつ，のち西洋画・彫塑なども指導。

☆岡倉天心は『東洋の理想』『日本の覚醒(かくせい)』『**茶の本**』などを英文で著す。

C　**東京音楽学校（1887年⇒官立学校）**

文部省の音楽取調掛(おんがくとりしらべがかり)であった伊沢修二(いさわしゅうじ)が初代校長となり，**滝廉太郎**(たきれんたろう)らを輩出。

D　**明治美術会**　（1889年）⇒イタリア系の“脂派(やには)”

浅井忠(あさいちゅう)・小山正太郎(こやましょうたろう)らが結成した，**わが国初の西洋系美術団体**。

☆のち解散，太平洋画会となる（1902年，満谷国四郎(みつたにくにしろう)ら）

E　**白馬会**(はくばかい)　（1896年）⇒フランス系の“外光派(がいこうは)〔紫派(むらさきは)〕”

黒田清輝(くろだせいき)・久米桂一郎(くめけいいちろう)らが明治美術会から脱会して結成した美術団体。

F　**日本美術院**　（1898年）

東京美術学校校長を退任し岡倉天心が設立した，日本画中心の美術団体。のち経営難により活動停止となる。

☆岡倉天心の死後，横山大観らが再興。**日本美術院展覧会〔院展〕**を開催。

---

②美術展覧会

文部省美術展覧会〔文展〕（1907年）

☆第一次西園寺公望内閣の文部大臣**牧野伸顕**(まきののぶあき)が創始。日本の伝統芸術と西洋美術との共栄をはかる。

〈***Note***〉

③代表的日本画家

A　狩野芳崖（かのうほうがい）　『悲母観音（ひぼかんのん）』

☆東京美術学校設立に尽力するが，開校直前に死去。

B　橋本雅邦（がほう）　『竜虎図（りゅうこず）』

☆岡倉天心とともに東京美術学校・日本美術院を設立。

C　横山大観（たいかん）　『無我』『屈原（くつげん）』『霊峰不二（れいほうふじ）』『生々流転（せいせいるてん）』

D　菱田春草（ひしだしゅんそう）　『黒き猫』『落葉（らくよう）』

E　下村観山（かんざん）　『大原御幸（ごこう）』『木（こ）の間（ま）の秋（あき）』

F　竹内栖鳳（せいほう）　『班猫（はんびょう）』『アレタ立（ゆうだち）に』

☆京都画壇（がだん）を牽引（けんいん）

---

④代表的西洋画家

A　高橋由一（ゆいち）　『鮭』

☆ワーグマン（英）に学ぶ

B　浅井忠（ちゅう）　『収穫』『グレーの秋』

☆工部美術学校でフォンタネージ（伊）に学ぶ

C　黒田清輝（せいき）　『読書』『湖畔（こはん）』

D　和田英作　『渡頭（ととう）の夕暮（ゆうぐれ）』

E　赤松麟作（りんさく）　『夜汽車（よぎしゃ）』

F　藤島武二　『天平（てんぴょう）の面影（おもかげ）』

G　青木繁（しげる）　『海の幸（さち）』

H　和田三造（さんぞう）　『南風（なんぷう）』

---

⑤代表的彫刻家

A　高村光雲（こううん）　『老猿（ろうえん）』『西郷隆盛像』

B　竹内久一（きゅういち）　『伎芸天像（ぎげいてん）』

C　荻原守衛（おぎわらもりえ）　『女』

☆ロダンの影響

D　新海竹太郎（しんかいたけたろう）　『ゆあみ』

E　朝倉文夫（あさくらふみお）　『墓守（はかもり）』

〈 ***Note*** 〉

⑥代表的建築家

A　**コンドル**　『**鹿鳴館**』（現存せず）「**ニコライ堂**」「岩崎邸」⇒**イギリス人**
☆工部大学校で辰野金吾・片山東熊を指導

B　**辰野金吾**　『**日本銀行本店**』『**東京駅**』

C　**片山東熊**　『**旧赤坂離宮**〔現在の迎賓館〕』『京都帝室博物館』『奈良帝室博物館』

---

⑦音楽

A　**伊沢修二**　文部省の音楽取調掛を発展させ，**東京音楽学校**を設立（1887年）。**唱歌**教育を開始。

B　**滝廉太郎**　『荒城の月』『箱根八里』『花』
☆東京音楽学校出身，のちドイツに留学。

〈 ***Note*** 〉

7　明治時代の演劇

①歌舞伎〔旧派・旧劇〕⇒政府の欧化主義政策に対応し，演劇改良運動が起こる。

A　脚本家

幕末から続く**河竹黙阿弥**の活躍⇒**散切物**・**活歴物**

☆のち福地桜痴〔源一郎〕が**歌舞伎座**を設立。

B　俳優

団・菊・左時代⇒明治中期の歌舞伎黄金時代

☆**９代市川団十郎・５代尾上菊五郎・初代市川左団次**

---

②新派劇

川上音二郎らが自由民権運動宣伝の壮士芝居に影響を受け，素人による書生芝居や**オッペケペー節**を演じる。

☆日清戦争前後，大衆的な現代劇へと変化。

---

③新劇（明治後期～）

西洋近代劇の影響を強く受ける。1911年，初の純洋風劇場として**帝国劇場**も設立。

A　**文芸協会**（1906年）

坪内逍遙・島村抱月ら

☆**松井須磨子**がシェークスピア『ハムレット』のオフェリア，イプセン『人形の家』のノラなどを好演。

B　**自由劇場**（1909年）

小山内薫・２代市川左団次ら

〈 ***Note*** 〉

8　明治時代の宗教界

①**神道**(しんとう)（**祭祀**(さいし)を**担**(にな)う超宗教）

A　国家が保護，天皇の神格化・絶対化に利用⇒**国家神道**

B　三重県の**伊勢神宮**を頂点とする国家的神社制度

あ　全国の神社を**官社**・**諸社**に大別(たいべつ)，さらに官社を官幣社(かんぺいしゃ)・国幣社(こくへいしゃ)に大別。

☆東京府の**靖国神社**(やすくに)（もと招魂社(しょうこんしゃ)）は別格官幣社とされる。

い　皇室行事を中心に祝祭日(しゅくさいじつ)を設定

☆**紀元節**（２月11日＝神武(じんむ)天皇即位の日），**天長節**(てんちょうせつ)（11月３日＝明治天皇の誕生日）など。

C　**神道国教化の挫折**(ざせつ)

1868年　五榜(ごぼう)の掲示(けいじ)による切支丹邪宗門(キリシタンじゃしゅうもん)の禁止

☆**浦上教徒弾圧事件**(うらがみ)〔**浦上崩れ**(くず)〕（1868年～73年，長崎県）政体書による**神祇官**(じんぎかん)の再興(さいこう)

神仏分離令〔神仏判然令(はんぜん)〕

☆従来の神仏習合を否定，**廃仏毀釈**(はいぶつきしゃく)の嵐が吹き荒れる。

1869年　版籍奉還後，神祇官が太政官と並立・上位とされる。

宣教使の設置

1870年　**大教宣布の詔**(だいきょうせんぷ の みことのり)

☆神道国教化をめざし宣教使に布教を命じるが，仏教側の抵抗により失敗に終わる。

1871年　廃藩置県後，神祇官を**神祇省**に格下げ

1872年　神祇省を**教部省**(きょうぶしょう)と改称

1873年　**キリスト教信仰を黙認**(しんこう)(もくにん)

1877年　**教部省，内務省に合併される**

☆国民の教化をあきらめ，祭祀と宗教を分離し国家神道を確立。

1889年　**大日本帝国憲法発布**

☆**法律の範囲内で，臣民の信教の自由が認められる。**

〈 ***Note*** 〉

②教派神道（政府公認の神道系の新宗教13派）

江戸時代後期～末期に創始された**黒住宗忠**（くろずみむねただ）**の黒住教（岡山県），中山みきの天理教（奈良県），川手文治郎**（かわでぶんじろう）**の金光教（岡山県）**などを順次公認。

---

③その他

出口なお，その娘婿（むすめむこ）出口王仁三郎（おにさぶろう）の大本（おおもと）教（京都府）など。

---

④仏教

浄土真宗の**島地黙雷**（しまじもくらい）や井上円了・清沢満之（きよざわまんし）の活躍で，**廃仏毀釈**（はいぶつきしゃく）**による打撃から復興。**

〈 ***Note*** 〉

9　明治時代の生活文化

都市部を中心に生活文化の西洋化「**文明開化**」が起こり，旧暦〔太陰太陽暦〕を廃し**太陽暦**を採用。１日24時間・週７日・日曜休日制・祝祭日なども採用され，断髪令・廃刀令も出され，封建的な習俗も廃止となった。

☆西洋化が進む反面，伝統文化軽視の風潮が広まり，民族的文化遺産の破壊や文化財の安売りが行われた。

①衣

洋服・帽子・靴の着用開始，こうもり傘の使用など。

☆女性は和服が主体

---

②食

都市部を中心に洋風化。**牛鍋**・ビール・コーヒー・ミルクなど。

---

③住

公共建築物には西洋建築を採用したが，民家はほとんどが和風。

☆文明開化期には，東京府の銀座に煉瓦街も登場。

---

④施設

A　照明

ガス灯から電灯へ

☆家庭では（石油）ランプを使用

B　交通手段

人力車・乗合馬車・自転車⇒**蒸気機関車**・鉄道馬車⇒路面電車〔市街電車〕（1895年，京都）の登場。

C　その他

活動写真の登場（19世紀末）

☆当初は無声映画〔サイレント〕

〈 ***Note*** 〉

第 11 講　文化史確認テスト

1　評論『小説神髄』を著し，雑誌「早稲田文学」を創刊した人物とは？

①仮名垣魯文　②東海散士　③坪内逍遥　④小山内薫

2　尾崎紅葉が山田美妙とともに結成した，初の文学団体とは？

①明六社　②硯友社　③民友社　④政教社

3　理想主義を掲げ，文語体で『五重塔』『風流仏』を表した人物とは？

①二葉亭四迷　②幸田露伴　③泉鏡花　④徳冨蘆花

4　田山花袋・島崎藤村・正宗白鳥・長塚節らは以下うちのどれに属する作家か？

①ロマン〔浪漫〕主義　②自然主義　③人道主義　④プロレタリア文学

5　もとロマン主義，のち歴史小説に移行した陸軍軍医とは誰か？

①北村透谷　②森鷗外　③永井荷風　④有島武郎

6　耽美派の谷崎潤一郎の作品でないものを一つ選べ。

①腕くらべ　②刺青　③痴人の愛　④細雪

7　1887 年，岡倉天心〔覚三〕が初代校長となった官立学校とは？

①工部美術学校　②東京美術学校　③東京音楽学校　④日本美術院

8　イタリア人フォンタネージに師事した浅井忠らが結成した，初の西洋系美術団体とは？

①明治美術会　②白馬会　③太平洋画会　④春陽会

9　日本画家横山大観の作品でないものを一つ選べ。

①無我　②屈原　③生々流転　④大原御幸

10　高村光雲の彫刻作品を一つ選べ。

①老猿　②伎芸天像　③ゆあみ　④墓守

11　『日本銀行本店』や『東京駅』を設計した建築家とは？

①コンドル　②辰野金吾　③片山東熊　④ライト

12　坪内逍遥が弟子の島村抱月と設立した文芸協会の看板女優とは？

①川上貞奴　②与謝野晶子　③松井須磨子　④三浦〔柴田〕環

13　明治政府公認の神道系新宗教13派を何というか？

①復古神道　②神社神道　③国家神道　④教派神道

14　明治初期，和泉要助が発明した交通手段とは？

①人力車　②自転車　③鉄道馬車　④市街電車

解答

1　③	2　②	3　②	4　②	5　②
6　①	7　②	8　①	9　④	10　①
11　②	12　③	13　④	14　①	

第 12 講　大正・昭和初期の文化／戦中・戦後の文化

《大正・昭和初期の文化》

1　大正・昭和初期の文化の特色

近代的自我の発見と**文化の大衆化**⇒文化の国民的普及＋都市化

☆背景として，義務教育の徹底と民衆の政治的意識の高まりがあげられる。

2　思想界の多様化

①大正デモクラシーの思想

A　**吉野作造**の**民本主義**

B　**美濃部達吉**（みのべ）の国家法人説にもとづく**天皇機関説**

---

②社会主義思想の研究

A　**森戸辰男**（もりとたつお）（東大助教授）

論文『**クロポトキンの社会思想の研究**』で東大を追われ，大原社会問題研究所に参加（1920年，**森戸事件**）。

B　**河上肇**（はじめ）（京大教授）

マルクス主義経済学を研究。『**貧乏物語**』（大阪朝日新聞に連載）『自叙伝』など。

C　高畠素之（たかばたけもとゆき）

わが国で初めてマルクス『資本論』を翻訳（ほんやく）。

D　**野呂栄太郎**（えいたろう）

岩波書店「**日本資本主義発達史講座**」を企画。1930年代に日本資本主義論争を展開した，**講座派**の中心人物。

E　猪俣津南雄（いのまたつなお）

山川均（ひとし）らと雑誌「労農」を創刊。1930年代に日本資本主義論争を展開した，**労農派**の中心人物。

---

③超国家主義思想〔ウルトラ・ナショナリズム〕

猶存社（ゆうぞんしゃ）の結成（1919年，**北一輝**（きたいっき）・**大川周明**ら）

☆内紛から23年に解散

〈*Note*〉

3　教育の拡充

①大学令（1918年，原敬内閣）

帝国大学以外にも，公立・私立・単科大学を認可。

---

②自由教育運動の展開（大正後期～）

子供の持つ可能性・自発性の伸長をはかる児童中心主義を掲げた新教育運動。

☆沢柳政太郎の成城小学校，羽仁もと子の自由学園，西村伊作の文化学院など。

---

③生活綴方運動の展開（昭和初期～）

型にはまった作文教育を改め，日常生活重視の立場からありのままを作文させる教育が実施された。

☆鈴木三重吉の雑誌「赤い鳥」などが影響を与える。

〈***Note***〉

4　学問の発達

①自然科学

A　医学

◇　**野口英世**（ひでよ）

☆**黄熱病**（おうねつ）の研究，梅毒（ばいどく）スピロヘータの純粋培養（ばいよう）

B　物理学・金属工学

あ　**本多光太郎**（こうたろう）

☆ドイツへ留学後，**ＫＳ磁石鋼**（じしゃくこう）を発明。鉄鋼研究所初代所長。

い　三島徳七（とくしち）

☆ＭＫ磁石鋼の発明

C　電気通信工学

◇　**八木秀次**（やぎひでつぐ）

☆超短波用の八木アンテナを発明

D　研究所の設立

あ　**北里研究所**　（1914年）⇒北里柴三郎ら

い　**理化学研究所**（1917年）

う　航空研究所　（1918年）⇒東大に付属

え　鉄鋼研究所　（1919年）⇒東北大に付属，のち金属材料研究所として独立。

お　地震研究所　（1925年）⇒東大に付属

〈 ***Note*** 〉

②人文・社会科学

A　哲学

『善の研究』の西田幾多郎（京大教授），『三太郎の日記』の阿部次郎，『風土』『古寺巡礼』の和辻哲郎ら。

B　民俗学

『遠野物語』の柳田国男，折口信夫，南方熊楠ら

C　日本史学

『神代史の研究』『古事記及日本書紀の研究』の津田左右吉ら

D　東洋史学

白鳥庫吉・内藤湖南ら

E　法学

天皇機関説の美濃部達吉，「刑法読本」の滝川幸辰ら

F　政治学

民本主義の吉野作造ら

G　経済学

『貧乏物語』の河上肇，マルクス『資本論』を紹介した福田徳三，『資本論』翻訳の高畠素之，論文『クロポトキンの社会思想の研究』の森戸辰男，論文『日本資本主義発達史』の野呂栄太郎ら。

〈 ***Note*** 〉

5　大正・昭和初期の文学・ジャーナリズム

①新現実主義（大正時代）

A　**新思潮派**（反自然主義の立場から，現実を理知的にとらえ，技巧(ぎこう)的に表現）

雑誌「新思潮（第三次・四次）」

あ　**芥川龍之介**(あくたがわりゅうのすけ)　『羅生門(らしょうもん)』『鼻』『地獄変』『戯作三昧(げさくざんまい)』『河童(かっぱ)』『或阿呆(あるあほう)の一生』

い　**菊池寛**(かん)　『恩讐(おんしゅう)の彼方(かなた)に』『忠直行状記(ただなおぎょうじょうき)』『藤十郎(とうじゅうろう)の恋』『真珠夫人(しんじゅふじん)』，**戯曲(ぎきょく)「父帰る」**

☆雑誌「文藝春秋(ぶんげいしゅんじゅう)」を創刊，芥川賞・直木賞を創設。

う　山本有三(ゆうぞう)　『女の一生』『路傍(ろぼう)の石』『真実一路』

え　久米正雄(くめまさお)　『破船(はせん)』『受験生の手記』

B　奇跡派(きせき)〔新早稲田派〕（自然主義文学を継承，“私小説”を完成させる）

あ　葛西善蔵(かさいぜんぞう)　『子をつれて』

い　宇野浩二(こうじ)　『蔵の中』

---

②プロレタリア文学（大正末期～昭和初期）

雑誌「種蒔(たねま)く人」創刊（1921年）により，プロレタリア文学運動が始まる。

A　**葉山嘉樹**(よしき)　**『海に生(い)くる人々』**『セメント樽(だる)の中の手紙』

　　⇒雑誌「文芸戦線」に寄稿(きこう)

B　**徳永直**(すなお)　**『太陽のない街』**

C　**小林多喜二**　**『蟹工船(かにこうせん)』**『党生活者』『一九二八年三月十五日』

　　⇒B・Cは**雑誌「戦旗(せんき)」**（ナップ〔全日本無産者芸術連盟の機関紙）に寄稿。

D　宮本百合子(ゆりこ)　『貧しき人々の群(むれ)』

〈 ***Note*** 〉

③芸術派（大正末期〜昭和前期）

A　新感覚派（リアリズムを否定，反プロレタリア文学の立場から，文学の技法や表現の革命を目指す）

雑誌「文芸時代」

あ　横光利一（りいち）　『日輪』『機械』『蠅（はえ）』

い　川端康成　『伊豆の踊子（おどりこ）』『雪国』『浅草紅団（くれないだん）』

☆戦後，日本人初のノーベル文学賞を受賞。

B　新興芸術派

あ　井伏鱒二（ますじ）　『山椒魚（さんしょううお）』『黒い雨』

い　梶井基次郎（もとじろう）　『檸檬（れもん）』

C　新心理主義

あ　堀辰雄（ほりたつお）　『風立ちぬ』

い　伊藤整（せい）　『火の鳥』，翻訳『チャタレイ夫人の恋人』（ローレンス）

D　その他

あ　中島敦（あつし）　『李陵（りりょう）』『山月記（さんげつき）』

い　林芙美子（ふみこ）　『放浪記』

---

④大衆文学（大正時代〜）

A　中里介山（かいざん）　『大菩薩峠』

B　吉川英治（よしかわえいじ）　『宮本武蔵（むさし）』

C　大佛次郎（おさらぎじろう）　『鞍馬天狗（くらまてんぐ）』『赤穂浪士（あこうろうし）』

D　岡本綺堂（きどう）　『修禅寺物語』『半七捕物帳（はんしちとりものちょう）』

E　野村湖堂（こどう）　『銭形平次捕物控（ぜにがたへいじ ひかえ）』

F　林不忘（ふぼう）　『丹下左膳（たんげさぜん）』

G　子母沢寛（しもざわかん）　『国定忠治（くにさだちゅうじ）』『新撰組始末記（しまつ）』

H　直木（なおき）三十五　『南国太平記』

I　江戸川乱歩（らんぽ）　『二銭（にせん）銅貨』

☆探偵〔推理〕小説

〈 ***Note*** 〉

⑤児童文学（大正時代～）

A	**鈴木三重吉（みえきち）**	**雑誌「赤い鳥」**
B	小川未明（みめい）	童話集『赤い船』
C	**宮沢賢治（けんじ）**	**『注文の多い料理店』**『風の又三郎（またさぶろう）』『銀河鉄道の夜』

---

⑥近代詩

A	**高村光太郎（こうたろう）**	**『道程（どうてい）』『智恵子抄（ちえこしょう）』**
B	**萩原朔太郎（さくたろう）**	**「月に吠（ほ）える」**
C	室生犀星（さいせい）	『抒情（じょじょう）小曲集』
D	宮沢賢治	『春と修羅』
E	三好達治	『測量船』
F	中原中也（ちゅうや）	『山羊（やぎ）の歌』『在（あ）りし日の歌』
G	立原道造（たちはらみちぞう）	『暁（あかつき）と夕（ゆうべ）の詩（うた）』

---

⑦短歌

A	**斎藤茂吉**	**歌集『赤光（しゃっこう）』**『あらたま』
B	若山牧水（ぼくすい）	歌集『海の声』

〈 ***Note*** 〉

⑨ジャーナリズム

1912年　立川(たつかわ)文庫の刊行開始⇒『猿飛佐助(さるとびさすけ)』など
1914年　第三次「新思潮」創刊（雑誌）⇒芥川龍之介ら新思潮派が活躍
1916年　「婦人公論」創刊（雑誌）
1918年　「赤い鳥」創刊（児童雑誌）⇒鈴木三重吉ら
　　　　白虹(はっこう)事件（大阪朝日新聞筆禍事件）
1919年　「我等(われら)」創刊（雑誌）⇒長谷川如是閑(にょぜかん)・大山郁夫(いくお)ら
　　　　「改造」創刊（総合雑誌）⇒山本実彦(さねひこ)らの改造社
　　　　「解放」創刊（総合雑誌）
1921年　「種蒔く人」創刊（プロレタリア雑誌）
1922年　「週刊朝日」「サンデー毎日」創刊⇒初の週刊誌
1923年　「文藝春秋」創刊（雑誌）⇒菊池寛ら
1924年　「文芸戦線」創刊（プロレタリア雑誌）
1925年　「キング」創刊**（大衆雑誌）⇒大日本雄弁会講談社**
　　　　東京放送局，ラジオ放送を開始
1926年　**「現代日本文学全集」**刊行開始**（円本）⇒改造社**
　　　　日本放送協会〔ＮＨＫ〕の設立
1927年　**岩波文庫**の刊行開始
　　　　「労農」創刊（雑誌）⇒山川均，猪俣津南雄ら
1928年　「戦旗」創刊（プロレタリア雑誌）
1931年　トーキー〔有声映画〕の登場
1935年　「日本浪漫派(ろうまんは)」創刊（雑誌）⇒亀井勝一郎ら

〈 ***Note*** 〉

６　大正・昭和初期の芸術

①美術展覧会

帝国美術院展覧会〔帝展〕（1919年）

帝国美術院が設置され，文展が発展・改組。

☆1937年から再び文部省主催となる＝新文展

☆戦後の1946年，**日本美術展覧会〔日展（にってん）〕**となる

---

②代表的日本画家

A	**竹久夢二（たけひさゆめじ）**	**『黒船屋』**
B	土田麦僊（ばくせん）	『大原女（おはらめ）』
C	速水御舟（ぎょしゅう）	『炎舞（えんぶ）』
D	鏑木清方（かぶらぎきよかた）	『築地明石町（つきじあかしちょう）』
E	前田青邨（せいそん）	『洞窟の頼朝』
F	小林古径（こけい）	『髪』『犬と遊ぶ』
G	安田靫彦（ゆきひこ）	『黄瀬川の陣』
H	**上村松園（しょうえん）**	『序の舞（まい）』『夕暮（ゆうぐれ）』
		☆女性初の文化勲章受章

---

③代表的西洋画家

A	中村彝（つね）	『エロシェンコ氏の像』『少女』
B	**岸田劉生（りゅうせい）**	**『麗子（れいこ）像**（麗子微笑（びしょう）など）**』**
		☆フューザン会のち**春陽会（しゅんよう）**の中心的人物
C	**安井曽太郎（そうたろう）**	**『金蓉（きんよう）』**
		☆セザンヌ（仏）に師事，**二科会（にかかい）**に参加。
D	**梅原竜三郎（りゅうざぶろう）**	**『紫禁城（しきんじょう）』**『長安街』『北京秋天（ペキンしゅうてん）』
		☆ルノアール（仏）に師事，**二科会**に参加。
E	萬（よろず）鉄五郎	『もたれて立つ人』

〈 ***Note*** 〉

④代表的彫刻家

A　高村光太郎　『手』『鯰（なまず）』
B　平櫛田中（ひらぐしでんちゅう）　『転生（てんしょう）』『五浦釣人（いづらのちょうじん）』

---

⑤代表的建築家

◇　ライト　『旧帝国ホテル』
☆アメリカ人の世界的建築家

〈 ***Note*** 〉

７　大正・昭和初期のその他芸術

①新劇

Ａ　**芸術座**（1913年）

島村抱月（ほうげつ）・**松井須磨子**ら

☆松井須磨子がトルストイ『復活』を好演。劇中歌『カチューシャの唄（うた）』も大流行。

Ｂ　**築地小劇場**（1924年）

小山内薫（おさないかおる）・土方与志（ひじかたよし）ら

☆“演劇の実験室”，昭和初期移行はプロレタリア演劇運動の拠点となる。

---

②宝塚少女歌劇（大正時代〜）

小林一三（いちぞう）が設立

---

③大衆演劇（大正時代〜）

沢田正二郎（しょうじろう）らが**新国劇**を結成，『国定忠治（くにさだちゅうじ）』『月形（つきがた）半平太』などを上演。

☆歌舞伎と新劇の中間の“国民演劇”を目指す。

---

④浅草オペラ（大正時代）

浅草六区（ろっく）がにぎわうが，関東大震災（1923年）で衰退。

---

⑤軽演劇（昭和初期）⇒モボ・モガ登場後のエロ・グロ・ナンセンスの風潮に乗る

喜劇役者**榎本健一**（えのもと）〔**エノケン**〕，古川緑波（ろっぱ）〔ロッパ〕の活躍。

---

⑥プロレタリア演劇運動（昭和初期）

築地小劇場を拠点に，プロレタリア文学の高揚（こうよう）と連動。

〈 ***Note*** 〉

⑦漫画（昭和初期）

田河水泡（たがわすいほう）『のらくろ』などが少年達の人気を集める。

---

⑧代表的音楽家

A　**山田耕筰（こうさく）**

作曲家，『赤とんぼ』など多数。日本交響楽協会を設立。

B　近衛秀麿（ひでまろ）

山田耕筰に学び，新交響楽団（現在のＮＨＫ交響楽団）を創設。

C　**三浦〔柴田〕環（たまき）**

日本初のオペラ『オルフェウス』や『蝶々夫人（ちょうちょうふじん）』などで有名なソプラノ歌手。

D　宮城道雄（みやぎみちお）

箏曲家（そうきょくか）。吉田晴風と新日本音楽を創始。『春の海』などを作曲。

E　吉田晴風（せいふう）

尺八奏者。宮城道雄と新日本音楽を創始。

F　中山晋平

作曲家。『カチューシャの唄』『ゴンドラの唄』『東京行進曲』『東京音頭（おんど）』

G　西条八十（やそ）

作詞家。『東京音頭』など。

H　古賀政男（まさお）

作曲家。『影を慕（した）いて』『酒は涙（なみだ）か溜息か』など。

〈 ***Note*** 〉

８　大衆文化の諸相

第一次世界大戦終結などによる世界的な民主主義的風潮の中で，義務教育の徹底と民衆の政治意識の高まりを背景として，**都市部を中心に文化が国民的普及を果たした。**

☆女性の進出も著しく，バスガール・タイピスト・電話交換手・看護師・教師などの**職業婦人**や新興（しんこう）の知識階層として**大衆文化**の発展を支えた。

①衣

洋服の着用が一般化。

---

②食

洋食の流行

☆パン・コロッケ・カツレツ・ライスカレーなど

---

③住

文化住宅，ビルディング（東京駅前の丸の内ビル〔丸ビル〕など）の普及。

---

④施設

東京の地下鉄（1927年），都市部の郊外電車をはじめとして全国に鉄道網（もう）が伸びる。

---

⑤その他

A　学生スポーツ

全国中等学校優勝野球大会（1915年〜），東京六大学野球（1925年〜）など。

B　**ラジオ放送開始（1925年）**，映画の人気（1930年代は有声映画〔トーキー〕），**蓄音機（ちくおんき）**とレコードの登場により歌謡曲（かようきょく）が流行。

C　その他

デパート〔百貨店〕・カフェ・ミルクホール・ビアホール・**円タク**・乗合（のりあい）自動車〔バス〕などの登場。

〈 ***Note*** 〉

《戦中・戦後の文化》

1　文化の特色

戦時体制下においては，軍や政府当局の厳しい統制や国家主義的気運の高揚によりマルクス主義が衰退，転向者が続出しプロレタリア文学が壊滅(かいめつ)した反面，日本の伝統的文化への回帰がみられた。また，従軍を体験した芸術家が**戦争文学**や戦争記録画を多数制作した。

1945年の敗戦により軍国主義体制における**従来の価値観が否定**され，**個人主義・民主主義の風潮**が広まり，大衆文化は活気を取り戻したが，急激な**アメリカ文化の流入**は，国民にとまどいをもたらすことも多かった。

２　学問・ジャーナリズム

①戦時体制下の思想弾圧⇒“昭和ファシズム”

A　社会民主主義者・共産主義者による，国家社会主義などへの“**転向**(てんこう)”が相次ぐ。

1932年　**日本国家社会党**

☆**赤松克麿**(かつまろ)ら，社会民主主義から国家社会主義へ転向。

1933年　**日本共産党最高指導者らによる転向宣言**

☆佐野学・鍋山貞親(なべやまさだちか)ら

B　思想弾圧事件

1933年　**滝川事件〔京大事件〕**

☆『**刑法読本**(とくほん)』を著し，自由主義的刑法学説を唱える**京大教授滝川幸辰**(ゆきとき)が休職処分となる。

1935年　**天皇機関説問題〔国体明徴**(めいちょう)**運動〕**

☆**美濃部達吉**の天皇機関説が反国体的であるとされ，**岡田啓介内閣**が2度にわたる**国体明徴声明**を発する。

☆美濃部達吉は貴族院議員を辞任。著書『憲法撮要(さつよう)』は発禁処分。

1936年　コム＝アカデミー事件

☆政府による左翼弾圧事件。**講座派**の学者を検挙。

〈 ***Note*** 〉

1937年　**矢内原事件**

☆政府の侵略政策を非難した**東大教授矢内原忠雄**が辞職に追い込まれる。

第一次人民戦線事件

☆政府による左翼弾圧事件。加藤勘十・鈴木茂三郎・山川均ら**労農派**を検挙。「日本無産党」は結社禁止処分となる。

1938年　**第二次人民戦線事件**

☆政府による左翼弾圧事件。大内兵衛・有沢広巳・美濃部亮吉ら**労農派の学者**を検挙。

河合事件

☆ファシズム批判を行った**東大教授河合栄治郎**が辞職に追い込まれる。

1940年　**津田事件**

☆記紀神話の合理的な文献批判を行った**早大教授津田左右吉**が不敬罪で起訴され，『神代史の研究』などの著書も発禁処分となる。

1942年　**横浜事件**

☆特別高等警察がねつ造した言論弾圧事件。総合雑誌「中央公論」「改造」が廃刊となる。

〈 ***Note*** 〉

②戦後の文化機関

1949年　**日本学術会議**の設置

1950年　**文化財保護法**の制定

1968年　**文化庁**の設置

---

③戦後の学問研究

丸山真男（まさお）**（政治学）**，大塚久雄（経済史学），川島武宜（たけよし）（法社会学），石母田正（いしもだしょう）（歴史学）

---

④ノーベル賞

1949年	**湯川秀樹**	**（物理学賞）**	⇒中間子理論
1965年	朝永振一郎（ともながしんいちろう）	（物理学賞）	⇒超多時間理論
1968年	**川端康成**	**（文学賞）**	
1973年	江崎玲於奈（えさきれおな）	（物理学賞）	⇒半導体理論
1974年	**佐藤栄作**	**（平和賞）**	
1981年	**福井謙一**	**（化学賞）**	⇒フロンティア電子理論
1987年	**利根川進**（すすむ）	**（医学・生理学賞）**	
1994年	大江健三郎	（文学賞）	
2000年	白川英樹（ひでき）	（化学賞）	
2001年	野依良治（のよりりょうじ）	（物理学賞）	
2002年	小柴昌俊（こしばまさとし）	（物理学賞）	
	田中耕一	（化学賞）	
2008年	小林誠（まこと）・益川敏英（ますかわとしひで）	（物理学賞）	
	南部陽一郎（なんぶ）	（物理学賞）	☆米国籍
	下村脩（しもむらおさむ）	（化学賞）	
2010年	鈴木章（あきら）・根岸栄一	（化学賞）	
2012年	山中伸弥（しんや）	（医学・生理学賞）	⇒ｉＰＳ細胞

〈 ***Note*** 〉

３　文学

①戦争文学⇒戦中

A　火野葦平（ひのあしへい）　『麦と兵隊』

B　石川達三　『生きてゐる兵隊』

---

②転向文学⇒戦中

A　中野重治（しげはる）　『村の家』

B　島木健作　『生活の探求』

---

③無頼派（ぶらいは）〔新戯作派（しんげさくは）〕⇒戦後

A　坂口安吾（あんご）　『白痴（はくち）』，評論『堕落論（だらくろん）』

B　太宰治（だざいおさむ）　『斜陽』『人間失格』『走れメロス』

C　織田作之助（さくのすけ）『夫婦善哉（めおとぜんざい）』

---

④第一次戦後派

A　野間宏（のまひろし）　『真空地帯』『暗い絵』

B　梅崎春生（うめざきはるお）　『桜島』

---

⑤第二次戦後派

A　大岡昇平（しょうへい）　『俘虜記（ふりょき）』『野火』

B　安部公房（こうぼう）　『壁』『砂の女』

C　三島由紀夫『仮面の告白』『金閣寺』

〈 ***Note*** 〉

⑥その他⇒中間(ちゅうかん)小説の流行

A　石原慎太郎『太陽の季節』
B　松本清張(せいちょう)『点と線』『砂の器(うつわ)』
C　大江健三郎『飼育』『死者の奢(おご)り』
D　井上靖(やすし)『闘牛』『天平(てんぴょう)の甍(いらか)』
E　竹山道雄『ビルマの竪琴(たてごと)』
F　司馬遼太郎(しばりょうたろう)『竜馬(りょうま)がゆく』『坂の上の雲』『燃えよ剣』
G　木下順二　戯曲『夕鶴(ゆうづる)』
H　野坂昭如(のさかあきゆき)『火垂(ほた)るの墓』
I　石牟礼道子(いしむれみちこ)『苦界浄土(くがいじょうど)』
J　有吉佐和子『恍惚(こうこつ)の人』
K　山崎豊子(とよこ)『白い巨塔』『不毛(ふもう)地帯』『沈まぬ太陽』

〈 ***Note*** 〉

４　戦後の放送・映画・芸能・スポーツなど

①放送

1951年　民間ラジオ放送の開始

1953年　テレビ放送の開始⇒ＮＨＫ〔日本放送協会〕による

1960年　カラーテレビ放送の開始

---

②映画

Ａ　**黒澤明**（くろさわあきら）　**『羅生門』（ベネチア国際映画祭グランプリ）**（らしょうもん）

『影武者』（かげむしゃ）（カンヌ国際映画祭グランプリ）

Ｂ　溝口健二　『西鶴一代女』（さいかく）『雨月物語』（うげつ）

Ｃ　小津安二郎（おづやすじろう）『東京物語』

Ｄ　今井正（ただし）　『青い山脈』『ひめゆりの塔』

Ｅ　今村昌平（しょうへい）　『楢山節考』（ならやまぶしこう）（カンヌ国際映画祭グランプリ）

『うなぎ』（カンヌ国際映画祭グランプリ）

Ｆ　北野武（たけし）　『ＨＡＮＡ－ＢＩ』（ベネチア国際映画祭グランプリ）

---

③歌謡曲

Ａ　並木路子（なみきみちこ）　『リンゴの歌』

Ｂ　笠置シズ子（かさぎ）『東京ブギウギ』

Ｃ　**美空ひばり**（みそら）『悲しき口笛』

---

④その他の著名人

古橋広之進（ひろのしん）（水泳“フジヤマのトビウオ”），**力道山**（りきどうざん）（プロレス），円谷幸吉（つぶらやこうきち）（陸上），**手塚治虫**（おさむ）（漫画･アニメ），石原裕次郎（ゆうじろう）（俳優），植村直己（なおみ）（冒険家），大鵬（たいほう）（大相撲），長嶋茂雄・**王貞治**（おうさだはる）（プロ野球），小沢征爾（せいじ）（指揮者），野茂英雄（のもひでお）（メジャーリーグ）など

〈***Note***〉

⑤スポーツの国際大会

1964年　**東京オリンピック（夏季）**

1972年　札幌オリンピック（冬季）

1998年　長野オリンピック（冬季）

2002年　ワールドカップ日韓大会

---

⑥国際博覧会

1970年　**大阪万国（ばんこく）博覧会**

1975年　沖縄国際海洋博覧会

1985年　筑波国際科学技術博覧会

2005年　愛知万国博覧会

〈*Note*〉

第 12 講　文化史確認テスト

1　大正時代に始まった生活綴方運動にも影響を与えた，鈴木三重吉が創刊した児童雑誌とは？

①太陽　②改造　③赤い鳥　④キング

2　わが国初の哲学書『善の研究』を著した哲学者とは？

①西田幾多郎　②阿部次郎　③和辻哲郎　④柳田国男

3　マルクス主義経済学を研究し『貧乏物語』『自叙伝』を著した京都帝国大学教授とは？

①野呂栄太郎　②河上肇　③高畠素之　④福田徳三

4　“新思潮派”ではない文学者を一人選べ。

①芥川龍之介　②菊池寛　③山本有三　④横光利一

5　1921 年に創刊された，初のプロレタリア文学雑誌とは？

①種蒔く人　②文芸戦線　③戦旗　④世界

6　大衆文学『大菩薩峠』の著者とは？

①中里介山　②吉川英治　③大佛次郎　④直木三十五

7　『黒船屋』を描いた画家とは？

①竹久夢二　②速水御舟　③鏑木清方　④岸田劉生

8　小山内薫と土方与志が創設した“演劇の実験室”とは？

①歌舞伎座　②自由劇場　③帝国劇場　④築地小劇場

9　1938年，論文「ファシズム批判」などが発禁処分となった東京帝国大学教授とは？

①滝川幸辰　②矢内原忠雄　③河合栄治郎　④津田左右吉

10　戦争（記録）文学『麦と兵隊』を著した作家とは？

①火野葦平　②石川達三　③大岡昇平　④野坂昭如

11　1942年，特別高等警察がねつ造した言論弾圧事件とは？

①大逆事件　②三・一五事件　③コム＝アカデミー事件　④横浜事件

12　小説『白痴』，評論『堕落論』を発表した無頼派の作家とは？

①坂口安吾　②太宰治　③織田作之助　④三島由紀夫

13　1949年，日本人初のノーベル賞を受賞した物理学者とは？

①志賀潔　②湯川秀樹　③丸山真男　④利根川進

14　日本でテレビ放送が始まった年とは？

①1925年　②1931年　③1953年　④1960年

15　1970年，初めて万国博覧会が開催された都市とは？

①東京　②大阪　③名古屋　④札幌

解答

1	③	2	①	3	②	4	④	5	①
6	①	7	①	8	④	9	③	10	①
11	④	12	①	13	②	14	③	15	②